# 保健管理センター年報

第 38 号

（平成25年度）

岐阜大学保健管理センター

# 巻　頭　言

平成25年度の岐阜大学保健管理センター年報をお届けします。

平成25年度は、本センター開設以来、初の大きなイベントを経験した年でした。それは、第51回全国大学保健管理研究集会の主催を当番校として担当させていただいたことです。第50回の記念研究集会の後であるため、テーマは「大学保健管理 次世代への飛翔 －生涯健康を目指して－」としました。全国で約500の高等教育機関が会員である全国大学保健管理協会が50周年を経て、次の半世紀に第一歩を踏み出す研究集会であったからです。

高等教育進学率が55％以上となった今日、大学が直面する課題や期待は大きく変化しています。グローバル化、障がい学生支援、危機管理対策など、多様です。保健管理支援業務におけるグローバル化は、留学生30万人計画に象徴される留学生の受け入れ増加や日本人学生の留学送り出しの増加に伴い、不可欠であります。生活背景や教育・文化の違う外国人学生に対応すべき健康教育や健康支援業務のグローバル化や留学生に特有な心と身体の問題への対応、日本人学生の留学準備に対応したワクチンや海外医療制度情報の提供など、多くの国際的知識が要求される時代となってきました。障がい学生支援は、我が国が平成25年度に「障がい者権利条約」を国連批准したことにより、最重要課題のひとつとなっています。高等教育機関でも障がい者へ合理的配慮を提供することが義務となったからです。特別支援教育の充実や、医療技術の進歩を反映して、大学入学者に占める障がい学生の割合も年々増加しています。危機管理体制の充実は、2011年に経験した東日本大震災を教訓に、高等教育機関においても必要かつ重大であることが明確になりました。とくに災害予防だけでなく、災害発生時の減災の準備の視点が重要であることも明らかとなりました。

そこで、今回我々が主催した研究集会では、国際化に対応した特別招聘講演、障がい学生の修学支援についての特別セッション、そして、東日本大震災後の大学の保健管理の視点に着目した特別セッションをオリジナル企画しました。特別招聘講演では、米国大学保健管理協会（American College Health Association；ACHA）から Dr. Anita Barkin（ACHA 前会長）、英国大学保健管理協会（Student Health Association；SHA）から Dr. Irene Weinreb（SHA 前会長）を招聘し、米国・英国における大学保健管理の実態を紹介していただきました。国の保険医療体制が違うので、組織や制度に違いはあるものの、我々と同じ大学生の保健管理担当者としての仲間が世界中におり、大学生のために日夜頑張っていることがわかり勇気づけられました。障がい学生支援についての特別セッションでは、文部科学省の「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」の委員長であった筑波大学の竹田一則先生と障がい学生支援室の充実をすすめていらっしゃった富山大学の斉藤清二先生に、講演とパネリストをお願いしました。会場の大会議室は満員で、会員の関心の高さがうかがわれました。そして、東日本大震災後に着目した特別セッションでは、被災から２年余りを経て、あの心の痛みも薄れつつある中、今も活動を続けておられる福島県立医大の大川貴子先生、福島大学の松井史郎先生、大学としての災害対策をすすめておられる名古屋大学の飛田潤先生に講演をお願いしました。さすが現場で地道な活動をすすめておられる内容は、「あの時、絆に感動した心」を呼び戻してくれました。その他にも多くの

講師を招き、また、180以上の一般演題発表も加え、全国から800人以上の参加があり、成功裡に研究会を終えることができました。これも、学内外多くの皆様に御協力を賜わることができたお陰であり、この場を借りて心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。今回は、西尾彰泰准教授、佐渡忠洋助教、加納亜紀助教の教員が中心になって、保健師、看護師、臨床心理士、管理栄養士の当センター医療専門職が常勤・非常勤の区別なく、まさに献身的に研究会運営に取り組んでくれました。慣れないことばかりで、おそらく至らないこともあったかと思いますが、心のこもった手づくり感満載の研究集会になったと自負しております。また、私どもも、よい経験をさせていただきました。センター内の団結力が高まったと実感しています。全国からの参加者の方々からは「よい研究会だった」とお褒めの言葉を頂きました。当センター38年の歴史の中で、初めての経験であり挑戦でしたが、この大きな研究集会の準備に始まり、開催、報告書の発行・送付と、多くの仕事に追われた1年間でしたが、日常業務は例年に劣ることなく粛々と進めることもできました。この点においてセンター長としては、当センター教職員全員を心より褒めてやりたいと思います。この経験を、これからの日常業務の改善発展に役立ててくれることと信じています。このような大きな仕事をやり終えた我々の今後を、どうぞ期待を持って見守ってください。その御期待にお応えすることが、今回の研究集会でお世話になった多くの方々への恩返しにつながることと教職員一同自覚しております。

今後とも、岐阜大学保健管理センターは、全国的な活動の中でも、その存在感を示していけるような質をめざし、その実力を発展していきたいと決意を新たにしています。

平成26年８月31日

岐阜大学保健管理センター長　　山　本　眞由美

# 目　　次

巻頭言……岐阜大学保健管理センター長　山本眞由美

Ⅰ　平成25年度　健康管理業務の報告

1．学生の健康管理事業計画（平成25年度）…… 1
2．学生の定期健康診断結果のまとめ…… 2
　1）学部学生の受診率の年次推移…… 2
　2）定期健康診断受診状況（平成25年度）…… 3
　3）定期健康診断　有所見率と判定基準…… 4
　4）胸部Ｘ線撮影（デジタル撮影）…… 6
　5）尿検査…… 7
　6）血圧測定…… 8
　7）内科診察…… 9
　8）新入生・編入生対象の心電図検査…… 10
　9）身体計測…… 11
3．非正規生（研究生・聴講生）および秋季入学大学院生の定期健康診断…… 13
4．学生の特殊健康診断…… 14
5．教職員の健康管理事業計画（柳戸地区）…… 16
6．教職員の定期健康診断および特殊健康診断（結果のまとめ）…… 17

Ⅱ　平成25年度　年間主要業務報告

1．業務報告（学生にかかわる関係行事）…… 19
2．学生の保健管理センター利用状況…… 20
3．学生を対象とした禁煙支援状況…… 21
4．健康診断証明書発行および救急鞄貸し出しの状況…… 23
5．学生相談室利用状況…… 24
6．業務報告（教職員（柳戸地区）健康管理にかかわる行事）…… 25
7．教職員利用状況…… 26
8．就業支援について…… 26
9．学生の国家資格免許申請のための医療面接…… 27
10．各種行事における救護待機…… 27

Ⅲ　研究・調査報告

1．保健管理センター教職員の業績…… 29

## Ⅳ　教育・広報・社会活動


1．保健管理センター利用案内（2013）…… 43
2．保健管理センターニュース刊行…… 45
3．保健管理センタースタッフの最近の活動（HP より）…… 47
4．第51回全国大学保健管理研究集会を主催…… 53


## Ⅴ　保健管理センター規則等


1．岐阜大学保健管理センター規程…… 65
2．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則…… 66
3．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則…… 68
4．岐阜大学保健管理センター長及び教育職員選考細則…… 69
5．保健管理センター 運営委員会委員（平成25年度）…… 70
6．保健管理センター 学生相談室員（平成25年度）…… 70
7．保健管理センター 学校医・非常勤講師（平成25年度）…… 71
8．保健管理センター 教職員（平成25年度）…… 72
9．保健管理センター 位置図…… 73

# Ⅰ　平成25年度　健康管理業務の報告

１．学生の健康管理事業計画（平成25年度）

２．学生の定期健康診断結果のまとめ

３．非正規生（研究生・聴講生）および
　　秋季入学大学院生の定期健康診断

４．学生の特殊健康診断

５．教職員の健康管理事業計画（柳戸地区）

６．教職員の定期健康診断および特殊健康診断
　　（結果のまとめ）

# Ⅰ　平成25年度　健康管理業務の報告

## 1．学生の健康管理事業計画（平成25年度）

| | 区分 | | 対象者 | 実施時期 | 検査項目など |
|---|---|---|---|---|---|
| 健康調査 | 新入生の健康調査（K10, SOC） | | 学部新入生・編入生 | 4月 | Web健康調査スクリーニング（K10とSOCによる） |
| | | | 高得点者 | 5～7月 | 臨床心理士、精神科医等による個人面接 |
| | 在学生の健康調査（K10, SOC） | | 学部新3年生 | H24年1～3月 | Web健康調査スクリーニング（K10とSOCによる） |
| | | | 高得点者 | 4～6月 | 臨床心理士、精神科医等による個人面接 |
| 定期健康診断 | 定期健康診断 | | 学部、大学院、研究生 | 在学生：2/4、5、6、7、13、14、15、18、19、3/18（定期健康診断として実施） | 問診、内科診察、胸部X線撮影、身体計測、視力測定、血圧測定、尿検査（蛋白・糖）、歯科健康診断 |
| | | | | 新入生・編入生：4/2、3、4、5 | 問診、内科診察、胸部X線撮影、身体計測、視力測定、血圧測定、尿検査（蛋白・糖）、心電図検査、血液検査 |
| | 定期健康診断事後措置 | 肥満 | BMI 30以上 | 在学生3～5月<br>新入生4～5月 | 体重再測定、保健指導、医師による指導（受診勧奨）、栄養指導 |
| | | | BMI 25以上 | 在学生3～7月<br>新入生4～7月 | 体重再測定、保健指導、栄養指導 |
| | | やせ | BMI 16.0以下 | 在学生3～7月<br>新入生4～7月 | 保健指導、栄養指導、医師による指導（受診勧奨） |
| | | 胸部レントゲン | 直接撮影有所見者 | 在学生3～6月<br>新入生4～6月 | 医師による結果説明、精査依頼 |
| | | 血圧 | 収縮期血圧　140以上<br>拡張期血圧　90以上 | 在学生3月～5月<br>新入生4月～5月 | 血圧再測定、保健指導、医師による指導 |
| | | 視力 | 0.6以下 | 在学生3月～5月<br>新入生4月～5月 | 視力再測定（眼科受診・視力矯正勧奨） |
| | | 内科診察 | 有所見者 | 在学生4月～6月<br>新入生4月～6月 | 医師による結果説明（受診勧奨） |
| | | 尿検査 | 糖(+) 蛋白(+) 以上 | 在学生3月～5月<br>新入生4月～5月 | 尿再検査、医師による指導と受診勧奨 |
| | | 心電図 | 有所見者 | 新入生5～6月 | 医師による結果説明、医療機関での精査依頼 |
| | | 血液検査 | 有所見者 | 新入生5～6月 | 医師による結果説明と受診勧奨、保健指導、栄養指導 |
| | | 既往歴・現病歴 | | 在学生3月～6月<br>新入生5月～6月 | 治療状況の確認（医師の面談） |
| その他健康診断 | 特殊健康診断 | | 該当者 | 4月、10月 | 問診、診察、血液検査、尿検査など |
| | 特殊健康診断事後措置 | | 有所見者 | 6月、11月 | 医師による問診、診察、実験・研究環境などの確認と指導、担当教官への助言 |
| | 非正規生健康診断 | | 該当者 | 4月、10月 | 問診、内科診察、胸部X線撮影、身体計測、視力測定、血圧測定、尿検査（蛋白・糖）、心電図検査、血液検査 |
| | 非正規生健康診断事後措置 | | 有所見者、留学生全員 | 6月、12月 | 医師による結果説明、保健指導 |
| | 臨時健康診断 | | 伝染病が発生した時など、必要に応じて行なう | | |
| 健康教育 | 健康教育（集団指導） | | 学生・教職員 | 前期、後期 | 健康科学（禁煙、予防接種、エイズ、AEDの使い方など含む）特別講義、全学部初年次セミナー・連農・連獣特別講義 |
| その他 | 入試救護・試験前相談 | | 該当者 | センター入試、前後期入試 | 入試時応急処置・医師による試験前相談対応 |
| | 国家資格免許申請のための医療面接 | | 医学科、獣医学科 | 3月 | 問診、精神科医面接 |
| | 応急処置 | | 学生、教職員、本学来訪者 | 通年 | 診察、処置、投薬、検査等 |
| | フィジカルヘルス相談 | | 学生、教員 | 通年 | 医師による健康相談 |
| | メンタルヘルス相談 | | 学生、教職員 | 通年 | 精神科医、臨床心理士、カウンセラーによる相談 |
| | 保健指導（個別） | | 学生 | 通年 | 医師、保健師、看護師、管理栄養士による保健指導 |
| | 禁煙支援（個別） | | 学生 | 通年 | 内科診察（院外処方箋発行）、保健指導 |

## 2．学生の定期健康診断結果まとめ

### 1）学部学生の受診率の年次推移

学年別推移（学部生）　（%）

| | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1　年 | 92.4 | 93.9 | 82.6 | 98.8 | 98.5 | 98.0 | 98.7 | 99.3 | 98.2 | 98.5 | 99.0 | 98.8 |
| 2　年 | 78.6 | 83.1 | 86.0 | 79.1 | 82.9 | 85.3 | 79.2 | 88.2 | 79.1 | 82.1 | 81.0 | 88.2 |
| 3　年 | 89.4 | 86.1 | 88.1 | 86.0 | 73.8 | 76.6 | 82.1 | 87.5 | 83.1 | 79.9 | 84.1 | 88.1 |
| 4　年 | 82.7 | 83.2 | 80.4 | 83.5 | 81.3 | 80.2 | 79.3 | 84.8 | 85.9 | 87.6 | 82.2 | 86.3 |
| 5　年 | 84.6 | 71.6 | 73.5 | 78.6 | 54.1 | 78.1 | 81.3 | 88.3 | 70.5 | 93.2 | 60.8 | 70.5 |
| 6　年 | 92.2 | 100.0 | 87.7 | 92.1 | 91.1 | 92.8 | 91.6 | 97.3 | 97.5 | 94.7 | 99.0 | 93.3 |
| **学部全体** | **85.7** | **86.0** | **85.7** | **86.7** | **83.5** | **84.7** | **84.6** | **89.9** | **86.5** | **87.3** | **86.1** | **89.8** |

学部別推移　（%）

| | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 95.9 | 94.2 | 91.7 | 95.7 | 94.4 | 93.7 | 95.6 | 96.9 | 95.3 | 95.2 | 95.1 | 96.5 |
| 地域科学部 | 89.9 | 85.7 | 86.8 | 90.9 | 92.0 | 89.1 | 88.9 | 92.5 | 92.3 | 89.7 | 92.8 | 93.6 |
| 医学部（医学科） | 88.7 | 91.4 | 88.0 | 84.4 | 78.7 | 80.1 | 79.3 | 83.8 | 78.2 | 90.1 | 85.3 | 91.2 |
| 医学部（看護学科） | 85.5 | | | | | | | | | | | |
| 工学部（昼間） | 82.1 | 82.9 | 82.6 | 84.3 | 76.8 | 81.5 | 80.3 | 88.5 | 83.3 | 83.3 | 81.8 | 85.9 |
| 工学部（夜間） | 67.1 | 64.7 | 60.9 | 60.1 | 57.0 | 50.5 | 51.5 | 50.0 | － | － | － | － |
| 応用生物科学部 | 85.7 | 85.9 | 89.8 | 87.0 | 91.9 | 87.8 | 88.0 | 91.0 | 90.8 | 84.4 | 84.0 | 88.6 |
| **学部全体** | **85.7** | **86.0** | **85.7** | **86.7** | **83.5** | **84.7** | **84.6** | **89.9** | **86.5** | **87.3** | **86.1** | **89.8** |

平成25年度の受診率は、学部全体で89.8％と、昨年に比べ3.7％増の高い受診率であった。新入生は98.8％で、休学者を除くほぼ全員が受診している。教育学部と医学部で比較的高い受診率を達成しているのは、教育実習や臨床実習にむかって健康管理意識の向上が醸成されていると推察される。学年別では、２～３年生で受診率の低下がみられる。就職活動に関与する学年では、再び受診率が高くなることは、健康診断証明書が必要だから受診するという学生がいるためと推察される。毎年、健康診断を受診することにより自分の健康経過を把握し、自己健康管理能力を高めていくことの必要性を伝えていく必要があると考えられた。

### 2）定期健康診断受診状況（平成25年度）

4月1日時点で在籍する学生（7,319名）に、在学生は2月4日～3月18日、新入生は4月2日～5日（4月7日が入学式）の日程で実施した。受診者数は、学部生5,076名、大学院生1,106名の計6,182名であった。入学後の健康支援に必要な健康情報を得て、活用するために重要な機会である学部新入生の受診率は98.8％と高いレベルであった。

| | | 在籍者数（人） | 休学中（人） | 対象数（a）（人） | 受診数（b）（人） | 受診率（b）/（a）（％） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,071 | 16 | 1,055 | 1,018 | 96.5 |
| | 地域科学部 | 463 | 12 | 451 | 422 | 93.6 |
| | 医学部 | 949 | 10 | 939 | 857 | 91.3 |
| | 工学部（昼） | 2,373 | 42 | 2,331 | 2,003 | 85.9 |
| | 工学部（夜） | 1 | 0 | 1 | 0 | 0.0 |
| | 応用生物科学部 | 887 | 11 | 876 | 776 | 88.6 |
| | **計** | **5,744** | **91** | **5,653** | **5,076** | **89.8** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 160 | 6 | 154 | 124 | 80.5 |
| | 地域科学研究科 | 47 | 6 | 41 | 28 | 68.3 |
| | 医学系研究科M | 20 | 0 | 20 | 19 | 95.0 |
| | 医学系研究科D | 14 | 2 | 12 | 3 | 25.0 |
| | 医学系研究科 | 183 | 34 | 149 | 31 | 20.8 |
| | 医学系研究科（看護学） | 20 | 2 | 18 | 8 | 44.4 |
| | 医学研究科 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0.0 |
| | 工学研究科M | 633 | 3 | 630 | 605 | 96.0 |
| | 工学研究科D | 93 | 7 | 86 | 51 | 59.3 |
| | 応用生物科学研究科 | 182 | 0 | 182 | 165 | 90.7 |
| | 連合農学研究科 | 65 | 4 | 61 | 42 | 68.9 |
| | 連合獣医学研究科 | 43 | 4 | 39 | 24 | 61.5 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 19 | 2 | 18 | 6 | 33.3 |
| | **計** | **1,481** | **70** | **1,412** | **1,106** | **78.3** |
| **総計** | | **7,225** | **161** | **7,065** | **6,182** | **87.5** |

| | | 対象数（a）（人） | 受診数（b）（人） | 受診率（b）/（a）（％） |
|---|---|---|---|---|
| 学部 | 1年 | 1,274 | 1,259 | 98.8 |
| | 2年 | 1,285 | 1,133 | 88.2 |
| | 3年 | 1,330 | 1,172 | 88.1 |
| | 4年 | 1,523 | 1,315 | 86.3 |
| | 5年 | 122 | 86 | 70.5 |
| | 6年 | 119 | 111 | 93.3 |
| | **計** | **5,653** | **5,076** | **89.8** |

※何らかの理由で上記の期間に受診できなかった学生は、大学と契約した指定の健康診断実施機関での受診を5月1日から6月30日まで可能にした。十分に受診の機会を学生に提供できるよう工夫した。

### 3）定期健康診断　有所見率と判定基準

健康診断結果総合判定について

| 判定 | 意　　味 | 項　　目 | 事後措置 |
|---|---|---|---|
| A | 異常ありません | 全項目 | １年後の健康診断まで措置なし |
| B | 基準値から外れていますが、心配のない範囲です | 身体計測、胸部Ｘ線、心電図 | １年後の健康診断結果を確認する（所見についての質問などに応じる） |
| C | 再検査が必要です | 体重、血圧、尿検査、視力 | 保健管理センターにて再検査 |
| | あるいは、生活習慣の見直し、改善が必要です（保健指導） | 体重、脂質、尿酸 | 保健師・管理栄養士などによる保健指導 |
| | （医療機関での）再検査が必要です | 胸部Ｘ線、心電図 | 保健管理センターにて医師から結果説明（必要に応じ医療機関へ紹介） |
| Ｄ２ | 詳しい検査が必要です | 聴力、胸部Ｘ線、心電図、診察、肝機能、脂質、糖代謝、尿酸 | 保健管理センターにて医師から結果説明医療機関へ紹介 |
| Ｄ１ | 治療が必要です | 胸部Ｘ線、心電図、その他 | 保健管理センターにて医師から結果説明直ちに医療機関へ紹介 |
| E | 治療中 | 全項目 | 主治医管理下<br>保健管理センター医師より照会状発行 |
| G | 未受診の項目あり | 全項目 | 項目に応じ、対応 |

総合判定の分布（学部生）

| | 学年 | 判定　（人）　（%） | | | | | | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D1 | D2 | E | G | |
| 男性 | １年 | 313 | 92 | 250 | | 129 | 1 | 2 | 787 |
| | ２年 | 451 | 74 | 127 | 1 | 20 | | | 673 |
| | ３年 | 470 | 56 | 149 | | 16 | | | 691 |
| | ４年 | 539 | 93 | 149 | | 11 | | 1 | 793 |
| | ５年 | 44 | 4 | 12 | | 1 | | | 61 |
| | ６年 | 50 | 4 | 12 | | 2 | | | 68 |
| | **男性計** | **1,867 (26.1)** | **323 (6.4)** | **699 (13.8)** | **1 (0.02)** | **179 (3.5)** | **1 (0.02)** | **3 (0.3)** | **3,073 (60.5)** |
| 女性 | １年 | 252 | 90 | 104 | | 26 | | | 472 |
| | ２年 | 334 | 65 | 44 | | 11 | | 6 | 460 |
| | ３年 | 335 | 73 | 50 | | 12 | | 11 | 481 |
| | ４年 | 359 | 93 | 56 | | 11 | | 3 | 522 |
| | ５年 | 16 | 6 | 3 | | | | | 25 |
| | ６年 | 28 | 8 | 6 | | 1 | | | 43 |
| | **女性計** | **1,324 (26.1)** | **335 (6.6)** | **263 (5.2)** | **0 (0)** | **61 (1.2)** | **0 (0)** | **20 (0.4)** | **2,003 (39.5)** |
| **合　計** | | **3,194 (62.9)** | **658 (13.0)** | **962 (19.0)** | **1 (0.02)** | **240 (11.6)** | **1 (0.02)** | **23 (0.45)** | **5,076 (100)** |

有所見者のまとめ　人数と割合

| 再検基準 | | 胸部X線 | 尿検査 | | 血圧 | 診察 | 身体計測 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 蛋白 | 尿糖 | | | | |
| | | 所見あり（人）（%） | (+)以上（人）（%） | (+)以上（人）（%） | 収縮期血圧140以上 拡張期血圧 90以上 収縮期血圧 80未満（人）（%） | 所見あり（人）（%） | BMI 25以上（人）（%） | BMI 18.5未満（人）（%） |
| 男性 | 学部生 | 57（0.9） | 105（1.7） | 12（0.2） | 96（1.6） | 46（0.7） | 342（5.5） | 363（5.9） |
| | 大学院生 | 22（0.4） | 37（0.6） | 1（0.0） | 3（0.1） | 36（0.6） | 125（2.0） | 93（1.5） |
| | **男性計** | **79（1.3）** | **142（2.3）** | **13（0.2）** | **99（1.6）** | **82（1.3）** | **467（2.0）** | **456（7.4）** |
| 女性 | 学部生 | 46（0.7） | 31（0.5） | 2（0.0） | 32（0.5） | 5（0.1） | 82（1.3） | 350（5.7） |
| | 大学院生 | 11（0.2） | 7（0.1） | 2（0.0） | 2（0.0） | 18（0.3） | 24（0.4） | 47（0.8） |
| | **女性計** | **57（0.9）** | **38（0.6）** | **4（0.1）** | **34（0.6）** | **23（0.4）** | **106（1.7）** | **397（6.4）** |
| **合計** | | **136（2.20）** | **180（2.9）** | **17（0.3）** | **133（2.2）** | **105（1.7）** | **573（9.3）** | **853（13.8）** |

### 4）胸部Ｘ線撮影（デジタル撮影）

| 学部・大学院名 | | 胸部Ｘ線<br>受診者数（a）（人） | 異常なし<br>（人） | 所見あり（b）<br>（人） | 有所見率<br>（b/a）（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,018 | 996 | 22 | 2.2 |
| | 地域科学部 | 422 | 411 | 11 | 2.6 |
| | 医学部 | 857 | 831 | 26 | 3.0 |
| | 工学部（昼） | 2,003 | 1,973 | 30 | 1.5 |
| | 応用生物科学部 | 776 | 762 | 14 | 1.8 |
| | **学部計** | **5,076** | **4,973** | **103** | **2.0** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 123 | 120 | 3 | 2.4 |
| | 地域科学研究科 | 28 | 27 | 1 | 3.6 |
| | 医学系研究科M | 19 | 18 | 1 | 5.3 |
| | 医学系研究科D | 2 | 2 | 0 | 0.0 |
| | 医学系研究科 | 31 | 29 | 2 | 6.5 |
| | 医学系研究科（看護学） | 8 | 8 | 0 | 0 |
| | 工学研究科M | 604 | 587 | 17 | 2.8 |
| | 工学研究科D | 51 | 49 | 2 | 3.9 |
| | 応用生物科学研究科M | 165 | 160 | 5 | 3.0 |
| | 連合農学研究科D | 42 | 40 | 2 | 4.8 |
| | 連合獣医学研究科D | 24 | 24 | 0 | 0 |
| | 連合創薬医療情報研究科D | 6 | 6 | 0 | 0 |
| | **大学院計** | **1,103** | **1,070** | **33** | **3.0** |
| **総計** | | **6,179** | **6,043** | **136** | **2.2** |

所見の内訳

| 判定 | 人数 | 所見 |
|---|---|---|
| B：支障なし<br>（経過観察） | 74名 | 脊椎後・側弯症（45名）、胸骨縦切開術後（５名）、右肋骨奇形・変形（３名）、大動脈右側大動脈弓（３名）、右肋骨骨折・骨折後（３名）、循環器大動脈右側大動脈弓（２名）、右上肺野奇静脈葉、右肺尖気胸術後、右肋骨奇形・変形脊椎後・側弯症、左上肺野気胸術後、左肋骨奇形・変形、左鎖骨骨折・骨折後、左上肺野気胸術後、縦隔手術既往、循環器・心陰影右胸心、脊椎手術既往、両側肺尖気胸術後、両側上肺野気胸術後、両側肋骨奇形・変形 |
| C：要再検査 | 34名 | 右肺尖ブラまたは嚢胞影（９名）、左肺尖ブラまたは嚢胞影（６名）、心陰影拡大（３名）、両側肺尖ブラまたは嚢胞影（３名）、両側肺尖硬化像（２名）、右肺尖硬化像（２名）、シャントチューブ、右下肺野線状・索状影、右上肺野ブラまたは嚢胞影（２名）、右上肺野硬化像、右上肺野線状・索状影、右肺尖ブラまたは嚢胞影・右上肺野気胸術後右中肺野線状・索状影、右下肺野限局性浸潤影、右肺尖硬化像、右肺尖硬化像・左上肺野気胸術後、右肺門ブラまたは嚢胞影、左上肺野硬化像、左中肺野ブラまたは嚢胞影、左中肺野孤立性結節影、左中肺野硬化像、左中肺野肥厚像、左肺尖肥厚、左肺尖硬化像、循環器心陰影肥大、循環器心陰影拡大、両側下肺野肥厚像、上縦隔拡大、両側肺尖小結節影 |
| D１：要治療 | １名 | 右胸膜気胸 |
| D２：要精密検査 | 11名 | 右上肺野限局性浸潤影（３名）、右下肺野孤立性結節影、右中肺野限局性浸潤影、右肺門限局性浸潤影、下縦隔腫瘤影、左上肺野限局性浸潤影、中縦隔拡大、左中肺野小結節影あ両側気管支拡張像 |
| E：治療中 | １名 | 両側下肺野拡張像・両側下肺野限局性浸潤影（気管支拡張症） |

＊　上記C、D２、E判定の46名は、電話連絡、学校医による結果説明、問診、診察などを迅速に行い、必要な学生には医療機関での精査を指示した。D１の学生には即時、本人に連絡し医療機関を受診させた。

学校医診察により経過観察となったものは18名であり、医療機関での精査を実施のため紹介状発行となったのは34名であった。うち13名は異常がなく、18名は診断があり（マイコプラズマ肺炎、胸膜肥厚（陳旧性炎症性変化）、両側肺尖部陳旧性炎症、左第４肋骨骨軟骨腫疑、多発性外骨腫（治療中）、胸膜を伴う瘢痕、右自然気胸、気管支拡張症（治療中）心膜嚢胞疑、上大動脈の拡張、肺炎、索状影あり、陳旧性炎症、肝血管腫、右肺尖胸膜肥厚、左肺尖胸膜肥厚、左上肺野に硬化性病変）３名は返信がなかった。９名の学生が電話連絡したが、学校医結果説明に来所しなかった。

## 5）尿検査

① 尿蛋白

| 学部・大学院名 | | 受診者数 (a)（人） | (－) (人) | (＋) (人) | (2＋) (人) | (3＋) (人) | (4＋) (人) | 有所見者数 (b)（人） | 有所見率 (b/a)（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,021 | 980 | 26 | 2 | | 1 | 29 | 2.8 |
| | 地域科学部 | 418 | 407 | 9 | 2 | | | 11 | 2.6 |
| | 医学部 | 853 | 834 | 17 | 2 | | | 19 | 2.2 |
| | 工学部（昼） | 1,999 | 1,934 | 55 | 9 | 1 | | 65 | 3.3 |
| | 応用生物科学部 | 771 | 753 | 16 | 2 | | | 18 | 2.3 |
| | **学部計** | **5,062** | **4,908** | **123** | **17** | **1** | | **142** | **2.8** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 123 | 120 | 3 | | | | 3 | 2.4 |
| | 地域科学研究科 | 28 | 27 | | 1 | | | 1 | 3.6 |
| | 医学系研究科M | 19 | 16 | 3 | | | | 2 | 10.5 |
| | 医学系研究科D | 3 | 3 | | | | | 0 | 0 |
| | 医学系研究科 | 31 | 29 | 1 | | 1 | | 2 | 6.5 |
| | 医学系研究科（看護学） | 8 | 8 | | | | | 0 | 0.0 |
| | 工学研究科M | 602 | 581 | 17 | 4 | | | 21 | 3.5 |
| | 工学研究科D | 51 | 50 | 1 | | | | 1 | 2.0 |
| | 応用生物科学研究科 | 165 | 161 | 3 | 1 | | | 4 | 2.4 |
| | 連合農学研究科 | 42 | 41 | 1 | | | | 1 | 2.4 |
| | 連合獣医学研究科 | 24 | 23 | 1 | | | | 1 | 4.2 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 6 | 5 | 1 | | | | 1 | 16.7 |
| | **大学院計** | **1,102** | **1,064** | **31** | **6** | **1** | | **38** | **3.4** |
| **総計** | | **6,164** | **5,972** | **154** | **23** | **2** | | **180** | **2.9** |

② 尿糖

| 学部・大学院名 | | 受診者数 (a)（人） | (－) (人) | (＋) (人) | (2＋) (人) | (3＋) (人) | (4＋) (人) | 有所見者数 (b)（人） | 有所見率 (b/a)（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,012 | 1,011 | 1 | | | | 1 | 0.1 |
| | 地域科学部 | 418 | 418 | | | | | 0 | 0 |
| | 医学部 | 853 | 850 | 1 | 1 | | 1 | 3 | 0.4 |
| | 工学部（昼） | 1,999 | 1,991 | 5 | 2 | 1 | | 8 | 0.4 |
| | 応用生物科学部 | 771 | 770 | 1 | | | | 1 | 0.1 |
| | **学部計** | **5,053** | **5,040** | **8** | **3** | **1** | **1** | **13** | **0.3** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 123 | 122 | | | | 1 | 1 | 0.8 |
| | 地域科学研究科 | 28 | 28 | | | | | 0 | 0 |
| | 医学系研究科M | 19 | 19 | | | | | 0 | 0 |
| | 医学系研究科D | 3 | 2 | 1 | | | | 1 | 33.3 |
| | 医学系研究科 | 31 | 31 | | | | | 0 | 0 |
| | 医学系研究科（看護学） | 8 | 8 | | | | | 0 | 0 |
| | 工学研究科M | 602 | 601 | | 1 | | | 1 | 0.2 |
| | 工学研究科D | 51 | 51 | | | | | 0 | 0 |
| | 応用生物科学研究科 | 165 | 164 | 1 | | | | 1 | 0.6 |
| | 連合農学研究科 | 42 | 42 | | | | | 0 | 0 |
| | 連合獣医学研究科 | 24 | 24 | | | | | 0 | 0 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 6 | 6 | | | | | 0 | 0 |
| | **大学院計** | **1,102** | **1,098** | **2** | **1** | **0** | **1** | **4** | **0.4** |
| **総計** | | **6,155** | **6,138** | **10** | **4** | **1** | **2** | **17** | **0.3** |

学生には採尿キットを事前に配布して、起床時（早朝・空腹時）に採尿するよう指示して実施している。尿蛋白（＋）以上で、有所見者は180名（2.9%）であった。尿糖（＋）以上で有所見者は17名（0.3%）であった。保健管理センターで再検査を行い、陰性を確認するなど経過観察でよいことを確認したものは、126名で、尿糖は再検査で陰性化しても生来はじめて尿糖が陽性であった者や、家族歴のある者は、糖尿病専門医へ精査依頼をした。紹介状を発行し、医療機関での精査を指示したものは11名であった。そのうち医療機関の精査および照会結果により、無症候性タンパク尿１名、肥満による脂肪関連腎症疑１名、蛋白尿・腎炎疑１名 、IgA 腎症１名、糸球体腎炎１名、腎臓内科での精査必要者2名であった。糖尿病１名、尿細管障害１名が医療管理下にあり治療中であった。

### 6）血圧測定

| 学部・大学院名 | | 受診者数（a）（人） | 収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上（b）（人） | 収縮期血圧80mmHg未満（c）（人） | 有所見者数（b+c）（人） | 有所見率（b+c/a）（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,018 | 20 | | 20 | 2.0 |
| | 地域科学部 | 422 | 5 | | 5 | 1.2 |
| | 医学部 | 857 | 15 | 1 | 16 | 1.9 |
| | 工学部（昼） | 2,003 | 53 | | 53 | 2.6 |
| | 応用生物科学部 | 776 | 5 | | 5 | 0.6 |
| | **学部計** | **5,076** | **98** | **1** | **99** | **2.0** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 124 | 7 | | 7 | 5.6 |
| | 地域科学研究科 | 28 | 2 | | 2 | 7.1 |
| | 医学系研究科M | 19 | 1 | | 1 | 5.3 |
| | 医学系研究科D | 3 | | | 0 | 0.0 |
| | 医学系研究科 | 31 | 1 | | 1 | 3.2 |
| | 医学系研究科（看護学） | 8 | | | 0 | 0.0 |
| | 工学研究科M | 605 | 14 | | 14 | 2.3 |
| | 工学研究科D | 51 | 3 | | 3 | 5.9 |
| | 応用生物科学研究科 | 165 | 4 | | 4 | 2.4 |
| | 連合農学研究科 | 42 | | | 0 | 0.0 |
| | 連合獣医学研究科 | 24 | | | 0 | 0.0 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 6 | 2 | | 2 | 33.3 |
| | **大学院計** | **1,106** | **34** | | **34** | **3.1** |
| **総計** | | **6,182** | **132** | **1** | **133** | **2.2** |

収縮期血圧140以上、80未満、拡張期血圧90以上のいずれかに相当する有所見者は133名（2.2%）あった。保健管理センターでの再検査を行い、一過性の所見で経過観察でよいと判断した者は63名、家庭用血圧計を貸与して自己血圧測定を実施し経過観察でよいことを確認したのは11名、医療機関での精査を指示したのは17名であった。うち11名は医療機関での精査結果確認し、本態性高血圧３名、境界型高血圧１名、本態性高血圧疑い１名の結果であった。

### 7）内科診察

| 学部・大学院名 | | 受診者数 (a)（人） | 所見あり (b)（人） | 所見内容の内訳（人） 結膜蒼白 | 脈拍の異常 | 甲状腺腫 | 心音の異常 | 呼吸音の異常 | 皮膚の異常 | 運動障害 | 口腔の異常 | その他の所見 | 有所見率 (b/a)（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1,018 | 20 | 1 | | 9 | 7 | | 2 | | | 1 | 2.0 |
| | 地域科学部 | 422 | 6 | | 1 | 4 | 1 | | | | | | 1.4 |
| | 医学部 | 857 | 13 | | 5 | 4 | 1 | | 3 | | | | 1.5 |
| | 工学部（昼） | 2,003 | 30 | | 7 | 5 | 5 | | 13 | | 1 | | 1.5 |
| | 応用生物科学部 | 776 | 13 | | 2 | 9 | | | 2 | | | | 1.7 |
| | **学部計** | **5,076** | **82** | **1** | **15** | **31** | **14** | **0** | **20** | **0** | **1** | **1** | **1.6** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 124 | 13 | 1 | | 1 | | | 1 | | | | 10.5 |
| | 地域科学研究科 | 28 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 医学系研究科M | 19 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 医学系研究科D | 3 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 医学系研究科 | 31 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 医学系研究科（看護学） | 8 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 工学研究科M | 605 | 8 | | 1 | 3 | 3 | | 1 | | | | 1.3 |
| | 工学研究科D | 51 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 応用生物科学研究科 | 165 | 1 | | | 1 | | | | | | | 0.6 |
| | 連合農学研究科 | 42 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 連合獣医学研究科 | 23 | 1 | | | | 1 | | | | | | 4.3 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 6 | | | | | | | | | | | 0 |
| | **大学院計** | **1,105** | **23** | **1** | **1** | **5** | **4** | **0** | **2** | **0** | **0** | **0** | **2.1** |
| **総計** | | **6,181** | **105** | **2** | **16** | **36** | **18** | **0** | **22** | **0** | **1** | **1** | **1.7** |

所見を指摘された105名のうち、すでに、医療管理下にあるものは16名、保健管理センターで学校医による再診察を受け、異常なし･経過観察とされたものは６名、医療機関での精査を指示したものは35名であった。うち医療機関での精査結果で、異常なし９名、健康診断を機に新たに診断（単純性びまん性甲状腺腫、甲状腺のう胞、単純性甲状腺腫、多発性心室性不整脈、心室性期外収縮、洞性徐脈、洞性徐脈、僧帽弁逸脱症、大動脈弁閉鎖不全症）がついた者は９名であった。新規疾病発見率は、0.15%であった。

### 8）新入生・編入生対象の心電図検査

| 学部名 | 受診者数 (a) (人) | 所見あり (b) (人) | 有所見率 (b/a) (%) |
|---|---|---|---|
| 教育学部 | 253 | 5 | 2.0 |
| 地域科学部 | 144 | 1 | 0.7 |
| 医学部 | 183 | 1 | 0.5 |
| 工学部（昼） | 553 | 14 | 2.5 |
| 応用生物科学部 | 206 | 2 | 1.0 |
| **総計** | **1,339** | **23** | **1.7** |

所見あり23名の内訳

| 所見 | C（人） | D２（人） | 計（人） |
|---|---|---|---|
| Ⅰ度房室ブロック（0.22sec ≦ PQ） | 2 | | 2 |
| 完全右脚ブロック | 6 | | 6 |
| 散発性上室性期外収縮（２回未満） | 3 | | 3 |
| 散発性心室性期外収縮（２回未満） | 4 | | 4 |
| 著しい洞性頻脈（HR ≧120） | 2 | | 2 |
| 洞性頻脈（120＞ HR ≧100） | 1 | | 1 |
| 頻発性心室性期外収縮（２回以上） | | 2 | 2 |
| ＷＰＷ症候群 | 1 | 1 | 2 |
| 心室内ブロック | 1 | | 1 |
| **計** | **20** | **3** | **23** |

心電図検査の有所見者（C、D２判定）は23名（1.7%）であった。

保健管理センターで 学校医より21名に個別に結果説明を行い、10名は経過観察となった。11名は、医療機関へ精査検査目的で紹介となった。その結果、上室性期外収縮、心室性期外収縮１名、心室性期外収縮散発１名、完全右脚ブロック１名が経過観察目的で医療管理下となった。就学に際し、配慮が必要とする者はなかった。

## 9）身体計測

①肥満（BMI 25.0以上）

| 性別 | 学部・大学院名 | | 受診者数 (a) (人) | 有所見者の内訳 体格指数（BMI）（kg/㎡） | | | | 有所見者数 (b) (人) | 有所見率 (b/a) (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 25-29.9 | 30-34.9 | 35-39.9 | 40- | | |
| 女性 | 学部 | 教育学部 | 584 | 25 | 1 | 1 | | 27 | 4.6 |
| | | 地域科学部 | 264 | 11 | 1 | | | 12 | 4.5 |
| | | 医学部 | 445 | 16 | 2 | | | 18 | 4.0 |
| | | 工学部（昼） | 267 | 11 | 1 | 1 | | 13 | 4.9 |
| | | 応用生物科学部 | 444 | 12 | | | | 12 | 2.7 |
| | | **学部計** | **2,004** | **75** | **5** | **2** | | **82** | **4.1** |
| | 大学院 | 教育学研究科 | 58 | 2 | 1 | | | 3 | 5.2 |
| | | 地域科学研究科 | 18 | | | | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科M | 3 | 1 | | | | 1 | 33.3 |
| | | 医学系研究科D | 2 | 1 | | | | 1 | 50.0 |
| | | 医学系研究科 | 6 | | | | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科（看護学） | 7 | 1 | 1 | | | 2 | 28.6 |
| | | 工学研究科M | 69 | 5 | | | | 5 | 7.2 |
| | | 工学研究科D | 8 | | | | | 0 | 0.0 |
| | | 応用生物科学研究科 | 71 | 7 | | | | 7 | 9.9 |
| | | 連合農学研究科 | 21 | 2 | | | | 2 | 9.5 |
| | | 連合獣医学研究科 | 10 | 1 | | 1 | | 2 | 20.0 |
| | | 連合創薬医療情報研究科 | 1 | | 1 | | | 1 | 100.0 |
| | | **大学院計** | **274** | **20** | **3** | **1** | **0** | **24** | **8.8** |
| | **女性計** | | **2,278** | **95** | **8** | **3** | **0** | **106** | **4.7** |
| 男性 | 学部 | 教育学部 | 434 | 44 | 6 | 5 | 1 | 56 | 12.9 |
| | | 地域科学部 | 158 | 14 | 3 | | | 17 | 10.8 |
| | | 医学部 | 412 | 38 | 7 | 2 | | 47 | 11.4 |
| | | 工学部（昼） | 1,736 | 164 | 29 | 4 | 2 | 199 | 11.5 |
| | | 応用生物科学部 | 332 | 20 | 3 | | | 23 | 6.9 |
| | | **学部計** | **3,072** | **280** | **48** | **11** | **3** | **342** | **11.1** |
| | 大学院 | 教育学研究科 | 65 | 14 | 4 | | | 18 | 27.7 |
| | | 地域科学研究科 | 10 | 2 | 1 | | | 3 | 30.0 |
| | | 医学系研究科M | 16 | 3 | 1 | | | 4 | 25.0 |
| | | 医学系研究科D | 1 | | | | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科 | 25 | 3 | 1 | | | 4 | 16.0 |
| | | 医学系研究科（看護学） | 1 | | 1 | | | 1 | 100.0 |
| | | 工学研究科M | 536 | 52 | 6 | 2 | | 60 | 11.2 |
| | | 工学研究科D | 43 | 11 | 4 | 1 | | 16 | 37.2 |
| | | 応用生物科学研究科 | 94 | 8 | 1 | | | 9 | 9.6 |
| | | 連合農学研究科 | 20 | 5 | | | | 5 | 25.0 |
| | | 連合獣医学研究科 | 14 | 2 | 1 | | | 3 | 21.4 |
| | | 連合創薬医療情報研究科 | 5 | 1 | 1 | | | 2 | 40.0 |
| | | **大学院計** | **830** | **101** | **21** | **3** | **0** | **125** | **15.1** |
| | **男性計** | | **3,902** | **381** | **69** | **14** | **3** | **467** | **12.0** |
| **学部計** | | | **5,076** | **355** | **53** | **13** | **3** | **424** | **8.4** |
| **大学院計** | | | **1,104** | **121** | **24** | **4** | **0** | **149** | **13.5** |
| **総計** | | | **6,180** | **476** | **77** | **17** | **3** | **573** | **9.3** |

②低体重（BMI 18.5未満）

| 性別 | 学部・大学院名 | | 受診者数 (a) （人） | 有所見者の内訳 体格指数（BMI）（kg/㎡） 16.0～18.5未満 | 16.0未満 | 有所見者数 (b) （人） | 有所見率 (b/a) （%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 学部 | 教育学部 | 584 | 73 | | 73 | 12.5 |
| | | 地域科学部 | 264 | 54 | 1 | 55 | 20.8 |
| | | 医学部 | 445 | 84 | | 84 | 18.9 |
| | | 工学部（昼） | 267 | 52 | 5 | 57 | 21.3 |
| | | 応用生物科学部 | 444 | 78 | 3 | 81 | 18.2 |
| | | **学部計** | **2,004** | **341** | **9** | **350** | **17.5** |
| | 大学院 | 教育学研究科 | 58 | 14 | | 14 | 24.1 |
| | | 地域科学研究科 | 18 | | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科M | 3 | 1 | | 1 | 33.3 |
| | | 医学系研究科D | 2 | | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科 | 6 | 1 | | 1 | 16.7 |
| | | 医学系研究科（看護学） | 7 | 1 | | 1 | 14.3 |
| | | 工学研究科M | 69 | 15 | | 15 | 21.7 |
| | | 工学研究科D | 8 | 1 | | 1 | 12.5 |
| | | 応用生物科学研究科 | 71 | 10 | | 10 | 14.1 |
| | | 連合農学研究科 | 21 | 4 | | 4 | 19.0 |
| | | 連合獣医学研究科 | 10 | | | 0 | 0.0 |
| | | 連合創薬医療情報研究科 | 1 | | | 0 | 0.0 |
| | | **大学院計** | **274** | **47** | **0** | **47** | **17.2** |
| | **女性計** | | **2,278** | **388** | **9** | **397** | **17.4** |
| 男性 | 学部 | 教育学部 | 434 | 28 | | 28 | 6.5 |
| | | 地域科学部 | 158 | 19 | 1 | 20 | 12.7 |
| | | 医学部 | 412 | 32 | | 32 | 7.8 |
| | | 工学部（昼） | 1,736 | 238 | 5 | 243 | 14.0 |
| | | 応用生物科学部 | 332 | 39 | 1 | 40 | 12.0 |
| | | **学部計** | **3,072** | **356** | **7** | **363** | **11.8** |
| | 大学院 | 教育学研究科 | 65 | 6 | | 6 | 9.2 |
| | | 地域科学研究科 | 10 | 1 | | 1 | 10.0 |
| | | 医学系研究科M | 16 | 2 | | 2 | 12.5 |
| | | 医学系研究科D | 1 | 0 | | 0 | 0.0 |
| | | 医学系研究科 | 25 | 1 | | 1 | 4.0 |
| | | 医学系研究科（看護学） | 1 | 0 | | 0 | 0.0 |
| | | 工学研究科M | 536 | 68 | 5 | 73 | 13.6 |
| | | 工学研究科D | 43 | 1 | | 1 | 2.3 |
| | | 応用生物科学研究科 | 94 | 9 | | 9 | 9.6 |
| | | 連合農学研究科 | 20 | | | 0 | 0.0 |
| | | 連合獣医学研究科 | 14 | | | 0 | 0.0 |
| | | 連合創薬医療情報研究科 | 5 | | | 0 | 0.0 |
| | | **大学院計** | **830** | **88** | **5** | **93** | **11.2** |
| | **男性計** | | **3,902** | **444** | **12** | **456** | **11.7** |
| **学部計** | | | **5,076** | **697** | **16** | **713** | **14.0** |
| **大学院計** | | | **1,104** | **135** | **5** | **140** | **12.7** |
| **総計** | | | **6,180** | **832** | **21** | **853** | **13.8** |

## ３．非正規生（研究生・聴講生）および秋季入学大学院生の定期健康診断

春季入学の非正規生と秋季入学の大学院生および非正規生の定期健康診断をそれぞれ４月・10月に日程を設け実施した。

平成25年度春季入学生受診状況

| | 対象者数<br>(a)<br>（人） | 受診者数<br>(b)<br>（人） | 受診率<br>(b/a)<br>（%） |
|---|---|---|---|
| 非正規生 | 39 | 25 | 64.1 |
| うち留学生 | 25 | 19 | 76.0 |

平成25年度秋季入学生受診状況

| | 対象者数<br>(a)<br>（人） | 受診者数<br>(b)<br>（人） | 受診率<br>(b/a)<br>（%） |
|---|---|---|---|
| 大学院生 | 11 | 6 | 54.5 |
| うち留学生 | 7 | 6 | 85.7 |
| 非正規生 | 52 | 49 | 94.2 |
| うち留学生 | 49 | 46 | 93.9 |

平成25年度春季入学生有所見者数

| | 受診者数<br>(a)<br>（人） | 有所見者<br>(b)<br>（人） | 有所見率<br>(b/a)<br>（%） |
|---|---|---|---|
| 総合判定 | 25 | 13 | 52.0 |
| 身体計測 | 25 | 9 | 36.0 |
| 血圧 | 25 | 4 | 16.0 |
| 視力 | 25 | 3 | 12.0 |
| 尿検査 | 25 | 0 | 0.0 |
| 診察 | 25 | 0 | 0.0 |
| 胸部Ｘ線 | 25 | 1 | 4.0 |

平成25年度秋季入学生有所見者数（大学院生）

| | 受診者数<br>(a)<br>（人） | 有所見者<br>(b)<br>（人） | 有所見率<br>(b/a)<br>（%） |
|---|---|---|---|
| 総合判定 | 6 | 5 | 83.3 |
| 身体計測 | 6 | 2 | 33.3 |
| 血圧 | 6 | 2 | 33.3 |
| 視力 | 6 | 0 | 0.0 |
| 尿検査 | 6 | 0 | 0.0 |
| 診察 | 6 | 0 | 0.0 |
| 胸部Ｘ線 | 6 | 1 | 16.7 |
| 肝機能 | 6 | 0 | 0.0 |
| 脂質 | 6 | 1 | 16.7 |
| 糖代謝 | 6 | 0 | 0.0 |
| 尿酸 | 6 | 0 | 0.0 |

平成25年度秋季入学生有所見者数（非正規性）

| | 受診者数<br>(a)<br>（人） | 有所見者<br>(b)<br>（人） | 有所見率<br>(b/a)<br>（%） |
|---|---|---|---|
| 総合判定 | 49 | 22 | 44.9 |
| 身体計測 | 49 | 19 | 38.8 |
| 血圧 | 49 | 1 | 2.0 |
| 視力 | 49 | 6 | 12.2 |
| 尿検査 | 49 | 1 | 2.0 |
| 診察 | 49 | 1 | 2.0 |
| 胸部Ｘ線 | 48 | 2 | 4.2 |

## ４．学生の特殊健康診断

目　　的　　学生の就学上の安全管理を図るため、労働安全衛生法に準じた健康診断を学生にも実施する。
X 線・RI 取扱者は、放射線障害防止法による。

対 象 者　　有機溶剤、特定化学物質、電離放射線（RI・X 線バッジ使用者）の取り扱いをする学生および新規に開始する学生

実施日時　　前期　　平成25年４月24日（水）　９：00～11：30
平成25年４月25日（木）　９：00～11：30　13：00～15：30
平成25年４月26日（金）　９：00～11：30　13：00～15：30
後期　　平成25年10月23日（水）　９：30～11：00
平成25年10月24日（木）　13：00～16：00

### １）前期特殊健康診断（結果のまとめ）

⑴　学部別の対象登録者数と受診者数

| 学部名 | | 登録者数（a）（人） | 受診者数（b）（人） | 受診率（b/a）（%） |
|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 16 | 15 | 93.8 |
| | 地域科学部 | 12 | 10 | 83.3 |
| | 医学部 | 1 | 1 | 100.0 |
| | 工学部 | 180 | 172 | 95.6 |
| | 応用生物科学部 | 90 | 83 | 92.2 |
| | **学部計** | **299** | **281** | **94.0** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 6 | 6 | 100.0 |
| | 医学系研究科 M | 10 | 9 | 90.0 |
| | 医学系研究科 D | 1 | 1 | 100.0 |
| | 医学系研究科 | 8 | 5 | 62.5 |
| | 工学研究科 M | 209 | 193 | 92.3 |
| | 工学研究科 D | 18 | 16 | 88.9 |
| | 応用生物科学研究科 | 54 | 51 | 94.4 |
| | 連合農学研究科 | 6 | 6 | 100.0 |
| | 連合獣医学研究科 | 26 | 18 | 69.2 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 5 | 5 | 100.0 |
| | **大学院計** | **343** | **310** | **90.4** |
| **総計** | | **642** | **591** | **92.1** |

⑵　結果

有機溶剤取扱者

| 判定 | 人数 |
|---|---|
| 管理　A | 492 |

電離放射線取扱者

| 判定 | 人数 |
|---|---|
| 管理　A | 231 |

有機溶剤代謝物判定

| 判定 | 人数 |
|---|---|
| 分布１ | 273 |
| 分布２ | 4 |

※分布２の学生４名については、産業医より研究室の巡視を行い、作業環境について改善指導を行った。
この４名は、後期に特殊健康診断を再度受診させ、異常がないことを確認した。

特定化学物質取扱者：すべて A 判定

| 物質名 | 人数（人） | 物質名 | 人数（人） | 物質名 | 人数（人） | 物質名 | 人数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アクリルアミド | 130 | 弗化水素 | 41 | 塩化水素 | 131 | ホルムアルデヒド | 34 |
| 塩素 | 10 | ベンゼン | 48 | 硝酸 | 118 | 砒素 | 6 |
| カドミウム | 14 | マンガン | 28 | 二酸化硫黄 | 1 | TDI | 1 |
| クロム酸 | 13 | 沃化メチル | 42 | フエノール | 92 | その他 | 37 |
| シアン化カリウム | 2 | 硫化水素 | 11 | 硫酸 | 130 | | |
| シアン化ナトリウム | 2 | 臭化メチル | 18 | アクリルニトロ | 1 | | |
| 重クロム酸 | 11 | アンモニア | 63 | 水銀 | 1 | | |
| ニッケル化合物 | 3 | 一酸化炭素 | 18 | 硫酸ジメチル | 18 | | |

## 2）後期特殊健康診断（結果のまとめ）

⑴　学部別の対象登録者数と受診者数

| 学部名 | | 登録者数（a）（人） | 受診者数（b）（人） | 受診率（b/a）（%） |
|---|---|---|---|---|
| 学部 | 教育学部 | 1 | 1 | 100.0 |
| | 地域科学部 | 2 | 2 | 100.0 |
| | 工学部 | 19 | 14 | 73.7 |
| | 応用生物科学部 | 23 | 21 | 91.3 |
| | **学部計** | **45** | **38** | **84.4** |
| 大学院 | 教育学研究科 | 1 | 1 | 100.0 |
| | 医学系研究科 | 3 | 2 | 66.7 |
| | 工学研究科M | 17 | 9 | 52.9 |
| | 応用生物科学研究科 | 5 | 5 | 100.0 |
| | 連合農学研究科 | 2 | 2 | 100.0 |
| | 連合獣医学研究科 | 2 | 2 | 100.0 |
| | 連合創薬医療情報研究科 | 1 | 1 | 100.0 |
| | **大学院計** | **31** | **22** | **71.0** |
| **総計** | | **76** | **60** | **78.9** |

⑵　結果

有機溶剤取扱者

| 判定 | 人数 |
|---|---|
| 管理　A | 42 |

電離放射線取扱者

| 判定 | 人数 |
|---|---|
| 管理　A | 20 |

特定化学物質取扱者：すべて A 判定

| 物質名 | 人数（人） | 物質名 | 人数（人） |
|---|---|---|---|
| アクリルアミド | 9 | フエノール | 3 |
| 塩素 | 1 | 硫酸 | 7 |
| 弗化水素 | 5 | ホルムアルデヒド | 4 |
| 塩化水素 | 12 | アンモニア | 5 |
| シアン化カリウム | 2 | | |
| 一酸化炭素 | 2 | | |
| 硝酸 | 5 | | |

### ＜判定＞

管理区分

| | |
|---|---|
| 管理A | 異常なし（自他覚症状及び異常所見はほとんど認められない） |
| 管理B<br>分布１<br>分布２<br>分布３ | 管理区分Cには該当しないが、当該業務による異常の疑いがある<br>要経過観察<br>要再検<br>要精検 |
| 管理C | 要治療・就業禁止 |
| 管理T | 疾病の治療 |
| 管理R | 疾病の療養・就業制限 |

※有機溶剤健診での尿中代謝物分布は量が多いほど暴露量が多いことを示している。
　管理区分（A、B、C）の後の数字（1、2、3）は分布区分を表す。

## 5．教職員健康管理室事業計画（柳戸地区）

### 教職員の健康管理

| | 区　　分 | 対　象　者 | 実施時期 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 健康教育 | 新入職員研修<br>（メンタルヘルス） | 新入職員 | 4月 | 産業医による講演 |
| 健康診断事後措置 | 定期健康診断<br>事後措置 | 有所見者 | 8～11月 | 産業医、保健師による面談、保健指導<br>受診勧奨 |
| | | メンタルヘルス問診にて所見のある者および希望者 | 6～9月 | 産業医による面談 |
| | 特定業務従事者<br>健康診断事後措置 | 有所見者 | 8月～11月<br>1月 | 産業医、保健師による面談、保健指導<br>受診勧奨 |
| | 特殊健康診断<br>事後措置 | 有所見者およびその就業場所 | 7月～11月<br>1月 | 産業医の特別巡視<br>医師、保健師による面談、保健指導 |
| | 採用時健康診断<br>事後措置 | 有所見者 | 随　時 | 産業医、保健師による面談、保健指導<br>受診勧奨 |
| | 海外派遣労働者健康診断<br>事後措置 | 受診者 | 随　時 | 産業医による面談、保健指導、受診勧奨<br>予防接種の勧奨 |
| その他 | 麻薬施用者免許申請のための医師面接 | 麻薬取扱業務に携わる教職員 | 通　年 | 精神科医の面談 |
| | 電離放射線健康診断受診証明書発行 | 電離放射線業務に携わる教職員 | 通　年 | 特殊健康診断結果の証明 |
| | 応急処置 | 教職員 | 通　年 | 処置、医療機関情報の提供および紹介 |
| | 健康相談 | 教職員 | 通　年 | 産業医による相談、医療機関情報の提供および紹介 |
| | メンタルヘルス相談 | 教職員 | 通　年 | 産業医による相談、医療機関情報の提供および紹介 |
| | 過重労働職員に対する面接 | 過重労働のあった教職員 | 随　時 | 産業医による面談、事業主への勧告 |
| | 就業支援 | 就業上の悩みをもつ教職員 | 随　時 | 医師による面談、部局との連絡調整<br>事業主への勧告 |
| | 復職支援 | 療養中または療養後復職した教職員 | 随　時 | 医師による面談、部局との連絡調整<br>事業主への勧告 |
| | 禁煙指導 | 教職員 | 通　年 | 禁煙についての相談<br>医療機関情報の提供および紹介 |

### 労働安全衛生活動

| | 区　　分 | 実　施　者 | 実施時期 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| 委員会 | 労働安全衛生推進室会議<br>労働安全衛生推進委員会<br>労働安全衛生委員会 | 産業医<br>保健師（衛生管理者） | 毎月各1回 | 柳戸地区の労働安全衛生活動について討議 |
| 職場巡視 | 産業医巡視 | 産業医 | 毎月2回 | 柳戸地区の就業場所を巡視 |
| | 職場巡視 | 保健師（衛生管理者） | 毎週1回 | 本部およびセンターの就業場所を巡視 |
| | 産業医特別巡視 | 産業医 | 随　時 | 特殊健康診断にて異常所見があった場合、作業環境測定にて第2および第3管理区分となった場合、労働災害が起こった場合、当該就業場所を視察。労働安全衛生上必要な指示、指導を行う |

## 6．教職員の定期健康診断および特殊健康診断（結果のまとめ）

### 1）教職員健康診断項目

<table>
<tr><th colspan="3">検査項目</th><th>34歳以下<br>36～39歳</th><th>41歳～44歳</th><th>35歳・40歳<br>45歳以上</th></tr>
<tr><td rowspan="22">定期健康診断</td><td colspan="2">内科診察</td><td>診察、問診</td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">○</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">身体計測</td><td>身長</td></tr>
<tr><td>体重</td></tr>
<tr><td>腹囲</td></tr>
<tr><td colspan="2">視力検査</td><td>遠視力</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">聴力検査</td><td>1000Hz、4000Hz</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td>会話法</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">血圧検査</td><td>座位</td><td rowspan="9">○</td><td rowspan="9">○</td><td rowspan="9">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">胸部Ｘ線撮影検査</td><td>間接撮影</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">尿検査</td><td>糖</td></tr>
<tr><td>蛋白</td></tr>
<tr><td>潜血</td></tr>
<tr><td rowspan="5">血液検査</td><td>肝機能検査</td><td>AST、ALT、γ-GTP</td></tr>
<tr><td>血中脂質検査</td><td>HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪</td></tr>
<tr><td>血液一般検査</td><td>白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、血小板数、MCV、MCH、MCHC</td></tr>
<tr><td>代謝検査</td><td>血糖値、ヘモグロビン A1c、尿酸値</td></tr>
<tr><td>感染症抗体検査</td><td>麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎</td><td colspan="3">産業医が指示した者（※）</td></tr>
<tr><td colspan="2">心電図検査</td><td>安静時</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">がん検診</td><td>胃がん</td><td>上部消化管 X 線撮影</td><td>—</td><td colspan="2">40, 45, 50, 55, 60, 65歳の者</td></tr>
<tr><td>前立腺がん</td><td>PSA</td><td colspan="2">—</td><td>50, 55, 60, 65歳の男性</td></tr>
<tr><td>乳がん</td><td>マンモグラフィー撮影、視触診</td><td colspan="3" rowspan="2">20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65歳の女性</td></tr>
<tr><td>子宮頸がん</td><td>内診、細胞診</td></tr>
<tr><td>大腸がん</td><td>便潜血検査</td><td colspan="3">45, 48, 51, 54, 57, 60, 63歳の者</td></tr>
</table>

※・・・感染症抗体検査　過去の検査にて充分な抗体価がなかった者および未検者

<table>
<tr><th colspan="3">検査項目</th><th>病原体汚染業務従事者</th><th>ホルムアルデヒド取扱業務従事者</th><th>エチレンオキシド取扱業務従事者</th></tr>
<tr><td rowspan="14">特定業務従事者健康診断</td><td colspan="2">内科診察</td><td>診察、問診</td><td rowspan="11">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">身体計測</td><td>身長</td></tr>
<tr><td>体重</td></tr>
<tr><td>腹囲</td></tr>
<tr><td colspan="2">視力検査</td><td>遠視力</td></tr>
<tr><td colspan="2">血圧検査</td><td>座位</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">尿検査</td><td>糖</td></tr>
<tr><td>蛋白</td></tr>
<tr><td>潜血</td></tr>
<tr><td colspan="2">肝機能検査</td><td>AST、ALT、γ-GTP</td><td rowspan="3">—</td><td rowspan="3">—</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">肝炎ウィルス検査</td><td>HBs 抗体（上期のみ）</td></tr>
<tr><td>HCV 抗体（上期のみ）</td><td>30歳・40歳・50歳の者</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">検査項目</th><th>放射線業務従事者</th><th>有機溶剤取扱業務従事者</th><th>特定化学物質取扱業務従事者</th><th>林業チェーンソー業務従事者</th></tr>
<tr><td rowspan="5">特殊健康診断</td><td colspan="2" rowspan="2">医師診察</td><td>診察、問診、業務歴の聴取</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>視診、触診（痛覚、爪圧迫、振動覚、皮膚温）</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○（下期）</td></tr>
<tr><td colspan="2">血液検査</td><td>白血球数、白血球百分率、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値</td><td>○</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">取扱物質ごとの検査</td><td>貧血、肝機能、尿、代謝産物、握力、胸部Ｘ線などの各検査</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">運動機能検査</td><td>握力検査</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
</table>

※雇入時健康診断、海外派遣労働者健康診断（随時）、食品取扱者・保育園従事者の検便（月 1回）も実施している。

## ２）定期健康診断および特殊健康診断等受診状況（柳戸地区【医学部除く】）

### 一般健康診断

| | 該当者（a）（人） | 受診者（b）（人） | 受診率（b/a）（%） | 有所見者（c）（人） | 有所見率(c/b)（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 定期健康診断 | 1,070 | 817 | 93.8 | 372 | 50.0 |
| （人間ドック代替受診） | | 187 | | 130 | |
| 雇入時健康診断 | 30 | 30 | 100.0 | 7 | 23.3 |
| 海外派遣労働者健康診断 | 3 | 3 | 100.0 | 1 | 33.3 |
| 特定業務従事者健康診断（後期） | 77 | 76 | 98.7 | 15 | 19.7 |
| **合計** | **1,180** | **1,113** | **94.3** | **525** | **47.2** |

### がん検診

| | 該当者（a）（人） | 受診者（b）（人） | 受診率（b/a）（%） | 有所見者（c）（人） | 有所見率(c/b)（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 胃がん検診（X 線検査）（40歳以上のうち該当者） | 142 | 65 | 45.8 | 4 | 6.2 |
| 前立腺がん検診（PSA）（50歳以上男性のうち該当者） | 78 | 44 | 56.4 | 2 | 4.5 |
| 子宮頸がん検診（20歳以上女性のうち該当者） | 75 | 33 | 44.0 | 9 | 27.3 |
| 乳がん検診（マンモグラフィー、視触診）（20歳以上女性のうち該当者） | 75 | 42 | 56.0 | 3 | 7.1 |
| 大腸がん検診（便潜血反応）（45歳以上の該当者） | 165 | 130 | 78.8 | 12 | 9.2 |
| **合計** | **535** | **314** | **58.7** | **30** | **9.6** |

### 特殊健康診断

| | | 該当者（a）（人） | 受診者（b）（人） | 受診率（b/a）（%） | 有所見者（c）（人） | 有所見率(c/b)（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 放射線業務従事者 | 101 | 95 | 94.1 | 0 | 0.0 |
| | 有機溶剤取扱業務従事者 | 128 | 124 | 96.9 | 3 | 2.4 |
| | 特定化学物質取扱業務従事者 | 58 | 57 | 98.3 | 0 | 0.0 |
| | 林業チェーンソー業務従事者 | 2 | 2 | 100.0 | 0 | 0.0 |
| | **前期合計** | **289** | **278** | **96.2** | **3** | **1.1** |
| 後期 | 放射線業務従事者 | 103 | 95 | 92.2 | 1 | 1.1 |
| | 有機溶剤取扱業務従事者 | 133 | 120 | 90.2 | 3 | 2.5 |
| | 特定化学物質取扱業務従事者 | 61 | 55 | 90.2 | 0 | 0.0 |
| | 林業チェーンソー業務従事者 | 4 | 4 | 100.0 | 3 | 75.0 |
| | **後期合計** | **301** | **274** | **91.0** | **7** | **2.6** |

※有所見者数・・・岐阜大学柳戸地区（医学部除く）産業医が有所見と判断した人数

# Ⅱ　平成25年度　年間主要業務報告

1．業務報告（学生にかかわる関係行事）

2．学生の保健管理センター利用状況

3．学生を対象とした禁煙支援状況

4．健康診断証明書発行および救急鞄貸し出しの状況

5．学生相談室利用状況

6．業務報告
（教職員（柳戸地区）健康管理にかかわる関係行事）

7．教職員利用状況

8．就業支援について

9．学生の国家資格免許申請のための医療面接

10．各種行事における救護待機

# Ⅱ　平成25年度　年間主要業務報告

## 1．業務報告（学生にかかわる行事）

| 月 | 日 | 業　務　内　容 | その他行事および業務 |
|---|---|---|---|
| 通年 | | 一般診療、応急処置、医療機関受診勧奨<br>メンタルヘルス診療・学生相談<br>救急対応<br>健康啓発<br>環境管理、改善指導<br>臨床心理士相談<br>健康相談<br>禁煙相談<br>歯科相談（月１回）<br>栄養相談（週１回）<br>ヨガクラス（第２・第４水曜日） | |
| 4 | 7<br>2、3、4、5<br>8、9、10、11、12、15、16、17、18、19、30<br>24、25、26 | 入学式救護<br>新入生定期健康診断<br>定期健康診断事後対応（血圧・尿・視力再検査）<br>前期特殊健康診断 | 初年次セミナー<br>キャンパスライフの健康管理（保健体育特別講義）<br>連合農学大学院生オリエンテーション |
| 5 | 9、13、14、16、20、21、23、28、30<br>1、2、7、8、9、10、13、14、15、16、17 | 定期健康診断事後対応（結果説明）<br>定期健康診断事後対応（血圧・尿・視力再検査） | |
| 6 | 6、13、20、27<br>3、4、6、10、11、12、13、18、19、20、25、26、27 | 看護学生実習指導<br>定期健康診断事後（結果説明） | 平成25年度第１回保健管理センター運営委員会（6/10）<br>平成25年度第１回学生相談対応者研修会（FD.SD）（6/10）<br>岐阜県大学保健管理研究会・保健管理担当岐阜地区研究会（6/29） |
| 7 | | | 東海・北陸地方部会保健管理担当職研究会（7/25）<br>東海・北陸地方部会研究集会（7/25～7/26） |
| 8 | 6、7、8 | オープンキャンパス救護 | FD 保健管理センター主催講演会違法ドラックはこんなに危険（8/1）＜連合獣医特別講義＞ |
| 9 | | | 保健管理担当岐阜地区研究会（9/10）<br>全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会保健管理担当職東海地区研究会（9/6） |
| 10 | 23、24<br>23 | 後期特殊健康診断<br>秋季入学大学院生・非正規生健康診断 | 平成25年度第２回保健管理センター運営委員会（10/8）<br>健康科学講義（後期15回）<br>キャンパスライフの健康管理（保健体育特別講義） |
| 11 | 1、2<br>20 | 岐大祭救護<br>秋季入学大学院生・非正規生健康診断（結果説明） | 第51回（平成25年度）全国大学保健管理研究集会（11/13、14) |
| 12 | | | 平成25年度第３回保健管理センター運営委員会（12/2）<br>岐阜県大学保健管理研究会・保健管理担当岐阜地区研究会（12/21） |
| 1 | 19、20 | 平成26年度センター入試救護 | |
| 2 | 7、10、12、13、14、17、18、19、20<br>25、26 | 平成26年度在学生定期健康診断<br>平成26年度一般選抜入試（前期）救護 | 平成25年度第４回保健管理センター運営委員会（2/12）<br>平成25年度第５回保健管理センター運営委員会（2/24） |
| 3 | 17<br>12<br>17<br>19、21、22、25、26、27、28、29<br>19、20<br>25 | 平成26年度在学生定期健康診断<br>平成26年度一般選抜入試（後期）救護<br>獣医師免許申請用健康診断面接<br>医師免許申請用健康診断面接<br>平成26年度定期健康診断事後（血圧・尿・視力再検査）<br>学位記授与式救護 | 保健管理担当岐阜地区研究会（3/1） |

## 2．学生の保健管理センター利用状況

### 1）学生の診療、応急処置、相談（人）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 診療・応急処置 | 医師診察 | 20 | 34 | 31 | 35 | 14 | 15 | 41 | 31 | 24 | 33 | 20 | 12 | 310 |
| | 看護職対応 | 35 | 67 | 78 | 73 | 26 | 20 | 46 | 55 | 26 | 28 | 18 | 27 | 499 |
| | 小計 | 55 | 101 | 109 | 108 | 40 | 35 | 87 | 86 | 50 | 61 | 38 | 39 | 809 |
| | 内訳：呼吸器 | 13 | 22 | 21 | 17 | 5 | 8 | 14 | 26 | 17 | 5 | 8 | 3 | 159 |
| | 頭痛 | 1 | 5 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 22 |
| | 胃腸 | 2 | 6 | 7 | 3 | 1 | 3 | 4 | 3 | 4 | 9 | 1 | 5 | 48 |
| | 外傷 | 16 | 26 | 38 | 34 | 9 | 8 | 30 | 25 | 12 | 14 | 11 | 6 | 229 |
| | 筋・骨格 | 6 | 12 | 8 | 13 | 5 | 6 | 10 | 13 | 8 | 3 | 3 | 3 | 90 |
| | 皮膚 | 6 | 16 | 20 | 18 | 7 | 3 | 11 | 9 | 6 | 8 | 6 | 5 | 115 |
| | 眼 | 3 | 4 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| | 耳鼻咽喉 | 3 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 10 | 2 | 1 | 27 |
| | 歯科口腔 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 4 | 0 | 1 | 16 |
| | 婦人科 | 1 | 3 | 4 | 4 | 2 | 1 | 6 | 3 | 0 | 2 | 1 | 2 | 29 |
| | その他 | 3 | 6 | 1 | 9 | 5 | 2 | 7 | 2 | 1 | 3 | 6 | 13 | 58 |
| 歯科相談 | | 0 | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 9 |
| その他健康相談 | 医師対応 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | 看護職対応 | 29 | 15 | 20 | 12 | 0 | 9 | 20 | 20 | 3 | 10 | 10 | 6 | 154 |
| | 小計 | 30 | 17 | 21 | 14 | 1 | 13 | 20 | 20 | 3 | 10 | 10 | 6 | 165 |

### 2）学生の健康診断事後措置と継続的健康サポート（学生対象）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 結果説明 | | 55 | 120 | 90 | 3 | 4 | 2 | 0 | 5 | 7 | 0 | 0 | 0 | 286 |
| 再検査 | 体重 | 49 | 51 | 18 | 26 | 0 | 5 | 5 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 157 |
| | 血圧 | 39 | 38 | 8 | 0 | 4 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 96 |
| | 尿 | 66 | 61 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 6 | 9 | 149 |
| | 視力 | 60 | 148 | 9 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 233 |
| | その他 | 8 | 100 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 135 |
| 保健指導 | 保健指導 | 48 | 48 | 10 | 16 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 13 | 0 | 0 | 142 |
| | 栄養指導 | 5 | 21 | 7 | 8 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 49 |
| | 禁煙支援（新規） | 4 | 1 | 2 | 5 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 25 |
| | 禁煙支援（継続） | 1 | 4 | 2 | 8 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 | 24 |

## 3．学生を対象とした禁煙支援状況

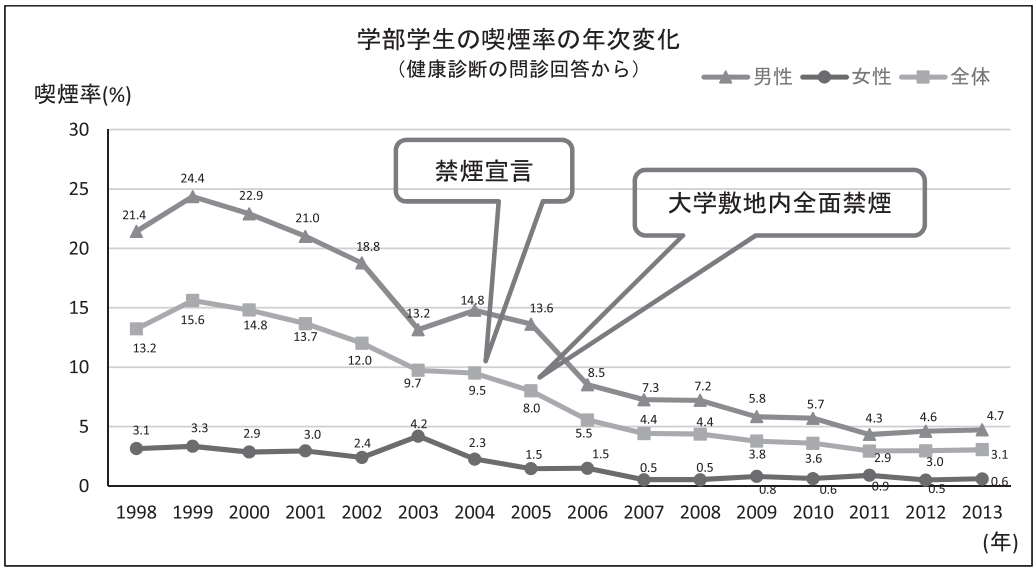
禁煙希望者には、保健師・看護師による禁煙相談を実施、必要に応じて医師によるニコチン代替療法も実施した。ニコチン補助剤の費用は大学側が負担して支援した。

### 禁煙支援実績

| 区分 | | 実施者数 (a) (人) | 性別 | | 初トライ or 再トライ | | 禁煙状況確認 | | | 3ヵ月後の禁煙成功率 (b/a) (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 女 (人) | 男 (人) | 初トライ (人) | 再トライ (人) | 禁煙達成・継続中 (b) (人) | 再喫煙 (人) | 結果不明 (卒業・退学・連絡取れず) (人) | |
| 学部 | 教育学部 | 1 | | 1 | 1 | | 0 | 1 | 0 | 0.0 |
| | 応用生物科学部 | 6 | | 6 | 6 | | 1 | 3 | 2 | 16.7 |
| | 工学部 | 3 | 1 | 2 | 3 | | 1 | 2 | 0 | 33.3 |
| | **学部生計** | **10** | **1** | **9** | **10** | **0** | **2** | **6** | **2** | **20.0** |
| 大学院 | 工学研究科M | 2 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 50.0 |
| | **大学院生計** | **2** | **0** | **2** | **1** | **1** | **1** | **1** | **0** | **50.0** |
| **総計** | | **12** | **1** | **11** | **11** | **1** | **3** | **7** | **2** | **25.0** |

延べ禁煙相談実施回数は29回。
禁煙達成者は３名（12名中）であった。

### 〈参考〉



## 学部学生の喫煙状況年次推移　（健康診断の問診より、喫煙しているとこ回答した人数／健康診断受診者数）

| 喫煙率 | 学年 | 1998年 | 1999年 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部生男性（%） | 1年 | 9.4 | 9.1 | 8.2 | 7.0 | 6.9 | 5.7 | 3.8 | 3.3 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.5 |
| | 2年 | 16.5 | 22.3 | 16.4 | 15.7 | 11.8 | 11.1 | 10.5 | 6.3 | 5.8 | 2.5 | 4.0 | 1.4 | 1.6 | 1.1 | 1.5 | 0.7 |
| | 3年 | 22.9 | 27.9 | 28.1 | 24.5 | 24.9 | 17.3 | 20.8 | 18.5 | 9.9 | 13.0 | 9.9 | 8.5 | 6.1 | 8.1 | 6.5 | 7.2 |
| | 4年 | 31.9 | 32.7 | 34.9 | 32.2 | 28.3 | 17.4 | 22.6 | 25.4 | 18.1 | 13.3 | 15.1 | 11.6 | 13.0 | 8.0 | 10.2 | 10.0 |
| | 5年 | 23.3 | 27.9 | 25.0 | 23.1 | 16.7 | 7.3 | 10.4 | 9.3 | 18.8 | 8.9 | 2.0 | 13.1 | 2.2 | 4.3 | 10.8 | 3.3 |
| | 6年 | 28.1 | 43.4 | 26.9 | 34.8 | 19.6 | 9.8 | 19.6 | 12.0 | 11.1 | 10.2 | 4.8 | 4.6 | 10.6 | 4.3 | 2.7 | 7.7 |
| | **男性** | **21.4** | **24.4** | **22.9** | **21.0** | **18.8** | **13.2** | **14.8** | **13.6** | **8.5** | **7.3** | **7.2** | **5.8** | **5.7** | **4.3** | **4.6** | **4.7** |
| 学部生女性（%） | 1年 | 1.2 | 2.0 | 0.0 | 0.4 | 0.8 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 |
| | 2年 | 2.5 | 2.7 | 2.0 | 2.0 | 0.9 | 2.3 | 1.5 | 0.4 | 1.0 | 0.0 | 0.2 | 1.0 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.7 |
| | 3年 | 4.5 | 4.3 | 4.7 | 3.8 | 3.0 | 3.9 | 3.7 | 2.0 | 1.8 | 1.0 | 0.8 | 1.0 | 1.0 | 1.3 | 0.6 | 0.2 |
| | 4年 | 4.8 | 4.8 | 4.9 | 6.4 | 5.3 | 8.7 | 3.3 | 3.4 | 3.6 | 1.1 | 1.2 | 1.1 | 1.2 | 2.1 | 1.0 | 1.0 |
| | 5年 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | 5.1 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 4.0 |
| | 6年 | 2.4 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 5.7 | 2.3 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 4.9 |
| | **女性** | **3.1** | **3.3** | **2.9** | **3.0** | **2.4** | **4.2** | **2.3** | **1.5** | **1.5** | **0.5** | **0.5** | **0.8** | **0.6** | **0.9** | **0.5** | **0.6** |
| 学部生全体（%） | 1年 | 5.8 | 5.9 | 4.8 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 2.2 | 2.0 | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.6 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | 2年 | 8.0 | 13.6 | 9.9 | 9.7 | 7.0 | 7.4 | 6.5 | 3.5 | 3.6 | 1.4 | 2.3 | 1.2 | 1.0 | 0.7 | 0.9 | 0.7 |
| | 3年 | 14.1 | 17.4 | 18.4 | 15.7 | 15.8 | 12.4 | 13.3 | 10.8 | 6.0 | 7.6 | 5.8 | 5.4 | 4.0 | 5.1 | 4.0 | 4.4 |
| | 4年 | 21.3 | 22.7 | 23.8 | 23.6 | 20.0 | 14.4 | 15.0 | 15.6 | 12.1 | 8.2 | 9.3 | 7.3 | 8.5 | 5.6 | 6.4 | 6.2 |
| | 5年 | 17.2 | 17.3 | 18.5 | 9.9 | 8.3 | 6.3 | 7.3 | 4.6 | 10.3 | 5.9 | 1.1 | 8.5 | 1.3 | 3.1 | 6.8 | 3.5 |
| | 6年 | 21.9 | 31.6 | 20.8 | 15.4 | 10.3 | 6.4 | 12.8 | 7.5 | 6.1 | 6.1 | 3.1 | 2.8 | 6.8 | 2.8 | 2.0 | 6.6 |
| | **学部全体** | **13.2** | **15.6** | **14.8** | **13.7** | **12.0** | **9.7** | **9.5** | **8.0** | **5.5** | **4.4** | **4.4** | **3.8** | **3.6** | **2.9** | **3.0** | **3.1** |

| 喫煙人数 | 学年 | 1998年 | 1999年 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学部生男性（人） | 1年 | 42 | 54 | 58 | 51 | 49 | 44 | 27 | 27 | 8 | 8 | 4 | 8 | 5 | 4 | 3 | 4 |
| | 2年 | 35 | 116 | 90 | 101 | 68 | 75 | 64 | 35 | 34 | 16 | 22 | 9 | 9 | 7 | 9 | 5 |
| | 3年 | 81 | 164 | 201 | 175 | 184 | 146 | 143 | 114 | 54 | 75 | 64 | 60 | 40 | 49 | 44 | 50 |
| | 4年 | 166 | 271 | 291 | 292 | 240 | 168 | 178 | 188 | 130 | 96 | 108 | 91 | 104 | 62 | 73 | 76 |
| | 5年 | 10 | 13 | 14 | 10 | 7 | 3 | 5 | 4 | 6 | 5 | 1 | 8 | 1 | 3 | 4 | 2 |
| | 6年 | 22 | 24 | 20 | 15 | 11 | 6 | 11 | 6 | 6 | 6 | 3 | 3 | 7 | 3 | 2 | 5 |
| | **男性** | **356** | **642** | **674** | **644** | **559** | **442** | **428** | **374** | **238** | **206** | **202** | **179** | **166** | **128** | **135** | **142** |
| 学部生女性（人） | 1年 | 4 | 10 | 0 | 2 | 4 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 2年 | 8 | 11 | 9 | 10 | 4 | 11 | 7 | 2 | 5 | 0 | 1 | 5 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| | 3年 | 15 | 20 | 24 | 20 | 16 | 19 | 20 | 10 | 9 | 5 | 4 | 5 | 5 | 6 | 3 | 1 |
| | 4年 | 16 | 22 | 24 | 29 | 25 | 43 | 17 | 18 | 18 | 6 | 6 | 6 | 6 | 11 | 5 | 5 |
| | 5年 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 6年 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | **女性** | **44** | **63** | **59** | **62** | **50** | **87** | **48** | **31** | **32** | **11** | **11** | **17** | **13** | **18** | **10** | **12** |
| 学部生全体（人） | 1年 | 46 | 64 | 58 | 53 | 53 | 55 | 27 | 27 | 8 | 8 | 4 | 8 | 5 | 4 | 4 | 4 |
| | 2年 | 43 | 127 | 99 | 111 | 72 | 86 | 71 | 37 | 39 | 16 | 23 | 14 | 10 | 8 | 9 | 8 |
| | 3年 | 96 | 184 | 225 | 195 | 200 | 165 | 163 | 124 | 63 | 80 | 68 | 65 | 45 | 55 | 47 | 51 |
| | 4年 | 182 | 293 | 315 | 321 | 265 | 211 | 195 | 206 | 148 | 102 | 114 | 97 | 110 | 73 | 78 | 81 |
| | 5年 | 10 | 13 | 15 | 10 | 8 | 5 | 6 | 4 | 6 | 5 | 1 | 9 | 1 | 3 | 5 | 3 |
| | 6年 | 23 | 24 | 21 | 16 | 11 | 7 | 14 | 7 | 6 | 6 | 3 | 3 | 8 | 3 | 2 | 7 |
| | **学部全体** | **400** | **705** | **733** | **706** | **609** | **529** | **476** | **405** | **270** | **217** | **213** | **196** | **179** | **146** | **145** | **154** |

## 4．健康診断証明書発行および救急鞄貸し出し状況

### 1）保健管理センター窓口での健康診断証明書年間発行枚数

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発行枚数（枚） | 57 | 21 | 27 | 24 | 12 | 10 | 17 | 11 | 13 | 12 | 9 | 11 | 224 |

### 2）キャンパス内の自動発行機での健康診断証明書年間発行枚数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計（枚） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 46 | 22 | 32 | 28 | 49 | 14 | 66 | 32 | 14 | 14 | 8 | 12 | 337 |
| 地域科学部 | 197 | 73 | 22 | 15 | 19 | 5 | 15 | 4 | 1 | 14 | 16 | 48 | 429 |
| 医学部 | 10 | 12 | 66 | 63 | 7 | 0 | 4 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 | 170 |
| 工学部 | 480 | 131 | 64 | 17 | 22 | 51 | 28 | 7 | 10 | 39 | 98 | 152 | 1,099 |
| 応用生物科学部 | 159 | 41 | 13 | 17 | 6 | 16 | 5 | 5 | 4 | 5 | 52 | 54 | 377 |
| 教育学研究科 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 10 | 16 |
| 地域科学研究科 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 |
| 医学研究科 | 14 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 12 | 38 |
| 応用生物科学研究科 | 186 | 42 | 32 | 6 | 12 | 5 | 3 | 4 | 2 | 16 | 65 | 62 | 435 |
| 工学研究科 | 750 | 124 | 52 | 25 | 16 | 17 | 12 | 6 | 6 | 63 | 206 | 169 | 1,446 |
| 連合創薬医療情報研究科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 連合獣医学研究科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 連合農学研究科 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 合計 | 1,845 | 449 | 286 | 174 | 132 | 112 | 134 | 61 | 39 | 157 | 448 | 524 | 4,361 |

### 3）救急鞄貸し出しの状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 申請件数（件） | 4 | 7 | 5 | 6 | 12 | 4 | 5 | 6 | 3 | 5 | 5 | 6 | 68 |
| 貸出個数（個） | 5 | 13 | 7 | 7 | 13 | 5 | 7 | 11 | 6 | 13 | 12 | 12 | 111 |

## 5．学生相談室利用状況（平成25年度）

### 1）学生相談室利用学生数

①保健管理センターでの相談

| | 学部生（人） | | | | | | | | | | 大学院生（人） | | | | | | 計（人） | | | 延面接回数（回） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年以上 | | 1年 | | 2年 | | 3年以上 | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | |
| 教育学部 | 1 | 3 | 1 | 0 | 4 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | 10 | 19 | 47 |
| 地域科学部 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 | 5 | 13 | 104 |
| 医学部 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 | 8 | 24 |
| 医学部（看） | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 21 |
| 医学部（昼） | 10 | 2 | 7 | 0 | 10 | 3 | 13 | 6 | 0 | 0 | 9 | 2 | 6 | 2 | 1 | 1 | 56 | 16 | 72 | 241 |
| 医学部（夜） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 応用生物科学部 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 3 | 4 | 8 | 0 | 0 | 1 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 12 | 19 | 31 | 96 |
| 計 | 15 | 10 | 13 | 2 | 20 | 13 | 20 | 17 | 1 | 1 | 10 | 7 | 12 | 6 | 1 | 1 | 92 | 57 | 149 | 533 |

②学生相談室員との相談

| | 学部生（人） | | | | | | | | | | 大学院生（人） | | | | | | 計（人） | | | 延面接回数（回） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年以上 | | 1年 | | 2年 | | 3年以上 | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | |
| 教育学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地域科学部 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 医学部 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 医学部（看） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医学部（昼） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医学部（夜） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 応用生物科学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 4 |

③利用合計・対在籍学生比率

| | 男合計(人) | 女合計(人) | 男比率(%) | 女比率(%) |
|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 9 | 10 | 17.8 | 12.4 |
| 地域科学部 | 8 | 5 | 42.3 | 15.7 |
| 医学部 | 7 | 1 | 12.3 | 5.3 |
| 医学部(看) | 0 | 6 | 0.0 | 17.8 |
| 医学部(昼) | 56 | 16 | 20.1 | 44.2 |
| 医学部(夜) | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 応用生物科学部 | 12 | 19 | 15.3 | 32.6 |
| 計 | 92 | 57 | 25.5 | 21.9 |

在籍者数（平成26年３月１日時点）

| | 男合計(人) | 女合計(人) |
|---|---|---|
| 教育学部 | 545 | 681 |
| 地域科学部 | 211 | 299 |
| 医学部 | 638 | 192 |
| 医学部(看) | 20 | 324 |
| 医学部(昼) | 2,701 | 380 |
| 医学部(夜) | 1 | 0 |
| 応用生物科学部 | 640 | 639 |
| 計 | 4,756 | 2,515 |

### 2）受診動機

| 動機 | 保健管理センター(人) | 相談室員（人） |
|---|---|---|
| 自発的 | 65 | 0 |
| K10により | 46 | 0 |
| 教員に勧められて | 24 | 1 |
| その他 | 14 | 1 |
| 計 | 149 | 2 |

### 3）初回面接時の相談内容

| 相談内容 | 保健管理センター(人) | 相談室員（人） |
|---|---|---|
| 進路の悩み | 8 | 0 |
| 対人関係 | 10 | 1 |
| 学業・勉強 | 6 | 1 |
| 恋愛・性 | 4 | 0 |
| 健康面の不安 | 4 | 0 |
| 心理テスト | 0 | 0 |
| 家族友人についての相談 | 3 | 1 |
| 精神的な問題 | 69 | 1 |
| その他 | 45 | 0 |
| 計 | 149 | 4 |

## 6．業務報告（教職員（柳戸地区）健康管理にかかわる行事）

| 月 | 日 | 業　務　内　容 | その他行事および業務 |
|---|---|---|---|
| 通年 | | 応急処置、医療機関受診勧奨<br>メンタルヘルス相談<br>健康相談<br>救急対応<br>採用時健康診断事後（産業医面談等）<br>海外派遣労働者健康診断事後（産業医面談）<br>人間ドック受診事後相談<br>麻薬取扱免許証更新のための医師面接<br>電離放射線健康診断受診証明書発行<br>復職支援のための面接指導<br>過重労働職員の産業医面接指導<br>禁煙相談 | 産業医職場巡視（月１回）<br>衛生管理者職場巡視（週１回）<br>安全衛生委員会（月１回）<br>安全衛生推進委員会（月１回）<br>安全推進室会議（月１回） |
| 4 | | | 新入職員（メンタルヘルス）研修（4/2） |
| 5 | | | |
| 6 | 5、12、19、26<br>12、13、1417、18、19、20、21<br>13、14、15、20、22<br>13、14、15、18、19、20、21、22 | 看護学生実習指導<br>定期健康診断、上期特殊健康診断<br><br>こころとからだの産業医相談<br>メンタルヘルス問診<br>メンタルヘルス相談（問診に基づく） | 第１回保健管理センター運営委員会（6/10）<br>岐阜県大学保健管理研究会（6/29）<br>岐阜地区保健管理担当職研究会（6/29）<br>産業医特別巡視（6/13、6/27） |
| 7 | | 定期健康診断事後（産業医面談等）<br>前期特殊健康診断事後（産業医面談等）<br>メンタルヘルス相談（問診に基づく） | 東海・北陸地方部会保健管理担当職研究会（7/25）<br>東海・北陸地方部会研究集会（7/26、27）<br>産業医特別巡視（7/4） |
| 8 | | 定期健康診断事後（産業医面談等）<br>前期特殊健康診断事後（産業医面談等）<br>メンタルヘルス相談（問診に基づく） | 産業医特別巡視（8/8、19、29、30） |
| 9 | | 前期特殊健康診断事後（産業医面談等） | 産業医特別巡視（9/10）<br>平成25年度下期特殊健診打ち合わせ（9/13）<br>全国労働衛生週間（10/1～7） |
| 10 | | 定期健康診断事後（産業医面談等） | 第2回保健管理センター運営委員会（10/8）<br>産業医特別巡視（10/10）<br>労働安全パトロール（10/11）<br>平成25年度定期健康診断打ち合わせ（10/31） |
| 11 | | 定期健康診断事後（産業医面談等） | 東海地区保健管理担当職研究会（11/30） |
| 12 | 12、13、16、17、18、19、20 | 後期特殊健康診断 | 岐阜地区保健管理担当職研究会（12/21）<br>保健管理センター運営委員会（12/2）<br>産業医特別巡視（12/17、21） |
| 1 | | 後期特殊健康診断事後（産業医面談等） | 平成25年度定期健康診断打ち合わせ（3/27）<br>産業医特別巡視（1/21） |
| 2 | | | 産業医特別巡視（2/10）<br>安全衛生連絡協議会（2/10）<br>第4回保健管理センター運営委員会（2/12）<br>第5回保健管理センター運営委員会（2/24） |
| 3 | | | 平成25年度定期健康診断打ち合わせ（3/27）<br>岐阜地区保健管理担当職研究会（3/1） |

## 7．教職員利用状況

### 1）健康相談等による利用の状況（健診事後措置等を含まない）

（件）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 応急対応合計 | | 6 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 6 | 35 |
| 応急対応内訳 | 救護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 6 |
| | 応急処置 | 4 | 2 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 17 |
| | 休養 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 医療機関情報提供 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 健康相談合計 | | 7 | 8 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 | 2 | 4 | 2 | 0 | 39 |
| メンタル相談合計 | | 5 | 6 | 1 | 1 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 20 |
| 健康診断証明書等発行合計※ | | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 合計 | | 18 | 20 | 5 | 7 | 4 | 10 | 11 | 9 | 7 | 7 | 3 | 7 | 108 |

※健康診断証明書等・・・特殊健康診断証明書、RI 施設立入許可願、麻薬取扱免許申請のための健康診断書等

### 2）健診事後措置

（件）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期健康診断後面談 | 0 | 0 | 0 | 11 | 25 | 5 | 2 | 2 | 2 | 0 | 8 | 2 | 57 |
| 書面による受診勧奨 | 0 | 0 | 0 | 0 | 324 | 3 | 1 | 6 | 1 | 0 | 2 | 1 | 338 |
| 人間ドック後面談 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 採用時健康診断後面談 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| 海外派遣労働者健康診断 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 特殊健康診断後面談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| メンタルヘルス問診票に基づく面談 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 4 | 3 | 0 | 12 | 352 | 10 | 5 | 10 | 5 | 0 | 12 | 4 | 417 |

### 3）医療機関への紹介状の発行枚数

（枚）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 応急対応 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| 健康相談 | 5 | 0 | 4 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 17 |
| メンタル相談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 定期健診等 | 3 | 2 | 0 | 11 | 24 | 4 | 3 | 3 | 6 | 0 | 10 | 1 | 67 |
| 合計 | 9 | 2 | 5 | 15 | 26 | 5 | 4 | 6 | 6 | 1 | 10 | 2 | 91 |

## 8．就業支援について

### 1）就業支援のための面談実施回数

（回）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メンタル | 休職中面談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 復職後面談 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 21 |
| | 病後面談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フィジカル | 休職中面談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 復職後面談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 傷病後面談 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 就業相談 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 過重労働面談 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 合計 | | 8 | 4 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 32 |

### 2）就業支援のための意見書発行枚数

（枚）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就業意見書 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 9 |

## 9．学生の国家資格免許申請のための医療面接

国家資格授与手続きのため精神科医師による診断の必要な学生に面接を行い、申請用の診断書を発行した。

日　　時　　平成26年３月

場　　所　　保健管理センター

発行者数　　医学部　医学科　　43名

　　応用生物科学部　獣医学科　31名

## 10. 各種行事における救護待機

**平成25年度 入学式（平成25年４月７日）**

救護要請はなかった

**オープンキャンパス（平成25年８月６日～８日）**

| 場　所 | 対象者 | 性別 | 時間 | 主　訴 | 応急措置内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| キャンパス内 | 大学に訪問した高校生 | 女 | 11:15 | 腹痛、嘔気 | ベッド休養 |
| キャンパス内 | 大学に訪問した高校生 | 女 | 12:00 | 昼食後気持ち悪くなった | ベッド休養 |
| キャンパス内 | 大学に訪問した高校生 | 女 | 12:20 | 気分が悪くなり動けなくなった | 車いすにて保健管理センターに搬送、ベッド休養。迎えに来た母親と帰宅 |
| キャンパス内 | 大学に訪問した高校生 | 女 | 16:45 | 頭痛 | 保冷剤でクーリング、一緒に来た母親と帰宅 |

**第65回岐大祭（平成25年11月１日～11月４日）　　救護依頼：平成25年10月31日～11月１日**

| 日　時 | 対象者 | 状　況 | 対　応 |
|---|---|---|---|
| 2013/10/31 | 学生 | スポーツ大会で左第一指捻挫 | 高田医師診察。湿布・包帯固定、整形外科受診勧めの指示。 |
| 2013/10/31 | 学生 | みこしの準備中、左小指内側の皮がめくれた | バンドエイド保護 |
| 2013/11/1 | 学生 | みこしを動かしていたら、左膝に棘が刺さった | 棘を抜き、消毒・バンドエイド保護 |

**平成26年度 大学入試センター試験（平成26年１月18・19日）**

平成26年１月18日

| 担当学部 | 試験場 | 対象者 | 性別 | 時間 | 主　訴 | 応急措置内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 応用生物科学部 | 応用生物科学部 | 受験者 | 女 | 13:30 | 気持ち悪い<br>軽度吐気<br>廊下にて転倒 | 顔面蒼白。血圧111／74. P=83、別室受験希望にて医師の指示により別室受験措置をとる。 |
| 教育学部 | 地域科学部 | 受験者 | 男 | 16:20 | 頭痛 | 血圧125/71　P=68　KT:35.6℃<br>朝から調子悪く、試験中頭痛がひどくなってきた。医師の処方によりロキソニン１錠服用。次の試験まで、救護室で横になり会場に戻ることとする。 |

平成26年１月19日　救護要請はなかった

**平成26年度入学者選抜個別学力検査（前期日程 平成26年２月25、26日）**

平成26年２月25日

| 担当学部 | 試験場 | 対象者 | 性別 | 時間 | 主訴・措置 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 全学共通教育棟 | 受験者 | 女 | 10:40 | 耳鳴り、ふらつきから吐気、頭痛出現（日頃、同症状に対して頭痛薬を服用している。本日は持参していない。）Bp119/70、P=67、ロキソニン１錠、セルベックス１カプセル内服し受験会場に戻る。 |
| 医学部 | 工学部棟 | 受験者 | 男 | 18:00 | 12月に左半月板の手術をした。最後の試験が終わる頃から、ロッキング現象が出現し痛みがひどく椅子から動けなくなった。少しでも動かすと激痛がはしるため救急車を要請し、病院搬送。 |

平成26年２月26日　救護要請はなかった

**平成26年度入学者選抜個別学力検査（後期日程 平成26年３月12、13日）**

平成26年３月12、13日　救護要請はなかった

**平成25年度学位記授与式（平成26年３月25日）**

救護要請はなかった

# Ⅲ　研究・調査報告

## １．保健管理センター教職員の業績

# Ⅲ　研究・調査報告

## 1．保健管理センター教職員の業績

### 1）研究成果の発表

著書（和文）

1）佐渡忠洋．風景構成法研究の概観：岸本寛史，山愛美編．臨床風景構成法，臨床と研究のための見方・入り方，東京：誠信書房；2013年：p44－62.

2）佐渡忠洋．付録 風景構成法文献一覧（1970～2012年）：岸本寛史，山愛美編．臨床風景構成法，臨床と研究のための見方・入り方，東京：誠信書房；2013年：p256－283.

3）山本眞由美．第１章健康診断について（第1節健康診断とは、第２節定期健康診断について），第５章大学生のための病気の知識（第８節メタボリック症候群、動脈硬化症、肥満とやせ），大学生の健康ナビ－キャンパスライフの健康管理－　岐阜県大学保健管理研究会企画，山本眞由美監修，岐阜：岐阜新聞社；2014年

4）西尾彰泰，伊藤宗親 著・監修．美しい花模様で始めるアートセラピー アンチストレスぬりえ：美術出版社；2014年

原著（和文）

1）加納亜紀，松永美紀，田中生雅，西尾彰泰，佐渡忠洋，磯村有希，臼井るり子，邦千富，榊原愛，堀田容子，山本眞由美．唾液中コルチゾール濃度測定を用いた大学女性職員のストレス調査の試み，CAMPUS HEALTH50（1），2013：p289－291.

2）磯村有希，田中生雅，西尾彰泰，佐渡忠洋，臼井るり子，邦千富，榊原愛，堀田容子，松永美紀，加納亜紀，宮地幸雄，山本眞由美．大学生の喫煙と飲酒に関する知識と認識の実態調査，CAMPUS HEALTH50（1），2013：p383－385.

3）田中生雅，三宅恵子，松井真一，松藤淑美，佐渡忠洋，磯村有希，加納亜紀，林正子，山本眞由美．岐阜大学女性研究者支援「メンター制度」取組と課題，CAMPUS HEALTH50（1），2013：p397－399.

4）佐渡忠洋，田中生雅，西尾彰泰，磯村有希，加納亜紀，臼井るり子，松永美紀，榊原愛，邦千富，堀田容子，山本眞由美．BMI と自我強度尺度および UPI との関連についての検討，CAMPUS HEALTH50（1），2013：p513－515.

5）山本眞由美．英国大学保健管理協会（Student Health Association）　第64回年次集会に参加して，CAMPUS HEALTH50（2），2013：p231－235.

6）岡安伸二，堀聡納，北市清幸，諏訪哲也，堀川幸男，山本眞由美，武田純，伊籐善規．メトホルミン塩酸塩による下痢発現のリスク要因の解析と下痢予防のための対策立案，医薬ジャーナル　2013；49（6）：p1533－1540.

7）伊東宗親，西尾彰泰，北川祐美，佐々木恵理．ぬり絵によって不安は軽減するのか？ 岐阜大

学カリキュラム開発研究　2013；30（1）：p62－65.

8）植木啓文，西尾彰泰．精神科主治医と産業医・衛生担当者との連携を目指して，臨床精神医学　2013；42（10）：p1259－1264.

9）佐渡忠洋，松本香奈，田口多恵．バウムテストにおける再検査信頼性の見なおし，岐阜女子大学紀要　2013；42：p29－39.

10）佐渡忠洋，田口多恵，緒賀郷志．風景構成法研究の特徴と変遷，岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）　2013；61（2）：p183－190.

11）山本眞由美．禁煙のためのポピュレーションアプローチ，呼吸　2014；33（3）：p248－251.

12）西尾彰泰，佐渡忠洋，加納亜紀，磯村有希，臼井るり子，高井郁恵，邦千富，堀田容子，松永美紀，浅野千保，加藤義弘，安藤和子，河田紀子，齊藤さおり，田中浩子，塩内美香，片岡祐美，山本眞由美．岐阜県下大学生のSOC（Sense of Coherence）に関する実態調査，CAMPUS HEALTH　2014；51（1）：p527－529.

13）佐渡忠洋，坂本佳織，岸本寛史．個別法と集団法のバウムテストにおける幹表面の表現の比較，臨床心理学　2014；14（2）：p256－263.

14）佐渡忠洋，鈴木壯．バウムテストの幹先端処理についてⅠ 原則と諸問題，岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）　2014；62（2）：p217－228.

15）佐渡忠洋，鈴木壯．バウムテストの幹先端処理についてⅡ 提唱以後の研究動向，岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）　2014；2（2）：p229－242.

16）佐渡忠洋．スイスにヘルマン・ロールシャッハをたずねて，岐阜大学心理教育相談研究　2014；13：p63－68.

原著（欧文）

1）Ulzii-Orshikh L, Hirai I, Niki M, Nakata A, Yoshinaga A, Yamamoto A, Yamamoto M, Toyoshima H, Kawakami F, Matsuura N, Yamamoto Y. Fecal carriage of CTX-M ・-lactamase-producing Enterobacteriaceae in nursing homes in the Kinki region of Japan. Infection and Drug Resistance. 2013; 6: 67-70.

2）Yoshida S, Yoshida M, Yamamoto M, Takeda J. Optical screening of diabetes mellitus using non-invasive Fourier-transform infrared spectroscopy technique for human lip. Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis. 2013; 76: 169-176.

3）Kawamoto R, Nazir A, Kameyama A, Ichiomiya T, Yamamoto K, Tamura S, Yamamoto M, Hayamizu S, Kinosada Y. Hidden Markov model for analyzing time-series health checkup data. Stud Health Technol Inform. 2013 192: 491-495.

**2）研究費獲得状況**

1）研究代表者：山本眞由美，研究分担者：田中生雅；科学研究費補助金基盤研究（C）：大学生の生涯健康指導必要性の科学的根拠を示す～肥満と将来の糖尿病発症の関係から～；平成21

－25年度；4,790千円（1,430：1,170：520：1,170：500千円）

2）研究代表者：佐渡忠洋；学術研究助成基金助成金若手研究（B）：日本におけるロールシャッハ法の輸入過程と発展過程の検討；平成23－25年度；2,080千円（1,600：480千円）

3）研究代表者：福重八恵（阪南大学），研究分担者：淺田孝幸（立命館大学），山本眞由美，前田利之（阪南大学），金ジェウク（広島大学）；学術研究助成基金助成金基盤研究（C）：医療におけるサービス品質の測定と品質マネジメントへのフィードバックモデルの研究；平成25－27年度；3,700千円（1,100：1,600：1,000千円）

4）研究代表者：山本眞由美；岐阜大学活性化経費（教育）：自己健康管理能力を養成する実践教育－国際化に対応できる能力育成をめざして－；平成25年度；500千円

5）研究代表者：山本眞由美，研究分担者：猪飼周平（一橋大学），吉川弘明（金沢大学），松浦賢長（福岡県立大学），高田昌代（神戸市看護大学），林芙美（千葉県立保健医療大学），西尾彰泰；厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））：若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究；平成25－26年度；11,306千円（6,200：5,106千円）

6）研究代表者：西尾彰泰；大学活性化経費（研究：科研採択支援）：ベトナムにおける精神保健制度の確立；平成25年度；700千円

7）研究代表者：佐渡忠洋，研究分担者：山中康裕，岸本寛史；公益財団法人明治安田こころの健康財団2013年度研究助成：今昔の中学生のバウムテスト表現の比較 1960年代と2010年代との発達指標の比較を通して；平成25年度；490千円.

**3）発明・特許出願状況**

西尾彰泰：

1）ウエブコミュニケーションサイトの運営方法（平成25年 9 月出願）

**4）学会活動**

学会役員

山本眞由美：

1）日本内科学会東海地方会評議員（～現在）

2）日本糖尿病学会学術評議員（～現在）

3）日本内分泌学会評議員（～現在）

4）日本内分泌学会女性医師専門医育成・再教育委員会委員（～現在）

5）日本臨床栄養学会評議員（～現在）

6）日本病態栄養学会学術評議員（～現在）

7）日本油化学会東海支部常任幹事（～現在）

8）全国大学保健管理協会理事（～現在）

9）全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会幹事（～現在）

10）全国大学保健管理協会国際連携委員会委員長（平成25年～）

11）第51回全国大学保健管理研究集会運営委員会副委員長（平成25年）

12）国立大学法人保健管理施設協議会 国際交流特別委員会委員長（～現在）

13）国立大学法人保健管理施設協議会 禁煙対策の推進に関する特別委員会委員（～平成25年）

14）国立大学法人保健管理施設協議会 食と心身の健康に関する調査研究班委員（～現在）

西尾彰泰：

1）第51回全国大学保健管理研究集会運営委員会委員（平成25年）

2）全国大学保健管理協会国際連携委員会委員（平成25年８月～現在）

佐渡忠洋：

1）第51回全国大学保健管理研究集会運営委員会委員（平成25年）

学会開催

山本眞由美：

1）第51回全国大学保健管理研究集会（平成25年11月，岐阜）

**5）学会招待講演，招待シンポジスト，座長**

山本眞由美：

1） 第56回日本糖尿病学会年次学術集会（平成25年5月，熊本,「薬物療法（ ビグアナイド薬)」座長）

2） 第51回全国大学保健管理研究集会（平成25年11月，岐阜,「海外の大学保健管理事情」座長）

3） 第１回女性医師等就労継続支援講演会（平成25年12月，岐阜,「医師にとって『キャリア』とは？～東京女子医科大学における女性医師支援の取り組み～」特別講演座長）

佐渡忠洋：

1）平成25年度第51回全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会（平成25年７月，愛知，パネルディスカッション１「キャンパスメンタルヘルス周辺の新しい取り組み（大学生の心理相談における箱庭療法の意義)」パネリスト）

2）心身臨床学研究会 共催シンポジウム『バウムの古今東西―時空の十字路に佇んでイメージする力』（平成26年３月，京都,「中学生のバウムの昔と今」シンポジスト）

**6）学会発表**

1）Yamamoto M. Yoshikawa H. Report of International Symposium at Kobe, 2012. University Health Services in Japan, the United States, and the United Kingdom. ACHA 2013 Annual Meeting, Boston, Massachusetts, 2013.5.28.-6.1.

2）Yamamoto M. Yoshikawa H. Adachi Y. Kanoh A. Isomura Y. Sado T. Nishio A. Promotion

for Japanese University Students to Prioritize Career and Family Equally. 29th International Congress of the Medical Women's International Association, Seoul, Korea, 2013.7.31-8.3.

3）佐渡忠洋．ある中国人留学生のロールシャッハ反応．岐阜ロールシャッハ研究会，岐阜2013.4.20－27.

4）佐渡忠洋．卒業と学生相談に関する一考察：卒業前に来談した学生との面接から．日本学生相談学会第31回大会，沖縄2013.5.18－20.

5）佐渡忠洋．学生相談におけるある女子学生の事例．溪蓀塾心理教育相談室事例検討会（日本臨床心理身体運動学会指定研修会），静岡2013.7.13.

6）佐渡忠洋．バウムテストの幹先端処理研究に関するレビュー．日本心理臨床学会第32回秋季大会，神奈川2013.8.25－28.（日本心理臨床学会第32回大会発表論文集，408）

7）佐渡忠洋，松本香奈．投影空間の特徴がバウム表現に与える影響：画用紙の向き（縦長 vs. 横長）とサイズ（A4 vs. B5）の検討から．日本臨床心理身体運動学会第16回大会，愛知2013.9.7－8.

8）吉川弘明，山本眞由美，足立由美，山縣然太朗．妊娠出産の視点からの大学生の健康支援の必要性　全国大学保健管理施設の調査．第72回日本公衆衛生学会総会，津2013.10.23－25.

9）佐渡忠洋，西尾彰泰，山本眞由美．日本でのインクブロット図版制作に関する歴史的検討．日本ロールシャッハ学会第17回大会，京都2013.11.2－3.

10）加納亜紀，松永美紀，西尾彰泰，臼井るり子，高井郁恵，邦千富，堀田容子，佐渡忠洋，磯村有希，山本眞由美．大学教職員における感染症４種抗体価の検討．第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜2013.11.13－14.

11）西尾彰泰，佐渡忠洋，加納亜紀，磯村有希，臼井るり子，高井郁恵，邦千富，堀田容子，松永美紀，浅野千保，加藤義弘，安藤和子，河田紀子，田中浩子，塩内美香，片岡祐美，山本眞由美．岐阜県下大学生の SOC（Sense of Coherence）に関する実態調査．第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜2013.11.13－14.

12）佐渡忠洋，西尾彰泰，磯村有希，加納亜紀，臼井るり子，高井郁恵，邦千富，堀田容子，山本眞由美．大学生の夢見に関する調査研究：夢見頻度と質問紙との関連．第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜2013.11.13－14.

13）磯村有希，西尾彰泰，佐渡忠洋，臼井るり子，高井郁恵，邦千富，堀田容子，松永美紀，加納亜紀，宮地幸雄，山本眞由美．教員による障害学生修学支援のニーズ実態調査の報告．第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜2013.11.13－14.

14）山本眞由美，吉川弘明，中川克，林多喜王，佐藤武，河邊博史，守山敏樹，西尾彰泰，鈴木眞理，馬場久光，鎌野寛，大塚盛男，富樫整，立身政信．全国大学保健管理協会（JUHA）と米国大学保健管理協会（ACHA）の交流経過報告．第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜2013.11.13－14.

**7）学術賞等の受賞状況**

1）山本眞由美：The 29th international Congress of the Medical Women's International Association にて優秀発表表彰（平成25年）

**8）講演**

山本眞由美：

1）「糖尿病の病態と栄養指導」岐阜県栄養士会 平成25年度生涯学習研修会、聖徳学園大学 2013.9.21.

2）「糖尿病患者の教育－療養指導の評価－」日本糖尿病療養指導士認定機構 第14回受験者用講習会（平成25年度）、ポートメッセ名古屋2013.09.29.

3）「症例検討５」日本静脈経腸栄養学会 TNT 岐阜研修会、じゅうろくプラザ2013.9.22.

4）「糖尿病のトータルマネージメント～予防から治療まで～」第一三共株式会社 第二回Diabetes Forum、アイプラザ半田2013.10.3.

5）「職場における糖尿病の管理－新しい診断基準と療養指導について－」岐阜県医師会 東濃地区産業医研修会、恵那医師会館2013.11.28.

6）「糖尿病のトータルマネージメント」岐阜県栄養士会医療事業部「３月のセミナー」、岐阜大学医学部附属病院2014.3.15.

7）「糖尿病ケアと QOL について」T CARE Forum、岐阜都ホテル2014.3.18.

西尾彰泰：

1）「ひきこもりの支援について

2）浜松ひきこもりを持つ親の会 浜松ひきこもり研究会、浜松2013.11.

3）「自殺未遂者に対する対応

4）岐阜県医師会 西濃地区自殺未遂者対策研修会、大垣2013.10.

**9）社会活動**

山本眞由美：

1）岐阜県大学保健管理研究会会長（～現在）

2）岐阜県医師会糖尿病対策委員会委員長（～現在）

3）岐阜県医師会男女共同参画委員会委員（～現在）

4）岐阜県医師会代議員（～現在）

5）岐阜医学研究協議会専務理事（～現在）

6）岐阜県食育推進会議委員（～現在）

佐渡忠洋：

1）岐阜県スクールカウンセラー

### 10）報告書

1）山本眞由美：A Note From Immediate Past President Jenny Haubenreiser：College Health in Action Vol.53, NO.1：8（平成25年９月）（報告・報道記事１）

2）山本眞由美：優秀賞（ Award for Excellence）を授与されて：日本女医会誌 復刊第216号：6－7（平成25年10月）（報告・報道記事２）

3）横田千津子，脇昌子，山本眞由美：女性医師専門医育成・再教育委員会　－クロストーク WG より報告－：日本内分泌学会雑誌 Vol.89：14－15（平成25年12月）

4）山本眞由美：満足度ベスト授業　スポーツ・健康科学科目：学生による授業満足度ベスト授業『教員による授業の工夫集』：66－67（平成26年１月）

### 11）報道

1）山本眞由美:A Note From Immediate Past President Jenny Haubenreiser:COLLEGE HEALTH in Action Vol.53, NO.1（2013年）（報告・報道記事１）

2）山本眞由美：第51回全国大学保健管理研究集会：教育医事新聞第349号（2013年9月25日）（報告・報道記事３）

3）佐渡忠洋:佐渡岐阜大助教に助成金―明治安田健康財団, 中学生の心理研究. 岐阜新聞（ 2013年9月5日）（報告・報道記事４）

4）山本眞由美：大学保健管理協会 米英の元会長視察：中日新聞（2013年11月13日）（報告・報道記事５）

5）山本眞由美：大学生の健康管理 全国の担当者研究：中日新聞（2013年11月15日）（報告・報道記事６）

6）山本眞由美：大学の禁煙：中日新聞（2013年11月19日）（報告・報道記事７）

# A Note from Immediate Past President Jenny Haubenreiser

DURING THE 2013 ANNUAL MEETING IN BOSTON WE WERE honored to have six colleagues from the Japan University Health Association (JUHA) in attendance. This included several members of JUHA who had organized the first International Symposium on College Health in Kobe, Japan, last October. During this time I had the privilege of presenting a framed certificate of sustaining membership to JUHA leadership, as well as establishing our interest in maintaining a collaborative relationship.

During the Opening General Session in Boston I had the opportunity to publically thank these colleagues for initiating the symposium and express my personal gratitude for their extraordinary hospitality. That evening the ACHA Board of Directors hosted a small reception in the presidential suite as an additional gesture of our appreciation. We had the opportunity to meet, reconnect, exchange gifts, and further discuss our mutual passion for college health. Dr. Mayumi Yamamoto presented us with a beautiful plaque (pictured) and delivered a touching message from the JUHA leadership, which is printed below:

*"It is a great honor to attend this reception with ACHA's Board of Directors. It is a wonderful opportunity for us to be able to introduce JUHA to the ACHA leadership.*

*The 50th commemorative annual meeting of JUHA last year on October 16th included an international symposium in Kobe, Japan, as Jennifer reported this morning.*

*Representatives Jennifer Haubenreiser from ACHA, Dr. Harpeet Arshi from the Student Health Association in England, and Dr. Saito from JUHA delivered presentations describing the activities of their associations and addressed university student health topics.*

*We are very impressed to know that so many colleges around the world are conducting university student health programs. We look forward to the exchange of skills and knowledge, since we collectively have a great deal of experience in this field. We all face a variety of student issues every day, from infectious disease prevention to mental health support.*

*On behalf of JUHA, I would like to express our wish to create a long and fruitful relationship with the ACHA.*

*I feel there are not many countries in the world with national associations for university health. The ACHA and JUHA may provide leadership for university health quality improvement in their respective regions, including North and South America, Europe, and Asia.*

*The JUHA annual meeting this year will be held at my home institution Gifu University. We are pleased to host the meeting and have invited as a special speaker Past [ACHA] President Dr. Anita Barkin.*

*Finally, I wish to sincerely express our gratitude for your support and gifts after the East Japan earthquake and tsunami disaster of 2011. We lost much and were deeply saddened; but we realized that we had many friends all over the world, such as you. We will never forget the Tomodachi Operation of the U.S. military base.*

*Please accept our deepest sympathy and sincerest condolences for the victims in Boston and victims of the tornado in Oklahoma. We continue to pray for your recovery and reconstruction, and we believe you will overcome.*

*I am communicating this message on behalf of the JUHA president. He believes that a strong relationship between the ACHA and JUHA will play an important role for international student health in higher education. We are happy to present you with a honorary plaque and souvenirs from JUHA."*

College health has no international boundaries and these types of international alliances will only strengthen our field and expand the value to the students and campus communities we serve. ■

*Delivered by Mayumi Yamamoto, MD, PhD, MBA (Gifu University, Japan), during the 2013 ACHA Annual Meeting, Boston, Massachusetts.*

Mayumi Yamamoto presents ACHA 2012-2013 President Jenny Haubenreiser and Executive Director Dana Kowalski with a plaque on behalf of the Japan University Health Association

報告・報道記事２）



2013年10月25日

第29回国際女医会議

# 優秀賞(Award for Excellence)を授与されて

岐阜大学保健管理センター センター長・教授
**山本眞由美**

7月31日から8月3日まで、韓国ソウルで開催された第29回国際女医会議に参加しましたので、報告申し上げます。

理事の宮崎千恵先生から「岐阜からも1つ演題を出すように」とのご指示があり、私が大学人として取り組んでおります「若年世代の健康増進・啓発」に関する演題を応募しました。

私は現在、大学生の健康管理・教育・増進を仰せつかっております。また、全国495の高等教育機関が加入する全国大学保健管理協会の理事を務めております。

若い女性の健康に関する近年の話題に、少子化・晩産化があります。高学歴・キャリア志向の女性にとって、家庭を築くこと、子供を産んで育てることは重要な決断事項です。しかし、そのような人生設計からは逃避するかのように、目の前の学業や仕事に専念している女性が少なくありません。彼女たちは「30歳から妊孕能が下がることや、30歳代後半では生産分娩率が低下し不妊治療をしても年齢とともに妊娠率が下がることを知らなかった」「学校では習わなかった」と言います。40歳代で不妊治療を続けている女性の中には「妊娠に適した年齢があることを早く教えてほしかった」という人が少なくないそうです。その一方で、10～20歳代の女性の平均1日摂取エネルギー量は減っています。先進国で唯一日本だけです。もちろん食糧不足があるわけではなく、母性を犠牲にして、美容を優先しているわけです。彼女たちは「母体の栄養不足、特に妊娠中の栄養不足が児の成人後の健康状態にも影響することを知らない」と言います。

そこで、大学生の年代を対象とした健康啓発冊子「知っていますか？ 男性のからだのこと、女性のからだのこと―健康で充実した人生のための基礎知識―」を作成しました（平成24年厚生労働科学研究費補助金、成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業、研究代表者：山縣然太朗（山梨大学）、研究分担者：吉川弘明（金沢大学）、山本眞由美（岐阜大学））。若い世代に、男女ともに、自分自身の生涯の健康から人生を考えてもらう内容です。

今回の国際女医会議では、このような日本の若い女性の健康背景と冊子の内容について報告しました。座長の先生からは "good job" とほめていただきました。口演の機会を与えていただき、また、優秀賞を賜ることとなり、感謝の気持ちでいっぱいです。特に、優秀賞は私の力などではなく、日本から参加された先生方すべてによるチームジャパンの力が評価されたものと思っております。日本人の発表には万難を排して会場に駆けつけてくださった先生方に、心より感謝申し上げます。優秀賞のことなど到底考えていなかった私が閉会式前に帰国してしまったために、山本纐子先生や藤川眞理子先生には大変な御尽力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

Gala Dinner でのファッションショー

さて、かつて結核のような疾病が大学生の将来を奪った時代には、「早期発見・早期治療」こそが、大学の保健管理に求められた使命でした。しかし、過食・運動不足・睡眠不足などを抱えた生活習慣病予備軍たる大学生が急増している近年は、「早期発見、早期指導」によって生涯に渡る自己健康管理能力を獲得させることが重要な使命となっています。また、かつてエリート養成としての役割を担っていた大学も、進学率55%を超える今日、多様な人材が高等教育の恩恵を享受する場に変化しています。多様な人材が秘める多彩な能力を十二分に発揮するための支援体制の確立と実績の蓄積が大学に求められています。女子学生の増加に伴い、女性特有の身体的、精神的諸問題が現場では課題となっています。多くの女性医師が専門的知識に基づいた健康支援を大学で提供していますが、保健看護職や養護教諭に比べると極めて少ない現状です。高等教育現場で女子学生が直面する心身の悩みに、自らの経験をも生かして支援することができるのは、まさに彼女たちの先輩である女性医師なのです。大学生の健康管理の分野で、日本は世界でも先進的な取り組みをしており、アジアのリーダーであります。自らが身を置く大学保健管理の現場で、女性医師の特性を生かして益々精進することで、今回の国際女医会議で賜りました数々の御恩に報いることをここにお誓いして、報告といたします。

報告・報道記事３）



# 第51回全国大学保健管理研究集会

## 「大学保健管理・次世代への飛翔ー生涯健康をめざして」

11月、岐阜

**運営委員会副委員長インタビュー**

岐阜大学大学院（保健管理センター長）
山本 眞由美教授

第51回全国大学保健管理研究集会が11月13～14日、岐阜市の長良川国際会議場で開催される。テーマは「大学保健管理・次世代への飛翔ー生涯健康をめざしてー」。主催は全国の国公私立大学495校が会員となっている公益社団法人全国大学保健管理協会と国立大学法人岐阜大学。

運営委員会副委員長を務める山本眞由美・岐阜大学保健管理センター長（教授）は「大学保健管理の目的が『疾病の早期発見・治療によって修学の中断をなくす』ことから『生涯の疾病を予防できる自己管理能力を育てる』ことに発展する必然を感じ、このテーマを掲げました」と語る。

特別講演は腫瘍病理学の専門家でもある森秀樹・岐阜大学学長による「生涯健康とがん予防」。

「禁煙と発がんの関係以外にも、肥満やストレスなど各種の不健康な生活習慣

## 直面する課題やニーズは多彩

### 「国際化」「障害学生の支援」など討議

とがんの関係が最近の研究で示されています。生涯の健康を考えた健康指導・啓発に大変参考になるお話になると思います」

特別セッションは「東日本大震災後の取り組み」に加えて「大学の国際化と保健管理」、「大学における障害学生支援について」の3題を予定。いずれも、高等教育進学率が55％を超えて、多様な学生に直面している大学のニーズに応えるテーマとなっている。特に増加傾向にある発達障害のある学生の支援については、文部科学省の検討会で座長を務めた筑波大学の竹田一則教授と先進的な支援を進めている富山大学の斎藤清二教授が登壇する。

このほか「研究倫理」や「妊娠・不妊」に関する教育講演、「新型うつ」や「食」に関するランチョンセミナーなど注目に値するテーマが続く。

特別招聘講演はAnita Baitr カーネギーメロン大学保健管理センター長（米国大学保健管理協会前会長）とLinne Wernrbインペリアルカレッジ保健管理センター長（英国大学保健管理協会前会長）が登壇し、米英の大学保健管理の現状と課題について講演する。日・米・英の連携も深める予定。

「喫煙者の多くは大学生の頃にタバコを吸い始めます。男子大学生の肥満や女子大学生の不健康な痩せの増加が全国的に見られます。ネット社会が及ぼす日常的な睡眠不足や運動不足の学生もいます。学生が生涯を通じて健康を維持し、社会で活躍するための教育支援を各大学が提供するために、集会での議論や講演は必ずや役立つ内容だと思います」

# 佐渡岐阜大助教に助成金

## 明治安田健康財団　中学生の心理研究

勝仁志岐阜支社長（左）から目録を受け取る佐渡忠洋岐阜大助教＝岐阜市金町、明治安田生命岐阜金町ビル

児童の健全育成や精神発達障害児の療育についての研究を支援する、明治安田こころの健康財団は、本年度研究助成として、臨床心理学が専門の佐渡忠洋岐阜大助教（31）に49万円を贈った。

佐渡助教の研究テーマは「今昔の中学生のバウムテスト表現の比較―1960年代と2010年代との発達指標の比較を通して」。心理テストのバウムテストが、時代の影響でどのように変わってきたかを研究する。また、当時と現代の中学生像の違いも考察する。

岐阜市金町の明治安田生命岐阜金町ビルで贈呈式が行われ、勝仁志明治安田生命岐阜支社長から目録が手渡された。佐渡助教は「現代の子どもたちへの理解を深める一助となれば」と語った。

同財団は1965年に設立。今回は全国から113件の応募があり、20件が助成対象に選ばれた。（佐名妙子）

岐　阜　新　聞

2013年（平成25年）9月5日 木曜日　地域総合 22

中日新聞　2013年（平成25年）11月13日（水曜日）　岐阜　16

岐阜県版

## 大学保健管理協会
## 米英の元会長視察
### 岐阜大

米、英両国の大学保健管理協会元会長の女性二人が十二日、岐阜市柳戸の岐阜大を訪れ、学生の健康増進を幅広く支援している岐阜大の取り組みについて感想を述べた。

訪れたのは米国のアニータ・バルキンさんと、英国のアイリーン・ヴァインレブさん。十一日にも同大を訪れ、二〇〇五年から敷地内を全面禁煙にしている現状などを視察。

感想として、アイリーンさんは「学生に対し強力な健康メッセージを与え続けていて、素晴らしい」と評価した。

二人は十三日から岐阜市で始まる第五十一回全国大学保健管理研究集会で講演するため来日した。（福沢和義）

中日新聞　2013年（平成25年）11月15日（金曜日）　岐阜　22

岐阜県版

## 大学生の健康管理
### 全国の担当者研究
### 岐阜で集会

大学生の健康管理について理解を深めようと、全国五百校の大学などでつくる全国大学保健管理協会の研究集会が十四日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場で開かれた。担当者ら約七百五十人が知識を深めた。

うつや喫煙、生活習慣病など、大学生の健康を害しやすいテーマについて大学教授や医師らが講演。福島第一原発事故後の住民の健康管理についての講演もあった。

（斎藤雄介）

中日新聞　2013年（平成25年）11月19日（火曜日）　岐阜・近郊　16

# 岐阜・近郊

無題（2）
日本版画会　岩島　進
（高山市丹生川町）

## 鵜の目

### 大学の禁煙

岐阜大学の禁煙の取り組みには感心した。二〇〇五年、全国の国公立大学に先駆けて敷地内の全面禁煙を実施。喫煙する学生には、個別面談を繰り返す徹底ぶりで、喫煙率は3％に止まっている。

先週、岐阜大を訪れた米国大学保健管理協会のアニータ・バルキン元会長によると、米国では大学内の禁煙が広がっている。全米約三千校のうち、敷地内全面禁煙は〇五年時点で二百五十校だったが、現在は半数まで広がった。

しかし日本の国立大学は少ない。今年三月時点で、回答のあった七十九大学のうち十六校のみだ。

岐阜大の山本真由美・保健管理センター長は、将来の健康障害を減らす「自己健康管理能力を養う教育の一つ」と話す。たばこの健康被害を知る機会はもっとあっていい。

（福沢和義）

# Ⅳ　教育・広報・社会活動

1．保健管理センター利用案内（2013）

2．保健管理センターニュース刊行

3．保健管理センタースタッフの最近の活動（HP より）

4．第51回全国大学保健管理研究集会を主催

## 教職員の皆さんへ

保健管理センターでは、教職員の皆さんの健康づくりをサポートする健康管理業務をしています。

### 1　職場の健康管理　（労働安全衛生法 第66条）

健康診断の結果に基づいて、産業医および産業保健師が面談させていただきます。保健管理センターから面談日時のご相談をさせていただく際にはご理解・ご協力をお願いいたします。

### 2　教職員の健康相談

就労に関わる健康相談（療養後の復職支援、過重労働による疲労なども含む）や健康上の悩みに、産業医が対応いたします。医療機関の情報提供や紹介状作成もさせていただきます。ご相談の際には、十分な時間をご用意できるように電話またはメールで連絡の上、お越しください。

| | |
|---|---|
| 加納亜紀<br>（内　科） | 月曜日・火曜日の午前<br>木曜日の午後 |
| 西尾彰泰<br>（精神神経科） | 月曜日・木曜日の午前<br>水曜日の午後 |

### 3　体調不良のとき

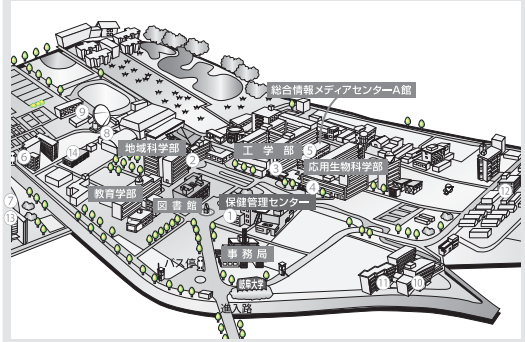
勤務時間中の急な体調不良やケガの際には、応急処置を行い必要に応じて医療機関へ紹介します。遠慮なくご連絡ください。教職員のための共済診療所は閉鎖されましたので検査や処方などの保険診療行為は行っておりません。

| 教職員のご予約、お問い合わせ |
|---|
| TEL・FAX：（058）293-3361（8：30～17：00）<br>E-mail：gsangyou@gifu-u.ac.jp |

**料　金**　保健管理センターの利用はすべて無料です。

**開館時間**　月～金（祝日を除く）　8：30～17：00

**場　所**




♥ AED設置場所

岐阜大学内にはAEDが14か所に設置されています。

①保健管理センター正面入口
②全学共通教育棟入口
③工学部正面入口
④応用生物科学部正面入口（柱の後ろ）
⑤総合情報メディアセンターA館1Fホール
⑥医学部看護学科
⑦医学部本館1F
⑧教育学部保健体育棟正面入口
⑨附属器具庫・更衣室
⑩国際交流会館A棟事務室前
⑪国際交流会館B棟階段前
⑫フィールド科学教育研究センター管理棟玄関前
⑬医学部教育・福利棟2F
⑭保育園ほほえみ（小児使用可）

相談日程は、やむをえず変更することがあります。
健診日程や詳しいことは、保健管理センターにお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

健康状態に関する情報は、岐阜大学規則（個人情報管理規程）により管理されます。生命に危険が及ぶと判断される緊急・重篤時以外に御本人の了解なく第三者に通知されることは一切ありません。保健管理センターのスタッフは、すべて守秘義務を持つ有資格者です。安心してご相談ください。

**岐阜大学保健管理センター**

# 岐阜大学
# 保健管理センター
# 利用案内

2013年度版

Health Administration Center,
Gifu University

〒501-1193　岐阜市柳戸1番1
TEL：(058)293-2174
FAX：(058)293-2177
E-mail：hokencen@gifu-u.ac.jp
HP：http://www.gifu-u.ac.jp/hoken/

Gifu University

学生の皆さんへ

## 1 応急処置

学内で病気やケガをしたとき、簡単な応急処置が受けられます。応急処置は看護スタッフが対応します。

## 2 医師による健康相談・禁煙サポート

| 曜日 | 相談時間 | 医　師 |
|---|---|---|
| 月 | 10:00～12:30 | 浅田修市（放射線科） |
| 火 | 10:00～12:30 | 山本眞由美（内科） |
| 水 | 10:00～12:30 | 山本眞由美（内科） |
| 木 | 11:00～12:30 | 高田信幸（内科・平野総合病院長） |
| 金 | 10:00～12:30 | 浅田修市（放射線科） |

・薬を希望される方は医師の相談時間内にお越しください。

・保健師による健康相談も随時行っています。（原則予約制）

・禁煙相談は随時行っていますが、ニコチンパッチの処方は医師の相談時間内にお越しください。

・体調が悪いときはベッドで休養できます。

## 3 メンタルヘルス・心の相談

| 曜日 | 医師相談（予約制） | 心理カウンセリング（予約制） |
|---|---|---|
| 月 | 10:00～12:30<br>西尾彰泰（精神神経科） | 10:00～15:00<br>佐渡忠洋（臨床心理士） |
| 火 | | 10:00～16:30<br>佐渡忠洋（臨床心理士） |
| 水 | 13:30～16:00<br>西尾彰泰（精神神経科） | 第1・3水曜 9:00～12:00<br>宮地幸雄（臨床心理士） |
| 木 | 10:00～12:30<br>西尾彰泰（精神神経科） | 10:00～16:30<br>佐渡忠洋（臨床心理士）<br>13:00～16:30<br>磯村有希（臨床心理士） |
| 金 | | 10:00～16:30<br>磯村有希（臨床心理士） |

・精神神経科医師による相談、臨床心理士による相談は予約制です。予約は保健管理センター窓口、電話でお受けします。

## 4 歯科相談

毎月1回（第1または第2水曜日）、歯科専門医（岐阜大学医学部附属病院歯科口腔外科）による歯科相談を行っています（予約不要）。歯並びや噛み合わせのことも含め、なんでも相談してください。

H25年度 日程　　■時間 13:30～15:00

| 25年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 26年 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10日 | 8日 | 5日 | 3日 | — | — | 2日 | 6日 | 4日 | 15日 | — | 5日 |

## 5 学生相談室

相談室員は医師や臨床心理士、各学部の教員が登録しています。勉強・進路・人間関係の悩み・不安・落ち込み・身体の症状等の問題について、専門的な知識や経験をふまえて相談にのります。どうぞ気軽に利用してください。原則的に予約制です。保健管理センターの相談室員を希望する場合は、保健管理センターの受付で予約してください。電話やメールでも予約できます。

● 保健管理センター　TEL（058）293-2174
E-mail hokencen@gifu-u.ac.jp

● 相談室員名簿　http://www.gifu-u.ac.jp/hoken/info-3.html

## 6 定期健康診断・健康診断証明書の発行

岐阜大学では、在学生（次年度卒業予定者を除く）は毎年２，３月に、新入生は４月に定期健康診断を実施しています。健康診断を受けることは、自分の健康管理のためにとても重要なことです。学校保健安全法でも、年に1回健康診断を受けることが定められていますので、必ず受診してください。

混雑を避け、待ち時間を短縮できるよう、また、皆さんの都合のよい日に受けていただけるよう、予約制になっています。

就職、実習、学業に関することで健康診断証明書が必要になった場合は、当該年度の定期健康診断の結果に基づいて証明書を無料で発行します。自動発行機をご利用ください。（再検査や確認が必要な方は、自動発行機からの発行ができないことがあります。窓口にお越しください。）定期健康診断を受けていない方には証明書を発行することはできません。（医療機関で健診を受けて証明書を発行してもらう場合は、自己負担の費用が発生します）

## 7 学生健康情報管理システム

健康診断の予約・問診入力・結果確認は、「学生健康情報管理システム」からweb上で行ってください。

「学生健康情報管理システム」

https://kenshinweb.gifu-u.ac.jp/
（学内からの利用）

https://regic.gifu-u.ac.jp/kenshin/
（学外からの利用）

ユーザ名、パスワードを入れてログイン

「学生健康情報管理システム」は、ユーザ名、パスワードで確認された個人しか見ることができないため、個人情報は完全に保護されています。

※ユーザ名、パスワードはAIMS-Gifuを利用するときと同じものです。ユーザ名、パスワードが不明な場合は、総合情報メディアセンターで再発行してもらってください。

## 8 健康啓発

・保健管理センターニュースを発行し、健康に関する情報を提供しています。
・各種パンフレット、DVDを揃えています。

## 9 健康チェック

血圧、身長、体重、体脂肪率、視力の測定等、自由に利用できます。自分の健康状態を知りたいときや、健康管理にご利用ください。

## 10 その他

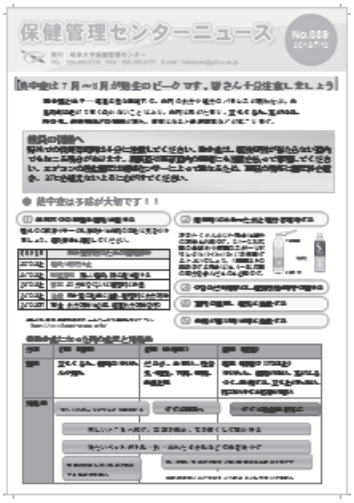
・部活やサークルの合宿等で必要なとき、救急鞄の貸出をしています（事前の申請が必要です）。
・自己測定用電子血圧計の貸出をしています。

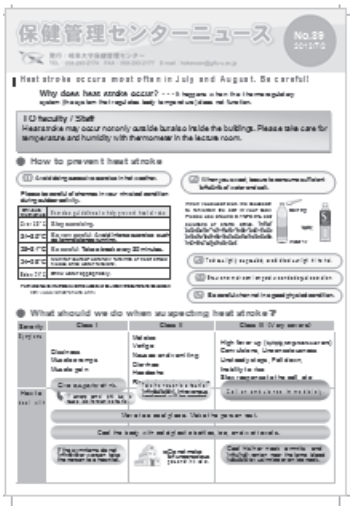
予約・問い合わせ　TEL：058-293-2174　FAX：058-293-2177
E-mail：hokencen@gifu-u.ac.jp

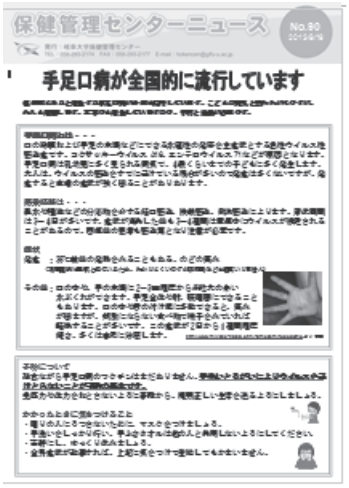
● 必要に応じて医療機関を紹介することがあります。医療機関を受診するときは健康保険証が必要です。保護者と離れて暮らす方は、保護者の加入している健康保険の「遠隔地被保険者証」または「遠隔地被扶養者証」を用意しておいてください。

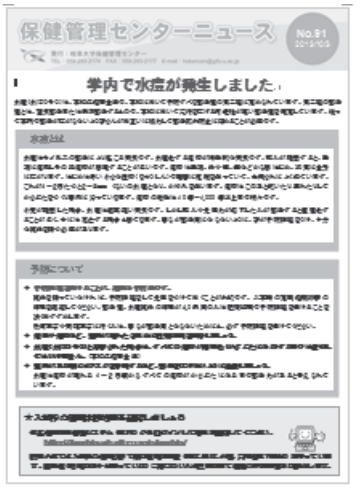
● 健康診断の案内などは、大学から配布された個人のメールアドレスに配信します。大学のメールアドレスに届いたメールは必ず確認できるようにしておいてください。

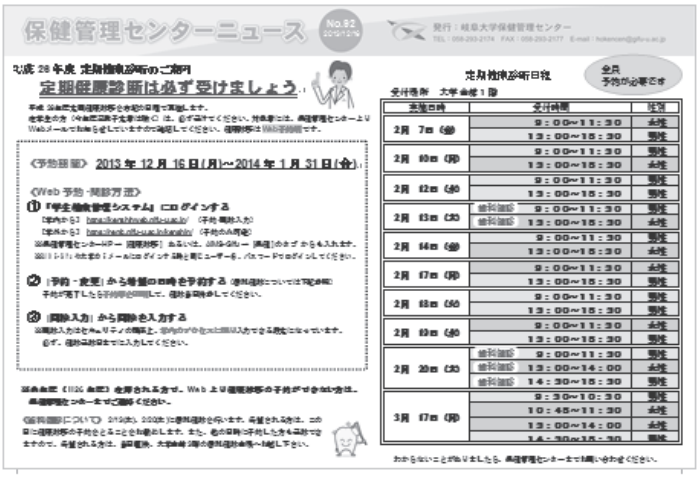
## 2．保健管理センターニュース刊行

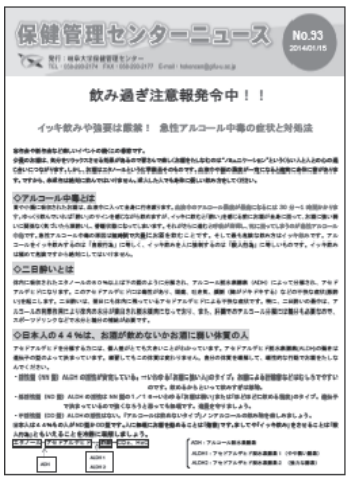




保健管理センターニュース No.94

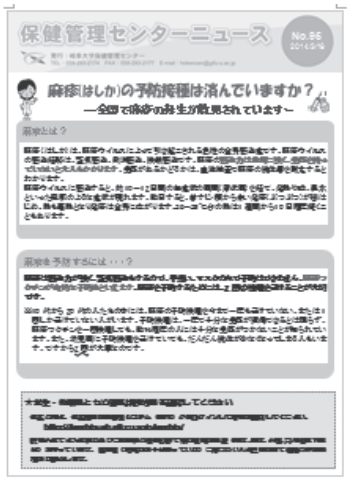
香料自粛のお願い

保健管理センターニュース No.94

An appeal to refrain from using perfume

保健管理センターニュース No.95

Have you been vaccinated against measles?



保健管理センターニュース No.95

麻疹(はしか)の予防接種は済んでいますか？

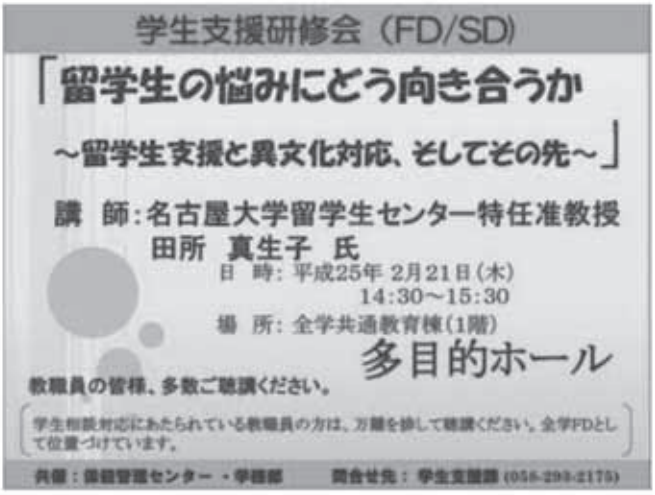
## 3．保健管理センタースタッフの最近の活動（HP より）

保健管理センタースタッフの最近の活動

岐阜大学 GIFU UNIVERSITY

No. 2013-03 (Japanese Edition)

# 留学生支援のための研修会を開催




本学では、留学生センターの先生方が精力的かつ継続的に留学生たちの生活指導・支援に尽力されています。日本政府が2008年に「留学生30万人計画」を打ち出しました。留学生数はさらに増えつつあり、全教職員が彼らを支援する意識を持つべきであります。そこで、保健管理センターは主として留学生の心の支援に焦点を当て、この研修会を企画しました。

今回は田所真生子先生をお招きしました。田所先生は名古屋大学留学生センターで、留学生の心の支援に携わっていらっしゃいます。ご自身の 2 度の留学経験と、日々のサポート業務から、先生は留学生のサポートにおけるさまざまな留意点を提示して下さいました。また留学生は、大学や教職員のみならず、学生や社会に対し、今日の高等教育で重要な多文化性という視点をもたらす存在であることも強調されました。

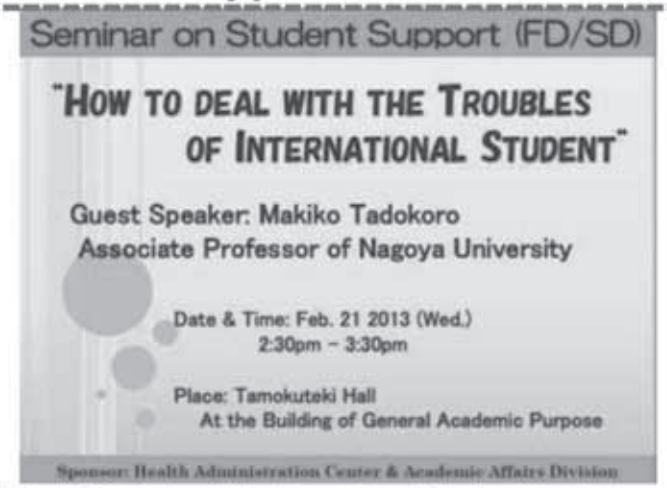
名古屋大学で作成された冊子「留学生受け入れハンドブック」と「ムスリムの学生生活」もご紹介いただけました。名古屋大学の Web サイトで公開されていますので、参考になると思います。

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/file/ryugakusei_handbook.pdf
http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/MStudentLife2012.pdf

田所 特任准教授（名古屋大学）

西尾准教授（司会）

# FD/SD Seminar on Supports for International Students




The faculty and staff at Gifu University's International Student Center have worked hard to support our international students. In 2008, the Japanese government declared "A Plan for 300,000 Exchange Students." Consequently, we have recommended that all of the faculty and staff at Gifu University have a sense of purpose and understand the need to support international students. To develop our awareness, we have planned the FD/SD program for the mental support of international students.

Dr. Tadokoro is an Associate Professor at the Education Center for International Students in Nagoya University. She currently is responsible for supporting international students mentally. Based on her experiences of studying abroad and on her practice as an academic, she has provided us with many important suggestions for our communication with international students. In particular, she has emphasized that international students are very important, not simply for the university but also for our Japanese students and staff. International students bring with them an international perspective, and this is important for us.

She also introduced some of the booklets made by Nagoya University, including The Handbook for International Students and Muslim Student Life, which are available on the following websites: http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/file/ryugakusei_handbook.pdf
http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/MStudentLife2012.pdf

Project Associate Professor, Makiko Tadokoro

Associate Professor, Akihiro Nishio

# 山本センター長：アメリカ保健管理協会での研究発表

山本センター長は JUHA の国際連携委員長を務めています。昨年神戸で開催された JUHA 第 50 回記念大会では、ACHA の Jennifer Hausbenreiser 会長、英国大学保健管理協会（Student Health Association in U.K.）の Harpreet Singh Arrshi 会長を招き、国際シンポジウムを開催しました。2013 年 9 月に岐阜で開催される JUHA 第 51 回大会でも、国際シンポジウムを企画しています。

さて、5 月、ボストンで開催された American College Health Association（ACHA）の 2013 年次集会において、山本センター長が第 50 回全国大学保健管理協会（Japan University Health Association: JUHA）の国際シンポジウムの報告を行いました。JUHA からは、金沢大学の吉川教授と足立准教授、北陸先端科学技術大学の林教授もポスター発表を行いました。また ACHA 幹部が JUHA メンバーだけのためにスモールレセプションを企画してくださり、そこで JUHA と ACHA の友好関係を記念した盾と日本人形を、JUHA を代表して Hausbenreiser 会長に贈呈しました。

オープニングセレモニーにおける Howard Koh 博士（米国保健省事務次官）の基調講演は、国家プロジェクトとしての“ヘルシーキャンパス 2020”が熱く語られました。具体的には、2020 年までに全米の大学でキャンパス内全面禁煙を実現するなど、大学の保健管理活動により米国の全医療費削減をめざすといった内容でした。これはまさしく、岐阜大学の生涯健康教育と方向性を同じくするものであり、とても勇気づけられました。

来年も今年と同じ 5 月に、テキサス州サンアントニオで ACHA の年次集会が開催されます。

http://www.acha.org/

山本センター長のポスター発表

オープニングセレモニー

JUHA から ACHA の友好記念の盾

ACHA のメインブース

# Poster Presentation by Director Yamamoto at the ACHA

The 2013 annual meeting of the American College Health Association (ACHA) was held in Boston, MA, in May. Director Yamamoto made presentation at the International Symposium of the 50th Memorial Meeting of the Japan University Health Association (JUHA) at the Boston gathering. Other JUHA members, including Professor Yoshikawa and Associate Professor Adachi of Kanazawa University and Professor Hayashi of the Japan Advanced Institute of Science and Technology, reported on the health activities of their universities. The ACHA committee planned a small reception for JUHA members. Director Yamamoto presented a Japanese traditional doll and a shield on behalf of the JUHA to commemorate the friendship between the ACHA and JUHA.

In a keynote lecture at the opening ceremony, Dr. Howard Koh, Assistant Secretary for Health for the U.S. Department of Health and Human Services (HHS), spoke passionately of “Healthy Campus 2020” as a national project. More specifically, he emphasized the aim of achieving completely non-smoking campuses at all American universities by 2020. This project aims to reduce total health care costs in the United States by the health management activities of universities. Since this objective corresponds to that of long-life health education at Gifu University, we are very proud of our activities.

The next annual meeting will be held in San Antonio, Texas, in 2014.

http://www.acha.org/

Director Yamamoto, MD. PhD. MBA

Opening Ceremony

Shield from the JUHA to the ACHA

ACHA’s main booth

# 第 51 回全国大学保健管理研究集会を岐阜で開催

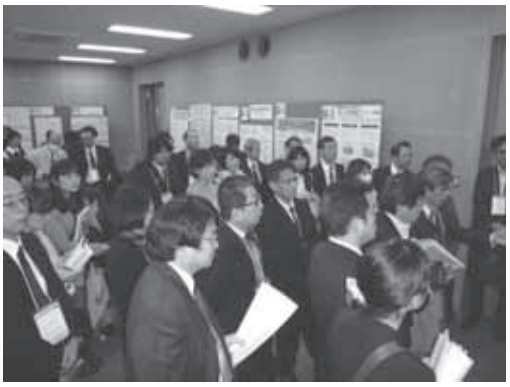
2013 年 11 月 13-14 日、第 51 回全国大学保健管理研究集会を岐阜大学が全国大学保健管理協会（Japan University Health Association: JUHA）とともに主催しました。本会のテーマは「大学保健管理・次世代への飛翔～生涯教育をめざして～」とし、800 人超の参加者を得て、盛会裏に大会を終えました。

集会は、岐阜大学学長・森秀樹による特別講演にはじまり、大学の国際化や障害学生支援など今日的問題がとりあげられ、活発で熱心な議論が行われました。また、米国大学保健管理協会（ACHA）から Barkin 前会長を、英国大学保健管理協会（SHA）から Weinreb 前会長を招き、日米英の大学保健管理について実際的な議論が示されました。今回は、プログラムを二本立てにしたり、評議員からプログラム内容について希望を募集したりと、さまざまな取り組みを行いました。研究集会は、大学保健管理に携わる者の情報交換と資質向上のよりよい時間となったと確信しております。本学、保健管理センター教職員が一丸となって心を込めて運営にあたりました。

参加者・演者はじめ、多くの皆様に御支援・御協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

メインホール

Dr.Barkin（ACHA 前会長：左）
Dr.Weinreb（SHA 前会長：右）



ポスター発表風景

各種展示会場風景

# Thanks for the 51st JUHA Annual Meeting in Gufu

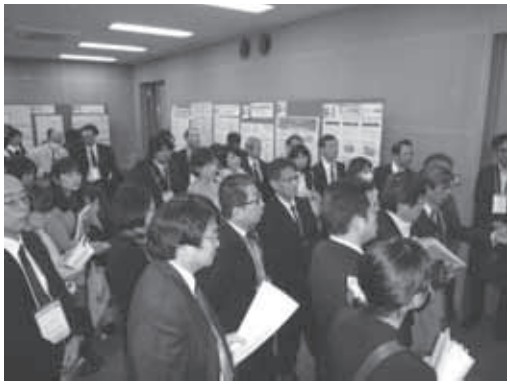
Gifu University held the 51st Annual Meeting of the Japan University Health Association (JUHA) at Gifu on November 13-14, 2013. The main theme of this meeting was “Beyond: University Health Management: For Life-Long Health.” Since more than 800 specialists on university health participated, this meeting was successful.

The meeting began with a special lecture by Dr. Mori, President of Gifu University. The program addressed several issues, including the internationalization of the university and the support of students with various handicaps. In addition, we planned an international discussion with Dr. Barkin, former president of the American College Health Association (ACHA), and Dr. Weinreb, the former president of the Student Health Association (SHA) in the U.K. We undertook much new planning in order for all participants to enjoy themselves. We are very happy if you enjoyed this meeting and Gifu city and if you engaged in a significant exchange of ideas.

Thanks to all participants, presenters, and other parties.

Main Hall

Dr. Barkin (left) and Dr. Weinreb (right)



Poster Presentation

Exhibition Hall

## 4．第51回全国大学保健管理研究集会を主催

平成25年11月13日(水)・14日（木）の両日、長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜市長良福光2695-2）を会場として、第51回全国大学保健管理研究集会を開催した。主催は、当協会と国立大学法人岐阜大学（当番校）で、文部科学省及び在名古屋米国領事館アメリカンセンターから後援、公益財団法人岐阜観光コンベンション協会から協賛をうけた。参加登録者は、330機関から764名であった。概要を以下に記すが、詳細は平成26年3月発行のCAMPUS　HEALTH51(1)「第51回全国大学保健管理研究集会報告書」（岐阜大学編集）を刊行し報告した。

共通テーマ「大学保健管理・次世代への飛翔～生涯健康をめざして～」

【第１日目】　11 月 13 日（水）

(1) 開会式
開会の辞：　運営委員会 副委員長　山本 眞由美（岐阜大学保健管理センター長）
挨　　拶：　運営委員会 委員長　森 秀樹（岐阜大学学長）
主催挨拶：　公益社団法人全国大学保健管理協会代表理事　川村 孝（京都大学健康科学センター長）
来賓挨拶：　文部科学省高等教育局 学生・留学生課長　渡辺 正美
岐阜市長　細江 茂光

(2) 特別講演　　座長：廣田 則夫（岐阜大学理事･教学担当副学長）
演　題：「生涯健康とがん予防」
演　者：　森 秀樹（岐阜大学学長）

(3)　教育講演１　　座長：立身 政信（岩手大学保健管理センター長）
演　題：「研究倫理・大学保健管理センターにおける研究倫理の現状とあり方」
演　者：　山縣 然太朗（山梨大学医学部社会医学講座教授）

(4) 公益社団法人 全国大学保健管理協会　総会

(5) ランチョンセミナー １　　座長：押田 芳治（名古屋大学総合保健体育科学センター長）
演　題：「生活習慣病の予防のために「食べる」を考える」（共催：武田薬品工業株式会社）
演　者：　武田 純（岐阜大学大学院医学系研究科内分泌代謝病態学教授）
ランチョンセミナー ２　　座長：齊藤 郁夫（慶應義塾大学名誉教授）
演　題：「食塩と高血圧」（共催：MSD 株式会社）
演　者：　湊口 信也（岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学循環･呼吸病態学教授）

(6) 特別招聘講演(同時通訳あり)　　座長：山本 眞由美（岐阜大学保健管理センター長）
テーマ：「海外の大学保健管理事情」
演　題：「米国における大学保健管理の進歩：最近の現状と課題」
演　者：　Anita L.Barkin　（カーネギーメロン大学保健管理センター所長・米国大学保健管理協会前会長）
演　題：「英国における大学保健管理」
演　者：　Irene Weinreb　（インペリアルカレッジ・クリニカルサービス所長・英国大学保健管理協会前会長）

(7) 特別セッション１　　座長：林 多喜王（北陸先端大学院大学保健管理センター長）
「大学の国際化と保健管理」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ１：鈴木 眞理（政策研究大学院大学保健管理センター教授）
演　題：「GRIPS における外国人留学生の健康実態」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ２：石井 彰（東京学芸大学保健管理センター所長）
演　題：「留学生の健康管理を想定した胸部 X 線検査のあり方」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ３：氏家 無限（国立国際医療研究センター客員研究員）
演　題：「留学前に必要なワクチン」

【第２日目】　11 月 14 日（木）

(1) 一般研究発表（ポスターディスカッション）

(2) ランチョンセミナー ３　　座長：瀧原 圭子（大阪大学保健センター長）
「禁煙支援」（共催：ファイザー 株式会社）

演題１：「大学の禁煙～環境、教育、支援の観点から～」
演　者：　高橋 裕子（奈良女子大学保健管理センター教授）
演題２：「禁煙治療の実際と今後の展望」
演　者：　飯田 真美（岐阜県総合医療センター主任部長兼内科部長）

(3) ランチョンセミナー 4　　座長：田中 生雅（愛知教育大学保健環境センター教授）
演　題：「若者のうつを考える：うつ病と新型うつ病」（共催：塩野義製薬株式会社）
演　者：　塩入 俊樹（岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座精神病理学分野 教授）

(4) 教育講演 2　　座長：吉川 弘明（金沢大学保健管理センター教授）
演　題：「妊娠・不妊に関する知識の普及啓発について」
演　者：　内山 晃治（厚生労働省雇用均等･児童家庭局母子保健課課長補佐）

(5) 時事講演　　座長：須賀 英道（龍谷大学保健管理センター教授）
演　題：「ポジティブ思考によって目覚める健康意識の向上」
演　者：　石川 雄一（日本ヘルスサイエンスセンター代表取締役）

(6) 特別セッション２　　座長：山本 裕之（静岡大学保健管理センター所長）
演　題：「東日本大震災後の取り組み」
演 者１：「原発事故後の県民健康管理調査とコミュニケーション」　松井 史郎
（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター広報コミュニケーション部門長特命教授）
演 者２：「被災後のメンタルヘルス支援の取り組み」　大川 貴子（福島県立医科大学看護学部准教授）
演 者３：「名古屋大学における災害対策の取り組み」　飛田 潤（名古屋大学災害対策室室長）

(7) 特別セッション３　　座長：吉原 正治（広島大学保健管理センター長）
「大学における障害学生支援について」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ１：　竹田 一則（筑波大学人間系教授･障害学生支援室長）
演　題：「障がいのある学生の修学支援に関する検討会（第一次まとめ）の概要と今後の課題」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ２：　齋藤 清二（富山大学保健管理センター長）
演　題：「大学における障害学生支援体制について～富山大学の発達障害大学生支援の経験から～」

(8) 閉会式

優秀演題の発表と表彰：　優秀演題選定委員長　　押田 芳治（名古屋大学総合保健体育科学センター長）

＜優秀演題＞

| 演題番号 | 氏名 | 所属<br>演題名 |
|---|---|---|
| B1-4 | 高山 昌子 | 慶應義塾大学保健管理センター<br>当大学におけるＢ型肝炎ワクチン基礎接種無反応者の管理体制 |
| B4-1 | 三木 寿子 | 兵庫県立大学明石看護キャンパス事務部学務課<br>過去６年間における麻疹･風疹･水痘･ムンプス抗体価、ワクチン接種率についての検討 |
| C2-1 | 斎藤 佳子 | 千葉大学総合安全衛生管理機構<br>大学生健診尿糖陽性者の耐糖能とその対応に関する検討 |
| C4-5 | 楠田 佐江子 | 立命館大学保健センター<br>胃がんリスク検診（ABCD 検診）の導入－5 年間の成果と課題－ |
| F2-4 | 吉村 さくら | 三重大学保健管理センター<br>大学健康診断における糖尿病の現状 |
| F3-2 | 茅平 鈴子 | 岩手大学保健管理センター<br>大学敷地内禁煙にともなう門外の喫煙について |
| H3-4 | 寺島 瞳 | 筑波大学保健管理センター<br>発達的修学困難チェックシートおよびUPI を用いた新入生呼び出し面接の試み |
| H4-4 | 和泉 恵子 | 山梨大学保健管理センター<br>学生定期健康診断の問診票を活用した看護職によるメンタルスクリーニング |

| | | |
|---|---|---|
| H8-3 | 前田 章 | 愛知学院大学学生相談センター<br>心の問題を抱えた学生の復学支援を考える（第３報）～休学者相談週間の試み～ |
| H9-6 | 古橋 忠晃 | 名古屋大学医学部大学院精神健康医学/学生相談総合センター<br>フランスの大学生の抱えるメンタルヘルスの諸問題とその対策について |

新名誉会員への記念品授与および、主催あいさつ：　公益社団法人全国大学保健管理協会副代表理事
米山 啓一郎(昭和大学保健管理センター所長)

次期 全国大学保健管理研究集会当番校挨拶：　河邊 博史（慶應義塾大学保健管理センター 所長 ）

閉会の辞：　運営委員会副委員長　　山本 眞由美（岐阜大学保健管理センター長）

**一般研究発表プログラム**

【ブロック A】

(健康教育 1)　　座長：佐藤 武（佐賀大学保健管理センター所長）

A1-1 大学教職員におけるヘルスリテラシーの関連因子の解析
順天堂大学本郷キャンパス健康管理室　伊藤 佳奈美　他７名

A1-2 カラダとの対話 －身体メージ彩色図法の健康教育への活用－
東京電機大学　今野 紀子

A1-3 大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査
青山学院大学保健管理センター　大里 貴子　他５名

A1-4 健康学の授業における心移植に関するアンケート結果の経年的変化
九州大学キャンパスライフ健康支援センター　丸山 徹　他７名

A1-5 認知・行動特性の特殊性の理解における寓話の役割
鹿児島大学保健管理センター　鮫島 久美　他３名

A1-6 大学生の行動変容についての実態調査―学生アンケートからの考察
弘前大学保健管理センター　高橋 恵子　他３名

(健康教育 2)　　座長：石黒　洋（名古屋大学総合保健体育科学センター教授）

A2-1 学内献血者数と採血不可者数の変動
姫路獨協大学薬学部　西郷 勝康　他2名

A2-2 当大学における学校保健安全法と労働安全衛生法の教育経験
岡山大学保健管理センター　清水 幸登　他10名

A2-3 大学キャンパス内で実施した子宮頸がん検診
宇都宮大学保健管理センター　永井 真由美　他5名

A2-4 子宮頸がん予防啓発活動の成果について
東海大学健康推進センター　櫻井 芳美　他10名

A2-5 大学生が行う子宮頸がん予防啓発活動について
島根大学保健管理センター　河野 美江　他5名

A2-6 都内薬科大学女子学生における月経関連症状とその対応への意識
星薬科大学保健管理センター　稲葉 育代　他3名

【ブロック B】

(感染症 1)　　座長：中野 功（名古屋工業大学保健センター長）

B1-1 季節性インフルエンザワクチンの予防接種における予約システムの導入
東京大学健康・保健推進本部内科　間中 勝則　他12名

B1-2 大学生におけるインフルエンザ対策の励行状況
大分大学保健管理センター　工藤 欣邦　他4名

B1-3 わが国の大学組織におけるインフルエンザ（H1N1）2009流行の実態：文献的レビュー
信州大学総合健康安全センター　内田 満夫　他2名

B1-4 当大学におけるB 型肝炎ワクチン基礎接種無反応者の管理体制
慶應義塾大学保健管理センター　高山 昌子　他13名

B1-5 免疫の記憶を考慮したB 型肝炎ウイルスに対するワクチン接種管理体制の確立
慶応義塾大学保健管理センター　横山 裕一　他13名

B1-6 新入生におけるB 型肝炎ウイルス抗体（HBs 抗体）疑陽性の一例
浜松医科大学保健管理センター　橋本 大　他4名

（感染症2）　座長：中川　克（立命館大学保健センター・安全管理室　安全管理室副室長）
B2-1 新入学短期留学生の活動性肺結核の対応について
長崎大学保健・医療推進センター　大坪 敬子　他6名
B2-2 アジア某国から受け入れた留学生の集団結核発症に関する報告
公益社団法人全国大学保健管理協会国際連携委員会　中川 克　他7名
B2-3 結核定期外健康診断を実施して耐性結核菌であった交換留学生のケース
桃山学院大学学生支援課保健室　今井 敏子
B2-4 保健センターでの子宮頸がんワクチン接種実施報告～接種勧奨中止に伴う影響～
北海道大学保健センター　折戸 智恵子　他7名
B2-5 予防接種と学生の意識　―予防接種記録カードは有効か―
東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構保健管理センター　大澤 里惠　他3名
B2-6 学生・保健所との連携によるHIV/AIDS 予防啓発キャンペーン活動報告
桜美林大学学生生活支援課保健衛生支援室　西野 幸子　他6名

（感染症3）　座長：潤間励子（千葉大学総合安全衛生管理機構講師）
B3-1 基本4 感染症のワクチン接種と自然環境下におけるブースター効果の差異.
日本大学薬学部保健室　小野 真一　他3名
B3-2 第4 期麻疹予防接種および接種勧奨が本学学部入学生の麻疹感受性に与えた影響
九州大学基幹教育院学修・健康支援開発部　眞崎 義憲　他8名
B3-3 学生の基本4 種の予防接種について―日本環境感染学会のガイドラインを指針とした対策
日本赤十字看護大学保健センター保健室　吉田 典子
B3-4 本学にて実施した職員と学生の麻しん抗体価についての一報告
東邦大学習志野学事部健康管理室　高橋 友子　他1名
B3-5 教職員の麻しんおよび風しん抗体検査に関する報告
金城学院大学保健センター　河村 与志子　他7名
B3-6 大学教職員における感染症4 種抗体価の検討
岐阜大学保健管理センター　加納 亜紀　他9名

（感染症4）　座長：岸川秀樹（熊本大学保健センター長）
B4-1 過去6 年間における麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体価、ワクチン接種率についての検討
兵庫県立大学看護学部学務課　三木 寿子
B4-2 医学部における6 年間の4 種感染症抗体の動向
東京女子医科大学学生健康管理センター　内田 啓子　他1名
B4-3 医薬系キャンパスにおける風疹抗体価の動向
富山大学保健管理センター杉谷支所　高倉 一恵　他6名
B4-4 「麻疹、風疹等各種ワクチン接種対象者の年次推移とワクチンによる抗体獲得率」
大阪大学保健センター　熊谷 一代　他9名
B4-5 学部新入生への第4 期麻しん風しん予防接種アンケート調査
千葉大学総合安全衛生管理機構　潤間 励子 他11名

【ブロックC】

（健康診断1）　座長：李 鍾大（福井大学保健管理センター教授）
C1-1 定期健康診断の血圧測定における本学の取り組み
北海道大学保健センター　川原 由佳子　他7名
C1-2 血圧測定と同時に血圧脈波を解析するオシロメトリック血圧測定器（PASESA）の有用性について
鹿屋体育大学保健管理センター　齊藤 和人　他4名
C1-3 健診時高血圧学生の後日再検に関する検討
秋田大学保健管理センター　小林 政雄　他4名
C1-4 成蹊大学における体育会系部員に対する心電図検査の取り組み
成蹊大学保健室　古川 幸意　他3名
C1-5 新潟大学学生定期健康診断における血圧と肥満指数の検討
新潟大学保健管理センター　黒田 毅　他8名

C1-6 大学生の腹囲と内臓脂肪面積

長崎大学保健・医療推進センター　山崎 浩則　他9名

(健康診断2)　　座長：久保田 稔（関西学院大学保健館長）

C2-1 大学生健診尿糖陽性者の耐糖能とその対応に関する検討

千葉大学総合安全衛生管理機構　齋藤 佳子　他11名

C2-2 学生健康診断における尿糖陽性者への対応の検討

慶應義塾大学保健管理センター　澁谷 麻由美　他15名

C2-3 女子医学生における健康診断時の精神健康度と身体、血液検査所見との相関について

東京女子医科大学学生健康管理センター　横田 仁子　他5名

C2-4 若年女子運動選手の血清脂質は運動種目により異なる

鹿屋体育大学スポーツ生命科学系　添嶋 裕嗣　他3名

C2-5 金沢大学新入大学生におけるALT 値の検討

金沢大学保健管理センター　池田 美智子　他12名

C2-6 新入生健康診断における甲状腺疾患のスクリーニング

岡山大学保健管理センター　小倉 俊郎　他8名

(健康診断3)　　座長：鈴木 芳樹（新潟大学保健管理センター所長）

C3-1 留学生の尿検査有所見の傾向～陽性率からみる健診対策～

北海道大学保健センター　吉村 彩　他9名

C3-2 定期健康診断における留学生の結核性画像所見の検討

北見工業大学保健管理センター　本田 明　他3名

C3-3 全学年を対象とした大学生の定期胸部エックス線検査の有用性について

静岡大学保健センター　森田 純仁　他13名

C3-4 大学の健康診断における色覚検査の方法と意義

神戸大学保健管理センター　藤平 和弘　他14名

C3-5 地元歯科医師会と連携した「大学生無料歯科健診（もっとスマイル！）」の実施について

神戸大学保健管理センター　林原 礼子　他14名

C3-6 医療系学部における学生健康診断後の精密検査未受診者への対応について

山口大学大学教育機構保健管理センター　森本 宏志　他9名

(健康診断4)　　座長：馬場 久光（神戸大学保健管理センター所長）

C4-1 学生健診で取り組んだヘルスインタビュー

産業医科大学保健センター　八谷 百合子　他10名

C4-2 大学生5000名の骨量調査（運動との関係）

大東文化大学診療所　福島 斉　他3名

C4-3 骨検診におけるQUS 法（定量的超音波法）の有効性の検討

慶應義塾大学保健管理センター　神田 武志　他10名

C4-4 山口大学教職員定期健康診断における生活習慣病の経年的変化の検討

山口大学大学教育機構保健管理センター　山本 直樹　他10名

C4-5 胃がんリスク検診（ABCD 検診）の導入- 5 年間の成果と課題-

立命館大学保健センター　楠田 佐江子　他9名

C4-6 医学部教職員における定期健康診断後の行動調査

近畿大学医学部附属病院安全衛生管理センター　池田 行宏　他3名

【ブロックD】

(産業保健)　　座長：西尾 彰泰（岐阜大学保健管理センター准教授）

D-1 教職員の一般定期健診時メンタルチェックの試行

静岡大学保健センター　山本 裕之　他12名

D-2 横浜市立大学における教職員の健康管理システムの構築

公立大学法人横浜市立大学保健管理センター　飛田 千絵　他6名

D-3 職場のメンタルヘルス対策　―産業医との連携―

広島修道大学学生課保健室　古武 節子　他3名

D-4 長時間労働と勤務形態が健康状態に与える影響の検討

東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構保健管理センター／職員健康管理室　宮崎 泰成　他3名

演題１：「大学の禁煙～環境、教育、支援の観点から～」
演　者：　高橋 裕子（奈良女子大学保健管理センター教授）
演題２：「禁煙治療の実際と今後の展望」
演　者：　飯田 真美（岐阜県総合医療センター主任部長兼内科部長）

(3) ランチョンセミナー 4　　座長：田中 生雅（愛知教育大学保健環境センター教授）
演　題：「若者のうつを考える：うつ病と新型うつ病」（共催：塩野義製薬株式会社）
演　者：　塩入 俊樹（岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座精神病理学分野 教授）

(4) 教育講演 2　　座長：吉川 弘明（金沢大学保健管理センター教授）
演　題：「妊娠・不妊に関する知識の普及啓発について」
演　者：　内山 晃治（厚生労働省雇用均等･児童家庭局母子保健課課長補佐）

(5) 時事講演　　座長：須賀 英道（龍谷大学保健管理センター教授）
演　題：「ポジティブ思考によって目覚める健康意識の向上」
演　者：　石川 雄一（日本ヘルスサイエンスセンター代表取締役）

(6) 特別セッション２　　座長：山本 裕之（静岡大学保健管理センター所長）
演　題：「東日本大震災後の取り組み」
演 者１：「原発事故後の県民健康管理調査とコミュニケーション」　松井 史郎
（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター広報コミュニケーション部門長特命教授）
演 者２：「被災後のメンタルヘルス支援の取り組み」　大川 貴子（福島県立医科大学看護学部准教授）
演 者３：「名古屋大学における災害対策の取り組み」　飛田 潤（名古屋大学災害対策室室長）

(7) 特別セッション３　　座長：吉原 正治（広島大学保健管理センター長）
「大学における障害学生支援について」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ１：　竹田 一則（筑波大学人間系教授･障害学生支援室長）
演　題：「障がいのある学生の修学支援に関する検討会（第一次まとめ）の概要と今後の課題」
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ２：　齋藤 清二（富山大学保健管理センター長）
演　題：「大学における障害学生支援体制について～富山大学の発達障害大学生支援の経験から～」

(8) 閉会式

優秀演題の発表と表彰：　優秀演題選定委員長　　押田 芳治（名古屋大学総合保健体育科学センター長）

＜優秀演題＞

| 演題番号 | 氏名 | 所属<br>演題名 |
|---|---|---|
| B1-4 | 高山 昌子 | 慶應義塾大学保健管理センター<br>当大学におけるＢ型肝炎ワクチン基礎接種無反応者の管理体制 |
| B4-1 | 三木 寿子 | 兵庫県立大学明石看護キャンパス事務部学務課<br>過去６年間における麻疹･風疹･水痘･ムンプス抗体価、ワクチン接種率についての検討 |
| C2-1 | 斎藤 佳子 | 千葉大学総合安全衛生管理機構<br>大学生健診尿糖陽性者の耐糖能とその対応に関する検討 |
| C4-5 | 楠田 佐江子 | 立命館大学保健センター<br>胃がんリスク検診（ABCD 検診）の導入－５年間の成果と課題－ |
| F2-4 | 吉村 さくら | 三重大学保健管理センター<br>大学健康診断における糖尿病の現状 |
| F3-2 | 茅平 鈴子 | 岩手大学保健管理センター<br>大学敷地内禁煙にともなう門外の喫煙について |
| H3-4 | 寺島 瞳 | 筑波大学保健管理センター<br>発達的修学困難チェックシートおよびUPI を用いた新入生呼び出し面接の試み |
| H4-4 | 和泉 恵子 | 山梨大学保健管理センター<br>学生定期健康診断の問診票を活用した看護職によるメンタルスクリーニング |

| | | |
|---|---|---|
| H8-3 | 前田 章 | 愛知学院大学学生相談センター<br>心の問題を抱えた学生の復学支援を考える（第３報）～休学者相談週間の試み～ |
| H9-6 | 古橋 忠晃 | 名古屋大学医学部大学院精神健康医学/学生相談総合センター<br>フランスの大学生の抱えるメンタルヘルスの諸問題とその対策について |

新名誉会員への記念品授与および、主催あいさつ：　公益社団法人全国大学保健管理協会副代表理事
米山 啓一郎(昭和大学保健管理センター所長)
次期 全国大学保健管理研究集会当番校挨拶：　河邊 博史（慶應義塾大学保健管理センター 所長 ）
閉会の辞：　運営委員会副委員長　　山本 眞由美（岐阜大学保健管理センター長）

**一般研究発表プログラム**

【ブロック A】

(健康教育 1)　　座長：佐藤 武（佐賀大学保健管理センター所長）
A1-1 大学教職員におけるヘルスリテラシーの関連因子の解析
順天堂大学本郷キャンパス健康管理室　伊藤 佳奈美　他７名
A1-2 カラダとの対話 －身体メージ彩色図法の健康教育への活用－
東京電機大学　今野 紀子
A1-3 大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査
青山学院大学保健管理センター　大里 貴子　他５名
A1-4 健康学の授業における心移植に関するアンケート結果の経年的変化
九州大学キャンパスライフ健康支援センター　丸山 徹　他７名
A1-5 認知・行動特性の特殊性の理解における寓話の役割
鹿児島大学保健管理センター　鮫島 久美　他３名
A1-6 大学生の行動変容についての実態調査―学生アンケートからの考察
弘前大学保健管理センター　高橋 恵子　他３名

(健康教育 2)　　座長：石黒　洋（名古屋大学総合保健体育科学センター教授）
A2-1 学内献血者数と採血不可者数の変動
姫路獨協大学薬学部　西郷 勝康　他2名
A2-2 当大学における学校保健安全法と労働安全衛生法の教育経験
岡山大学保健管理センター　清水 幸登　他10名
A2-3 大学キャンパス内で実施した子宮頸がん検診
宇都宮大学保健管理センター　永井 真由美　他5名
A2-4 子宮頸がん予防啓発活動の成果について
東海大学健康推進センター　櫻井 芳美　他10名
A2-5 大学生が行う子宮頸がん予防啓発活動について
島根大学保健管理センター　河野 美江　他5名
A2-6 都内薬科大学女子学生における月経関連症状とその対応への意識
星薬科大学保健管理センター　稲葉 育代　他3名

【ブロック B】

(感染症 1)　　座長：中野 功（名古屋工業大学保健センター長）
B1-1 季節性インフルエンザワクチンの予防接種における予約システムの導入
東京大学健康・保健推進本部内科　間中 勝則　他12名
B1-2 大学生におけるインフルエンザ対策の励行状況
大分大学保健管理センター　工藤 欣邦　他4名
B1-3 わが国の大学組織におけるインフルエンザ（H1N1）2009流行の実態：文献的レビュー
信州大学総合健康安全センター　内田 満夫　他2名
B1-4 当大学におけるB 型肝炎ワクチン基礎接種無反応者の管理体制
慶應義塾大学保健管理センター　高山 昌子　他13名
B1-5 免疫の記憶を考慮したB 型肝炎ウイルスに対するワクチン接種管理体制の確立
慶応義塾大学保健管理センター　横山 裕一　他13名

D-5 メンタルヘルス問題で休業した看護職への職場復帰支援の現状と課題
徳島大学保健管理センター　井﨑 ゆみ子　他8名
D-6 当大学における障がい者雇用への支援―保健師の立場から―
岡山大学保健管理センター　岡 香織　他11名

【ブロックE】
(情報処理)　　座長：三宅 仁（長岡技術科学大学体育・保健センター長）
E-1 学生支援のための情報集約システム導入による学生生活における危機管理
金沢大学保健管理センター　足立 由美　他13名
E-2 完全自動・無人健康診断システムの導入
名古屋工業大学　麻生 伸代　他4名
E-3 学生健康診断業務フローの改善＜第2 報＞健康診断システムの改善の試み
愛媛大学総合健康センター　岡田 克俊　他8名
E-4 感染症管理システムの開発と評価1－病院職員，医療系学部の結核管理－
慶應義塾大学保健管理センター　松本 可愛　他15名
E-5 感染症管理システムの開発と評価2- 病院職員，医療系学部のウイルス感染症管理-
慶應義塾大学保健管理センター　藤井 香　他15名
E-6 データーベースシステムを用いた保健管理センターの業務効率化
北陸先端科学技術大学院大学保健管理センター　林 多喜王　他3名
E-7 学生健康診断業務フローの改善＜第1 報＞健康診断証明書の発行時期を早めるための試み
愛媛大学総合健康センター　村上 和恵　他9名

【ブロックF】
(健康教育・保健指導１)　　座長：高橋 裕子（奈良女子大学保健管理センター教授）
F1-1 中規模総合大学における、過去10年間の大学生の喫煙状況変化について
追手門学院大学　川崎 詔子　他1名
F1-2 大阪大学教職員における喫煙について～女性における喫煙の影響～
大阪大学保健センター　梅野 有希　他11名
F1-3 本学保健センターにおける受動喫煙防止支援～ 6 年間の活動と学内変化～
愛知学院大学保健センター　糠谷 敬子　他6名
F1-4 新潟大学保健管理センターによる禁煙サポートの実態について
新潟大学保健管理センター　真島 一郎　他8名
F1-5 岩手医科大学における禁煙対策に向けた喫煙に関する実態調査
岩手医科大学健康管理センター　久保 陽子　他4名
F1-6 非喫煙者を社会に送り出す取り組み
立命館大学保健センター　田門 宜子　他12名

(健康教育・保健指導2)　　座長：小倉 俊郎（岡山大学保健管理センター長）
F2-1 新潟大学における身体面の健康相談の現状と保健指導に関する検討
新潟大学保健管理センター　上ノ山 友子　他8名
F2-2 大学生の月経及び随伴する健康問題に関する実態調査～保健センターの介入方法の検討～
静岡大学保健センター　野上 愛里子　他14名
F2-3 携帯端末利用と交通安全に関する実態調査
名寄市立大学保健福祉センター　大見 広規　他5名
F2-4 大学健康診断における糖尿病の現状
三重大学保健管理センター　吉村 さくら　他5名
F2-5 信州大学におけるエピペン携帯学生の実態調査
信州大学総合健康安全センター　藤村 智子　他14名
F2-6 本学におけるムスリム留学生の宗教的ニーズと保健管理センターでの対応
政策研究大学院大学保健管理センター　田中 ゆり　他1名

(健康教育・保健指導3)　　座長：近藤 孝晴（中部大学生命健康科学部教授）
F3-1 キャンパス禁煙化への道のりと今後の課題
立命館大学学生部　淺野 昭人　他4名
F3-2 大学敷地内禁煙にともなう門外の喫煙について
岩手大学保健管理センター　茅平 鈴子　他7名

F3-3 新潟大学のキャンパス内全面禁煙実施前後における具体的な取組み
新潟大学保健管理センター　佐藤 千代子　他8名
F3-4 福岡教育大学の教職員と学生に対する生活習慣に関する実態・意識調査
福岡教育大学健康科学センター　白石 裕子　他4名
F3-5 男子大学生の骨密度に影響を与える生活習慣の検討
宮崎県立看護大学　江藤 敏治　他1名
F3-6 本学学生の飲酒行動と問題点
鳥取大学保健管理センター　三島 香津子　他5名

(健康教育・保健指導4)　　座長：江口 昇勇（日本福祉大学学生相談保健センター長）
F4-1 心理的な原因で倒れる学生のケアと成長支援
高知大学保健管理センター医学部分室　隅田 はぎ枝　他2名
F4-2 保健管理センターにおける学生支援に果たす看護職の役割
浜松医科大学保健管理センター　糟谷 修子　他2名
F4-3 入学早期の学生支援における入学前健康調査の意義に関する考察
富山大学保健管理センター　山田 真帆　他3名
F4-4 東海大学における付属推薦入学者支援報告書を活用した「心と身体の継続支援」
東海大学健康推進センター湘南健康推進室　萱場 隆人　他11名
F4-5 大学における健康支援プログラム－ 支援者の教育養成-
九州大学キャンパスライフ・健康支援センター　戸田 美紀子　他11名
F4-6 「健康ミニガイド」の充実をめざして
群馬大学健康支援総合センター　八重 樫聡子　他4名

【ブロックG】
(フィジカルヘルス1)　　座長：住田 安弘（三重大学保健管理センター所長）
G1-1 （演題取り下げ）
G1-2 食行動尺度による肥満関連因子の評価とその妥当性の検討
横浜国立大学保健管理センター　福 榮太郎　他5名
G1-3 肥満学生の過半数は高インスリン、高ALT 血症を示す－肥満690例での検討－
群馬大学健康支援総合センター　大島 喜八　他4名
G1-4 特定健診受診者におけるメタボリック症候群への進行予測因子の検討
千葉大学総合安全衛生管理機構　今関 文夫　他12名
G1-5 男子大学生を対象とした非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学調査及び臨床研究
東京大学保健・健康推進本部　井上 有希子　他14名
G1-6 大学新入生におけるフィットネストレーニングが体力、運動意識、生活習慣に及ぼす影響
青山学院大学　杉本 和那美　他7名

(フィジカルヘルス2)　　座長：大澤 功（愛知学院大学保健センター所長）
G2-1 受診票からみた学生の疾病動向
昭和大学保健管理センター　白畑 孝子　他4名
G2-2 女子大生の子宮頸癌・乳癌に関する意識調査
大妻女子大学健康センター　小林 洋子　他4名
G2-3 肩のこりや張り感に関するアンケート調査を用いた検討
鹿屋体育大学保健管理センター　大隅 奈津子　他4名
G2-4 慢性呼吸不全を伴う先天性筋ジストロフィー大学生への修学支援
富山大学学生支援センター　日下部 貴史　他8名
G2-5 教養部キャンパス内の保健管理センター分室の現状と考察
東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構保健管理センター／職員健康管理室　荻原 美智子　他3名

【ブロックH】
(メンタルヘルス1)　　座長：吉原 正治（広島大学保健管理センター長）
H1-1 大学入学後自閉症スペクトラムと診断された自験例の検討
静岡大学保健センター　古橋 裕子　他10名
H1-2 小規模工学系大学における発達障害学生の受け入れ
長岡技術科学大学体育・保健センター　三宅 仁　他4名
H1-3 ASD をもつ大学生における恋愛・性の課題について―症例を通して

山梨県立大学　坂本 玲子　他2名

H1-4 発達障害のある学生への多元的修学支援アプローチ

富山大学学生支援センター　桶谷 文哲　他5名

H1-5 自閉症スペクトラムの特性に配慮した就職面接セミナーの開発（1）

高知大学保健管理センター　北添 紀子　他6名

H1-6 自閉症スペクトラムの学生の就職支援について

明海大学保健管理センター学生相談室　村上 弘子　他6名

（メンタルヘルス2）　座長：苗村 育郎（秋田大学保健管理センター所長）

H2-1 学生の抑うつ傾向とセルフケア及び学生支援に関する検討

愛知教育大学保健環境センター　田中 生雅　他4名

H2-2 うつ予防を目的とした集団認知行動療法の効果―ハイリスクな大学新入生への介入―

長崎大学保健・医療推進センター　田山 淳　他9名

H2-3 学生寮で発生した自殺への対応

弘前大学保健管理センター　田名場 美雪　他3名

H2-4 学生健康診断におけるうつ病、自殺念慮と身体症状との関連

筑波大学保健管理センター精神科　太刀川 弘和　他6名

H2-5 大学生における希死念慮の有無とその背景要因に関する報告－ EQUSITE Study －

九州大学基幹教育院　熊谷 秋三　他8名

H2-6 大学生の休学・退学・留年、自殺の問題について

福島大学人間発達文化学類　内田 千代子

（メンタルヘルス3）　座長：鈴木 壯（岐阜大学教育学部学校教育教授）

H3-1 新入生を対象としたメンタルヘルス対策～健康診断におけるUPI 呼出面接の導入～

筑波技術大学保健管理センター　佐々木 恵美　他4名

H3-2 UPI にみる教員養成系大学新入生の心身健康度の変化－ゆとり教育による影響－

上越教育大学大学院生活・健康系コース（学校ヘルスケア）　加藤 以澄　他4名

H3-3 UPI 得点からみた新入生のメンタルヘルスの特徴と学生支援体制について

明海大学不動産学部　杉浦 雄策　他4名

H3-4 発達的修学困難チェックシートおよびUPI を用いた新入生呼び出し面接の試み

筑波大学保健管理センター　寺島 瞳　他3名

H3-5 スポーツ系学科におけるUPI の特徴

北翔大学保健センター　佐藤 祐基　他5名

H3-6 大学生のストレス気質、生活習慣およびメンタルヘルスとの関連性について

明海大学外国語学部　樋 倫子　他3名

（メンタルヘルス4）座長：古橋 忠晃（名古屋大学医学部大学院精神健康医学 学生相談総合センター助教）

H4-1 講義で実践するメンタルヘルス1 次予防

東北薬科大学　杉山 雅宏

H4-2 学内連携における守秘義務の検討－より充実した学生サポート体制を目指して（4）－

東京家政大学保健センター学生相談室　山本 洋子　他8名

H4-3 学生相談機関のカウンセラーによるガイダンスの意義

筑波大学保健管理センター　中岡 千幸　他3名

H4-4 学生定期健康診断時の問診票を活用した看護職によるメンタルスクリーニング

山梨大学保健管理センター　和泉 恵子　他3名

H4-5 保健管理活動におけるアロマテラピー健康講座実施とアンケート調査結果の検討

愛知教育大学保健環境センター　間瀬 由紀　他4名

H4-6 医学部における臨床実習のメンタルヘルスサポート体制について

高知大学保健管理センター医学部分室　渋谷 恵子　他2名

（メンタルヘルス5）　座長：齋藤 清二（富山大学保健管理センター長）

H5-1 大学における障害学生修学支援機関立ち上げについて

静岡大学保健センター　太田 裕一　他14名

H5-2 発達障害関連困り感質問紙とUPI-RS 短縮統合版質問紙の作成

信州大学教育学部　高橋 知音　他5名

H5-3 発達障害関連困り感質問紙とUPI-RS 短縮統合版質問紙と援助要請行動との関連
信州大学工学部メンタルヘルスケアセンター　山﨑 勇　他4名
H5-4 摂食障害と自閉症スペクトラムとの関係性に関する疫学調査
南山大学　早川 徳香　他4名
H5-5 大学生の自閉傾向と自己困難認知の関連
広島大学保健管理センター　高田 純　他9名
H5-6 発達障害学生の諸特徴　－カルテ調査から見える困難さについての分析－
北海道大学保健センター　斉藤 美香　他7名

（メンタルヘルス6）　座長：田中 生雅（愛知教育大学保健環境センター教授）
H6-1 新潟大学メンタルヘルス検診平成24年度の現況
新潟大学保健管理センター　七里 佳代　他8名
H6-2 新潟大学メンタルヘルス検診7 年間の検証～精神保健活動との連関
新潟大学保健管理センター　澁谷 雅子　他8名
H6-3 東日本大震災から2 年間の学生の心理的影響の変化
岩手大学保健管理センター　早坂 浩志　他5名
H6-4 東日本大震災2 年後の都内薬科大学学生の心身への影響および災害への対応
星薬科大学保健管理センター　山口 志津子　他5名
H6-5 学生のプレゼンティーイズムが前頭葉機能に与える影響：近赤外分光法を用いた検討
熊本大学医学部附属病院神経精神科　松下 正輝　他8名
H6-6 保健管理センターにおけるNIRS の可能性について（第一報）
鹿児島大学保健管理センター　川池 陽一　他4名

（メンタルヘルス7）　座長：冨田 悟江（名古屋工業大学保健センター准教授）
H7-1 統合失調症発症後も学業を続けて就職に至った2例－こころの診療室と家族・教職員との共同支援－
早稲田大学保健センターこころの診療室　青木 裕見　他3名
H7-2 （演題取り下げ）
H7-3 大学生における社交不安障害アンケート調査
広島大学保健管理センター　三宅 典恵　他11名
H7-4 岐阜県下大学生のSOC（ Sense of Coherence）に関する実態調査
岐阜大学保健管理センター　西尾 彰泰　他16名
H7-5 大学生のインターネット使用と精神心理学的側面との関連について
広島大学保健管理センター　岡本 百合　他11名
H7-6 何が精神的問題の存在をスタッフに主張するのか
獨協大学保健センター　永利 美花　他9名

（メンタルヘルス8）　座長：足立 由美（金沢大学保健管理センター准教授）
H8-1 学生相談実践に関する考察－障害学生支援および医療との棲み分け・連携について－
富山大学保健管理センター杉谷支所　酒井 渉　他5名
H8-2 メンタルサポートシステムによる不登校・ひきこもり学生への対応とその有効性の検討
和歌山大学保健管理センター　西谷 崇 他3名
H8-3 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える（第3 報）～休学者相談週間の試み～
愛知学院大学学生相談センター　前田 章　他6名
H8-4 精神科通院学生の学業転帰について（平成16年度から24年度までの自験例から）
筑波大学保健管理センター　石井 映美　他4名
H8-5 当大学における障がい者雇用への支援－メンタルヘルスの立場から－
岡山大学保健管理センター　安東 節子　他13名
H8-6 就職活動期の相談の現状と心理的支援
広島大学保健管理センター　磯部 典子　他8名

（メンタルヘルス9）　座長：岡田 暁宜（南山大学人文学部心理人間学科教授･名古屋キャンパス保健室長）
H9-1 東京医科歯科大学保健管理センターにおけるメンタルヘルス相談の役割に関する検討
東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構保健管理センター／職員健康管理室　平井 伸英　他3名
H9-2 横浜市立大学学生・教職員における全般健康度とメンタルヘルスの関係について
横浜市立大学保健管理センター　金澤 直樹　他7名

H9-3 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査第10報（平成23年度集計結果）
東京工業大学保健管理センター　丸谷 俊之　他5名
H9-4 留年・休学等の不適応学生の実態調査とそのサポート体制
滋賀大学保健管理センター　久保田 泰考　他4名
H9-5 保健管理センターにおける留学生支援―現状と課題―
広島大学保健管理センター　小島 奈々恵　他9名
H9-6 フランスの大学生の抱えるメンタルヘルスの諸問題とその対策について
名古屋大学医学部大学院精神健康医学／学生相談総合センター　古橋 忠晃　他3名

（メンタルヘルス10）　座長：太田 裕一（静岡大学保健センター准教授）
H10-1 学生に対する能動的アプローチに関する実践報告（1）～こころのアンケートを基に～
福井大学学生総合相談室　諸江 理映子　他4名
H10-2 大学入学時の心理学的スクリーニング結果とカウンセラーの介入に関する一考察
北里大学健康管理センター学生相談室　岡本 悠　他6名
H10-3 七夕の短冊に書かれた内容からみた学生の特徴について（第3報）
岡山理科大学健康管理センター　中島 弘徳　他8名
H10-4 精神的問題を抱える学生は窓口で自分の問題をどのように語っているのか
獨協大学保健センター　山村 礎　他9名
H10-5 大学生の夢見に関する調査研究：夢見頻度と質問紙との関連
岐阜大学保健管理センター　佐渡 忠洋　他9名
H10-6 風景構成法から見た、学生相談室来談者の心理特徴―対照群との比較を通して
大阪大学保健センター学生相談室　石金 直美　他2名

【ブロックI】
（その他）　座長：河邊 博史（慶應義塾大学保健管理センター所長）
I-1 教員による障害学生修学支援のニーズ実態調査の報告
岐阜大学保健管理センター　磯村 有希　他10名
I-2 大学保健管理活動へのAAA（アニマル･アシスト･アクティビティ）導入の試みと検討
愛知教育大学保健環境センター　荒武 幸代　他5名
I-3 全国大学保健管理協会（JUHA）と米国大学保健管理協会（ACHA）の交流経過報告
国際連携委員会(保健管理協会)　山本 眞由美　他13名
I-4 筑波大学における学生相談の多元的な活動展開について－総合相談窓口の新たな試み－
筑波大学保健管理センター　杉江 征　他6名
I-5 ハラスメント相談における保健室の役割―事例を通じて学んだこと―
岐阜経済大学学生課保健室　伊藤 範子　他1名
I-6 ピア・サポーター養成プログラムの効果に関する検討
明海大学保健管理センター　星野 伸明　他5名
I-7 災害ボランティア活動している仙台大学生の参加動機と意識
仙台大学健康管理センター　鈴木 真理子　他5名
I-8 大学における発達障害に関する新聞報道
東北大学保健管理センター　北 浩樹　他2名

# Ⅴ　保健管理センター規則等

１．岐阜大学保健管理センター規程

２．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則

３．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

４．岐阜大学保健管理センター長及び教育職員選考細則

５．保健管理センター　運営委員会委員（平成25年度）

６．保健管理センター　学生相談室員（平成25年度）

７．保健管理センター　学校医・非常勤講師（平成25年度）

８．保健管理センター　教職員（平成25年度）

９．保健管理センター　位置図

# V　保健管理センター規則等

## 1．岐阜大学保健管理センター規程

平成19年10月１日

規程第167号

（趣　旨）

第１条　この規程は、岐阜大学学則第11条第２項及び国立大学法人岐阜大学運営組織規則第９条の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（目　的）

第２条　センターは、国立大学法人岐阜大学（以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

（業　務）

第３条　センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

一　学内の保健計画の立案について指導援助すること。

二　定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。

三　健康相談に応ずること。

四　救急処置を行うこと。

五　健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。

六　学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。

七　保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。

八　その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

（組　織）

第４条　センターに次の職員を置く。

一　センター長

二　専任の教育職員

三　医療系職員

四　その他の職員

（分　室）

第５条　センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

２　分室に関し必要な事項は、別に定める。

（学生相談室）

第６条　センターに、学生のカウンセリングを行うため、学生相談室を置く。

２　学生相談室に関し必要な事項は、別に定める。

（運営委員会）

第７条　センターに保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

２　運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

（センター長等の選考）

第８条　センター長候補者は、本学の専任の教授のうちから、運営委員会において選考し、学長に推薦する。

２　前項に定めるもののほかセンター長及びセンターの専任の教育職員の選考については、別に定める。

（庶　務）

第９条　センターに関する庶務は、学務部学生支援課において処理する。

（雑　則）

第10条　この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は別に定める。

附　則

この規程は、平成19年10月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成21年５月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成22年１月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成22年４月１日から施行する。

## ２．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則

平成19年10月１日

細則第160号

（趣　旨）

第１条　この細則は、岐阜大学保健管理センター規程第７条第２項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の運営委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

一　保健管理の基本方針に関すること。

二　環境衛生の維持改善に関すること。

三　センター長及びセンターの専任の教育職員の選考に関すること。

四　センターの教育又は研究に関する重要事項

五　センターの予算及び決算に関すること。

六　センターの業務計画に関すること。

七　その他保健管理及びセンターの管理運営に関する重要事項

２　前項第３号について審議する場合には、次条第１項第６号及び第７号に規定する委員を除くものとする。

（組　織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一　センター長

二　担当理事

三　センターの専任の教育職員

四　各学部（医学部を除く。）から選出された教育職員　各１人

五　医学系研究科・医学部から選出された教育職員　１人

六　人材開発部長及び学務部長

七　その他委員会が必要と認める者

２　前項第７号に規定する委員には、外部有識者を含めることができる。

３　第１項第４号、第５号及び第７号に規定する委員は、学長が委嘱する。

（任　期）

第４条　前条第１項第４号、第５号及び第７号に規定する委員の任期は、１年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置く。

２　委員長は、センター長をもって充てる。

３　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

４　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会　議）

第６条　委員会は、委員の３分の２以上の出席をもって成立する。

２　議事は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第２条第１項第３号に掲げる事項については、出席委員の３分の２以上の同意をもって決するものとする。

（委員以外の者の出席）

第７条　委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（庶　務）

第８条　委員会の庶務は、学務部学生支援課において処理する。

（雑　則）

第９条　この細則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この細則は、平成19年10月１日から施行する。

２　岐阜大学保健管理センター運営委員会規則（平成16年岐阜大学規則第176号）は，廃止する。

附　則

この細則は、平成21年５月１日から施行する。

附　則

この細則は、平成22年１月１日から施行する。

附　則

この細則は、平成22年４月１日から施行する。

附　則

この細則は、平成24年４月１日から施行する。

## ３．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

平成19年10月１日

細則第162号

（趣　旨）

第１条　この細則は、岐阜大学保健管理センター規程第６条第２項の規定に基づき、保健管理センター学生相談室（以下「学生相談室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（業　務）

第２条　学生相談室は、次の各号に掲げる業務を行う。

一　心身の悩みに関する個人相談に応ずること。

二　相談・助言及び指導に必要な資料を備えること。

三　相談・助言及び指導の調査、研究を行うこと。

（組　織）

第３条　学生相談室に次の職員を置く。

一　室長

二　学生相談室員

２　室長は、保健管理センター長（以下「センター長」という。）をもって充てる。

３　学生相談室員は、保健管理センターの専任の教育系職員及びセンター長が推薦する者をもって充てる。

４　前項に規定するセンター長が推薦する学生相談室員は、学長が委嘱する。

（秘密の厳守）

第４条　相談内容については、秘密を厳守する。

（学生相談室会議）

第５条　室長は、相談・助言及び指導に関し必要なときは、学生相談室員を招集し、学生相談室会議を主宰することができる。

２　室長は、学生相談室会議の議長となる。

３　室長に事故があるときは、室長があらかじめ指名する者が議長を代理する。

４　室長が必要と認めるときは、学生相談室会議に学生相談室員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（庶　務）

第６条　学生相談室の庶務は、学務部学生支援課において処理する。

附　則

１　この細則は、平成19年10月1日から施行する。

２　岐阜大学保健管理センター学生相談室細則（平成16年岐阜大学細則第178号）は，廃止する。

## ４．岐阜大学保健管理センター長及び教育職員選考細則

平成19年10月１日

細則第161号

（趣　旨）

第１条　この細則は、岐阜大学保健管理センター規程第8条の規定に基づき、保健管理センター長（以下「センター長」という。）及び教育職員の選考に関し必要な事項を定めるものとする。

（センター長候補者の選考）

第２条　センター長候補者の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

一　センター長の任期が満了するとき。

二　センター長が辞任を申し出たとき。

三　センター長が欠員となったとき。

２　センター長候補者の選考は、前項第１号の場合においては、任期満了の１月以前に、前項第２号又は第３号の場合においては、事実が生じたとき速やかに行うものとする。

（センター長の任期）

第３条　センター長の任期は、２年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き４年を超えて在任することはできない。

（教育職員の選考）

第４条　保健管理センターの教育職員となることのできる者の資格については、国立大学法人岐阜大学職員採用規程の定めるところによる。

２　前項に規定する教育職員の任命は、岐阜大学保健管理センター運営委員会の議を経て、学長が行う。

（雑　則）

第５条　この細則に定めるもののほか、センター長及び教育職員の選考に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この細則は、平成19年10月１日から施行する。

２　岐阜大学保健管理センター長及び教育職員選考規則（平成16年岐阜大学規則第177号）は，廃止する。

附　則

この細則は、平成22年１月１日から施行する。

附　則

この細則は、平成22年４月１日から施行する。

## 5．保健管理センター 運営委員会委員（平成25年度）

| | 所　属 | 氏　名 | 役職 | 内線 |
|---|---|---|---|---|
| 委員長 | 保健管理センター長 | 山　本　眞由美 | 教　授 | 2170 |
| 委　員 | 理事（教学・附属学校担当） | 廣　田　則　夫 | 理　事 | 3281 |
| 委　員 | 保健管理センター専任の教育系職員 | 西　尾　彰　泰 | 准教授 | 2172 |
| 委　員 | 保健管理センター専任の教育系職員 | 浅　田　修　市 | 助　教 | 2172 |
| 委　員 | 保健管理センター専任の教育系職員 | 加　納　亜　紀 | 助　教 | 3361 |
| 委　員 | 保健管理センター専任の教育系職員 | 佐　渡　忠　洋 | 助　教 | 2151 |
| 委　員 | 教育学部 | 熊　谷　佳　代 | 准教授 | 3124 |
| 委　員 | 地域科学部 | 近　藤　眞　庸 | 教　授 | 2291 |
| 委　員 | 医学系研究科・医学部 | 西　本　　裕 | 教　授 | 3230 |
| 委　員 | 工学部 | 成　瀬　有　二 | 准教授 | 2615 |
| 委　員 | 応用生物科学部 | 柳　瀬　笑　子 | 准教授 | 2914 |
| 委　員 | 人材開発部長 | 殿　崎　雅　弘 | 部　長 | 2130 |
| 委　員 | 学務部長 | 奥　野　芳　明 | 部　長 | 2131 |

## 6．保健管理センター 学生相談室員（平成25年度）

| 部　局 | 氏　名 | |
|---|---|---|
| 保健管理センター | 山　本　眞由美 | 内科学（内分泌・代謝） |
| 保健管理センター | 西　尾　彰　泰 | 精神神経学 |
| 保健管理センター | 浅　田　修　市 | 放射線科学 |
| 保健管理センター | 加　納　亜　紀 | 内科学（循環器） |
| 保健管理センター | 佐　渡　忠　洋 | 臨床心理学 |
| 保健管理センター | 宮　地　幸　雄 | 臨床心理学 |
| 保健管理センター | 磯　村　有　希 | 臨床心理学 |
| 教育学部 | 須　本　良　夫 | 社会科教育学（哲学） |
| 教育学部 | 熊　谷　佳　代 | 保健体育学（運動学） |
| 教育学部 | 橋　　良　治 | 教職大学院（教育心理学） |
| 教育学部 | 鈴　木　　壯 | 学校教育学（臨床心理学） |
| 教育学部 | 緒　賀　郷　志 | 学校教育学（臨床心理学） |
| 地域科学部 | 橋　本　永貢子 | 地域文化学学 |
| 地域科学部 | 土　岐　邦　彦 | 地域文化学科地域構造学 |
| 医学系研究科・医学部 | 西　本　　裕 | 成人・老年看護学 |
| 医学系研究科・医学部 | 深　尾　　琢 | 精神病理学 |
| 医学系研究科・医学部 | 青　木　隆　明 | 整形外科学 |
| 医学系研究科・医学部 | 青　山　琢　磨 | 内科学（循環器） |
| 工学部 | 小　嶋　　智 | 社会基盤工学 |
| 工学部 | 上　宮　成　之 | 化学・生命工学 |
| 応用生物科学部 | 柳　瀬　笑　子 | 応用生命科学 |
| 応用生物科学部 | 山　本　謙　也 | 生物生産科学 |

## ７．保健管理センター 学校医・非常勤講師（平成25年度）

| | |
|---|---|
| 高　田　信　幸 | （平野総合病院　院長） |
| 小　島　敏　弘 | （こじま内科クリニック院長） |
| 尾　関　茂　彦 | （おぜきクリニック院長） |
| 佐　藤　まゆみ | （さとう内科クリニック院長） |
| 野　田　宜　輝 | （のだ医院院長） |
| 足　立　佳代子 | （いなば内科院長） |
| 三　輪　佳　行 | （ＭＩＷＡ内科胃腸科クリニック院長） |
| 立　山　健一郎 | （立山クリニック院長） |
| 河　田　智　男 | （河田医院院長） |
| 石　黒　源　之 | （石黒クリニック院長） |
| 皆　川　太　郎 | （みながわ内科循環器科クリニック院長） |
| 黒　川　淳　一 | （東海学院大学特任准教授） |
| 奥　村　　歩 | （おくむらクリニック院長） |
| 奥　村　三　恵 | （おくむらクリニック） |
| 山　本　啓　二 | （やまもと整形外科院長） |
| 加　納　克　徳 | （加納内科リウマチ科・糖尿病内科クリニック院長） |
| 宮　地　幸　雄 | （岐阜カウンセリング研究所所長） |
| 西　本　博　文 | （西本整形外科院長） |
| 田　中　生　雅 | （愛知教育大学保健環境センター　教授） |
| 柴　田　敏　之 | （大学院医学系研究科口腔病態学　教授） |
| 牧　田　浩　樹 | （大学院医学系研究科口腔病態学　講師） |
| 加　藤　恵　三 | （医学部附属病院歯科口腔外科　講師） |
| 畠　山　大二郎 | （大学院医学系研究科口腔病態学　講師） |
| 米　本　和　弘 | （医学部附属病院歯科口腔外科　講師） |
| 玉　置　也　剛 | （医学部附属病院歯科口腔外科　講師） |
| 川　口　知　子 | （医学部附属病院歯科口腔外科　医員） |
| 飯　田　一　規 | （医学部附属病院歯科口腔外科　医員） |
| 後　藤　憂　子 | （医学部附属病院歯科口腔外科　医員） |

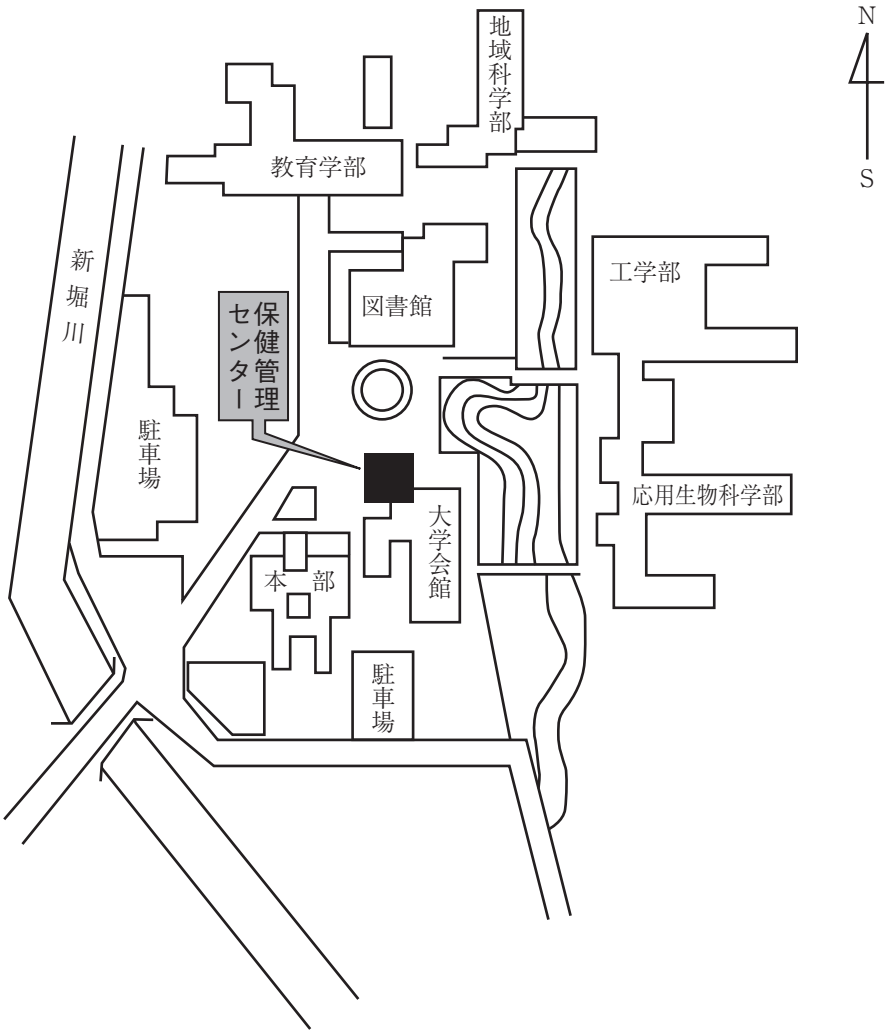
## ８．保健管理センター 教職員（平成25年度）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 教　授 | 内科（内分泌・代謝） | 山　本　眞由美 | 産業医 |
| 准教授 | 精神神経科 | 西　尾　彰　泰 | 産業医 |
| 助　教 | 放射線科 | 浅　田　修　市 | |
| 助　教 | 内科（循環器） | 加　納　亜　紀 | 産業医 |
| 助　教 | 臨床心理士 | 佐　渡　忠　洋 | スクールカウンセラー |
| 保健師 | | 臼　井　るり子 | （平成25年12月31日まで） |
| 保健師 | | 高　井　郁　恵 | |
| 保健師 | | 松　永　美　紀 | 衛生管理者 |
| 技術補佐員 | 看護師 | 邦　　千　富 | |
| 技術補佐員 | 保健師 | 堀　田　容　子 | |
| 技術補佐員 | 管理栄養士 | 大　島　由美子 | 非常勤 |
| 臨床心理士 | | 宮　地　幸　雄 | 非常勤講師 |
| 臨床心理士 | | 磯　村　有　希 | 非常勤スクールカウンセラー |

### 保健管理センター庶務担当課（学務部 学生支援課・教務課）

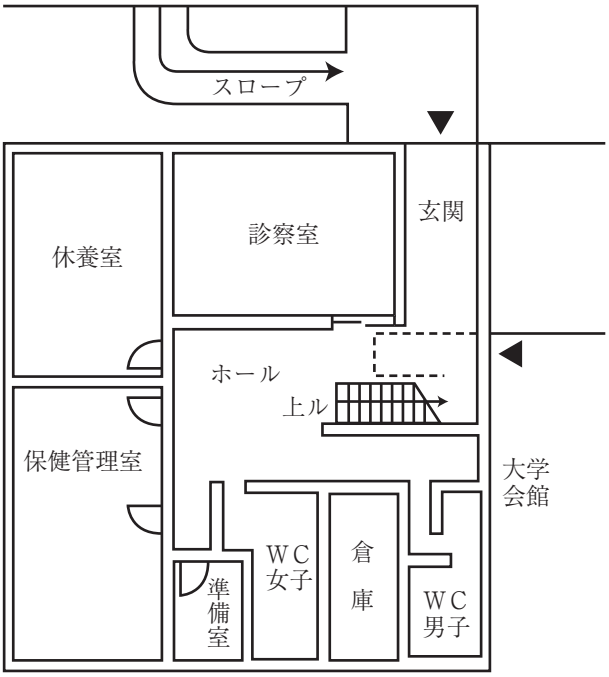
| | | |
|---|---|---|
| 学務部 | 学生支援課長 | 祖父江　　譲 |
| 学務部 | 教務課長 | 中　島　英　雄 |

## 9．保健管理センター　位置図

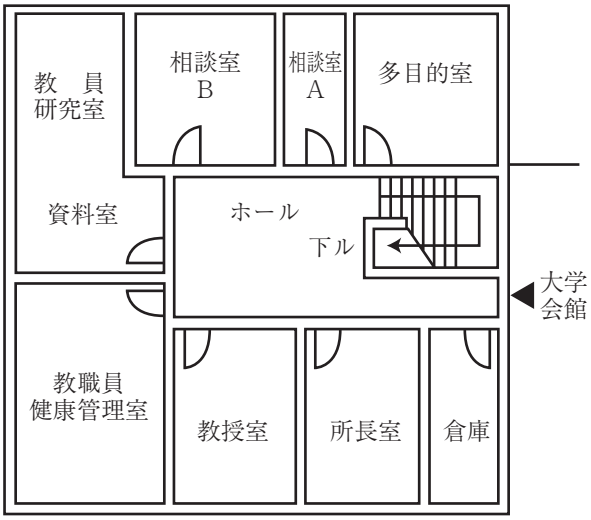



保健管理センター平面図

1　階（260㎡）




2　階（265.1㎡）



岐阜大学保健管理センター年報　第38号

平成26年12月　発行

編集
発行　岐阜大学保健管理センター
岐 阜 市 柳 戸 1 の 1

ＴＥＬ 〈058〉293－2174
（ダイヤルイン）

ＦＡＸ 〈058〉293－2177